TOSHIBA

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

東芝HDD&DVDビデオレコーダー取扱説明書

形名 **RD-XS30**

G-CODE®

操作編

最初に「準備編」をお読みください。

- このたびは東芝HDD&DVDビデオレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めのHDD&DVDビデオレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製造番号と保証書の番号が一致しているかご確認ください。

もくじ

はじめに ●お使いになる前にお読みください。

基本操作

再　生

録　画

ダビング

編　集

機能設定

その他

本取扱説明書では、参照していただきたいページを、➡で表しています。➡のページもあわせてご覧ください。

安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
●表示と意味は次のようになっています。

■ **表示の説明**

表示	表示の意味
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ **図記号の例**

図記号	図記号の意味
⃠ 禁止	“⃠”は、**禁止**(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
● 指示	“●”は、**指示**する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
△ 注意	“△”は、**注意**を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

別冊(準備編)の安全上のご注意を必ずお読みください。

本機の概要

デジタルAVについて

本機は、従来の家電製品と異なり、複雑なソフトウェアで構成される「デジタルAV」製品です。本機の内部は、DVD-RAM／Rドライブとハードディスクドライブ(HDD)がATAPI接続(パーソナルコンピューターで使われている内部接続の規格の一つ)で接続されており、コンピューターのようにオペレーションシステム(OS)を介して、ハードウェアとソフトウェアが動作しています。したがって、電源を入れてから動作をするまでに、時間がかかります。また、録画内容の削除などの操作においても、時間がかかる場合があります。

ハードディスク(HDD)について

ハードディスクは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きが出来なくなる恐れも十分にあります。従って内蔵HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集やDVD-RAMディスクにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。
また、内蔵HDD内に壊れかけている箇所があると、録画した場合には、その部分にブロックノイズ等の画面や音声への乱れが発生する事があります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきて、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。こうした現象が見られたら、出来るだけ早い時期にDVD-RAMディスクにダビングしてください。パーソナルコンピューター等でも同じですが、HDDは壊れやすい要因を多分に含んだ特殊な部品です。DVD-RAMディスクまたはDVD-Rのディスクへのバックアップを前提の上で使用してください。

再生するときの制約

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。DVDビデオディスク、ビデオCDは、ディスク制作者側の意図により再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。

ボタン操作中にテレビ画面に「⃠」が表示されることがあります。
「⃠」が表示されたときは、本機もしくはディスクがその操作を禁止しています。

ディスクの上手な使い分け

保存版・録画ライブラリづくりには「DVD-RAM」。
世界標準のDVD-VR(VideoRecording)規格に準拠した録画方式に対応。フレーム単位の再生範囲指定やチャプター分割、不要部分の削除、約10万回までの画質劣化のないくり返し録画が可能なため、エアチェック用に最適です。また、カートリッジ付きなので、長期保存や家族での利用が安心なほか、9.4GBの両面ディスクで省スペースなライブラリづくりも可能。

配付用オリジナルディスクづくりには「DVD-R」。
DVDプレーヤーとの互換性を持つ世界標準のDVDビデオ規格に準拠し、1回限りの記録が可能。パソコンなどで編集し完成したバンドのライブや結婚式、旅行などのオリジナル映像を、本機でDVD-R作成して友人に配付したり、交換したりする際に便利です。
＊DVDビデオ規格の制限により、記録範囲やチャプター分割位置の指定をつねに15フレーム単位で行なうため、編集しても不要なシーン(フレーム)が含まれる場合があります。また、コピーが1回のみ可能な番組や、二ヶ国語放送の含まれる番組は録画できません。従って、テレビ番組の保存には不向きです。

本機に関する最新の情報やお知らせなどが記載されておりますので、東芝ホームページ(http://www.toshiba.co.jp)をご覧いただくことをおすすめいたします。

本機でできることとディスク

本機の内蔵HDDだけでも番組の録画と再生はできますが、市販のソフトを再生したり、録画した内容をダビングするときなどは、本機にディスクを入れてお使いください。ディスクにはいろいろな種類と規格があります。使えるディスクをよくご確認のうえ、正しくお使いください。

お知らせ

- ディスクにマークがあっても、データの作りかたやディスクの状態によって、再生または録画ができない場合があります。そのような場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。

ディスク	マーク(ロゴ)	内容	備考
録画／再生ができます			
DVD-RAM		• **片面4.7GB(12cm)** • **両面9.4GB(12cm)** • **片面1.4GB(8cm)** • **両面2.8GB(8cm)**	7ページ「DVD-RAMディスクについて」をよくお読みください。 • 8cm DVD-RAMディスクは、カートリッジから取り出して使用してください。取り出し方は、ディスクの説明書をご覧ください。
DVD-R		• **4.7GB For General Ver. 2.0(12cm)**	7ページ「DVD-Rディスクについて」をよくお読みください。 録画に使った機器やディスクによっては、再生できない場合があります。
再生だけができます			
DVDビデオディスク	 	• **12cm／8cm** • **リージョン番号が2およびALL** • **映像方式：NTSC**	本機のリージョン(地域)番号は2です。DVDビデオディスクに再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に 2 のように2が含まれているか、または ALL が表示されていないと、本機では再生できません。
ビデオCD	 	• **12cm／8cm** • **映像方式：NTSC** • **バージョン1.0およびバージョン2.0**	
音楽用CD		• **12cm／8cm**	
CD-R **CD-RW**	 	• **12cm** • **CD-DA(音楽用CD)フォーマット**	ディスクによっては、再生できない場合があります。

- 再生できる映像方式はNTSC方式です。DVDビデオディスクのリージョン(地域)番号が 2 または ALL であっても、映像方式がPAL/SECAM方式の場合は再生できません。
- 市販されているDVDビデオディスクであっても再生できないことがあります。その場合は、「東芝家電修理ご相談センター」までお問い合わせください。(連絡先は裏表紙に記載されています。)
- 本機で録画したDVD-RAMディスクはすべての機器での再生を保証するものではありません。また、他の機器で録画したすべてのDVD-RAMディスクは本機での再生を保証するものではありません。

DVD-RAMディスクについて

■本機はDVD-RAM規格Version2.0および2.1に準拠したDVD-RAMディスクだけが使用できます

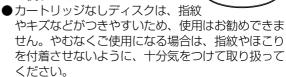
規格に準拠していないDVD-RAMディスクには記録できませんので、他の規格でフォーマットされたものを使用される場合は、本機のディスク初期化機能を用いて初期化した上でお使いください。
ただし、規格に準拠したDVD-RAMディスクでも、他社の機器やパソコンで記録／編集されたもの、タイトル数が非常に多かったり空き容量が少ないものなどは、録画・編集・ダビング等できない場合があります。また、使用可能なDVD-RAMディスクでも、静止画を含むタイトルなども同様に編集やダビングができない場合があります。
パソコンでUDF2.0で初期化されたDVD-RAMディスクは、DVD-RAM規格Version2.0に準拠しておりませんので、必ず本機で初期化しなおしてからお使いください。

本機は著作権保護技術を搭載しているため、「このディスクは、1回コピーが許可された映像の記録にも対応しています。」等の表示がされたディスクを使用すれば、1度だけコピーが許可された映像の録画も可能です。表示がないDVD-RAMディスクでは、1度だけコピーを許された映像であっても録画できません。
また、ライブラリ機能（85ページ）をご利用になる場合にも、同表示のあるディスクが必要となります。

■本機には、カートリッジDVD-RAMディスク（市販品）をお使いになることをおすすめします

●DVD-RAMには、カートリッジ付きとカートリッジなしがあります。本機はどちらにも対応しておりますが、カートリッジ付きをお使いになることをおすすめします。
●非常に精密な情報の記録を必要としますので、ディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでも付くと、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。カートリッジ付きの方が指紋やほこりが付きにくいので、安定した録画・再生・編集ができます。
●カートリッジのシャッターは手で開けないでください。中のディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでも入ると、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。
●カートリッジには、中のディスクが取り出せるもの（TYPE2／4）と取り出せないもの（TYPE1）があります。取り出せるものでも、カートリッジに入った状態でお使いになることをおすすめします。
どうしても取り出したい場合は、ディスクに付属の説明書をご覧ください。
●市販品の中には、カートリッジからディスクを取り出すと、録画・編集できなくなるものがあります。

●録画内容を誤って消さないために
ライトプロテクトタブ（誤消去防止用のつまみ）を先のとがったもので「PROTECT」側にしてください。再生はできますが、録画や消去はできなくなります。ディスクの説明書もご覧ください。
- 「PROTECT」側にしてあるディスクは、本機の「レジューム再生」（31ページ）が働かなくなります。

■カートリッジなしディスク（市販品）を使うときには

●カートリッジなしディスクは、指紋やキズなどがつきやすいため、使用はお勧めできません。やむなくご使用になる場合は、指紋やほこりを付着させないように、十分気をつけて取り扱ってください。
●ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書く場合は、必ず先の柔らかいペンを使ってください。ボールペンなど先のとがった硬いものは使わないでください。

推奨ディスク
Panasonic LM-AB120（4.7GB／120分）
Panasonic LM-AD240（9.4GB／240分）
以上のディスクについては、動作確認をしております。

DVD-Rディスクについて

DVD-R 4.7GBディスクへの記録は、「DVD-R互換モード」（147ページ）を「入」の設定で、いったん内蔵HDDに録画した内容をダビング（コピー）する形で行ない、直接の録画はできません。また使用できるディスクは無記録のものに限り、一部使用されたものへの追記や削除はできません。
DVD-RAMディスクのようにカートリッジに入っていないので、取り扱いには注意してください。コピーが禁止または制限されている映像は録画できません。
本機で記録したDVD-Rは、すべてのDVDビデオ再生機器での再生を保証するものではありません。

推奨ディスク
Panasonic LM-RF120（4.7GB／120分）
以上のディスクについては、動作確認をしております。特にDVD-Rディスクの場合、他のものでは性能が十分発揮されない場合や作成に失敗したりする場合もあります。

パッケージに「このディスクは1回コピーが許可された映像の記録にも対応しています」等の表示されたディスクを選んでお使いください
PC用のディスクではライブラリ機能など一部の機能が正常に働かない場合があります。
万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。

ディスクの取り扱いかた

●再生面には手を触れないでください。

●ディスクに紙やシールを貼らないでください。

ディスクのお手入れのしかた

●ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

●よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

●シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電気防止剤などは絶対使用しないでください。ディスクを傷める原因となります。

ディスクの保管のしかた

●直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。

●浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。

●ディスクは必ず専用ケースに入れて保管してください。
専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。

■DVDビデオディスクジャケットのマークについて

DVDビデオディスクのジャケットに表記されている例を紹介します。

マーク例	内容
2	記録されている音声の数を表わしています。 (本例では、日本語、英語などのような2種類の音声が収録されています。)
2	記録されている字幕の数を表わしています。 (本例では、日本語、英語などのような2種類の字幕が収録されています。)
3	記録されている角度(マルチアングル)の数を表わしています。 (本例では、3種類の角度で収録されています。)
4:3 LB 16:9 LB 16:9 PS	横:縦=4:3の標準サイズで記録されていることを示します。 レターボックス(横:縦=4:3で上下に黒帯が入っている画面)で記録されていることを示します。 横:縦=16:9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されていることを示します。 横:縦=16:9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4:3)のテレビの場合はパン&スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生されるように指定されていることを示します。 テレビに映し出される映像は、テレビの画面サイズ(横:縦)やテレビの画面モードによって異なります。

ディスクの内容の区分

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。
ビデオCD／音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

タイトル：　DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
短編集の「話」に相当します。

チャプター：　タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
本の「章」に相当します。

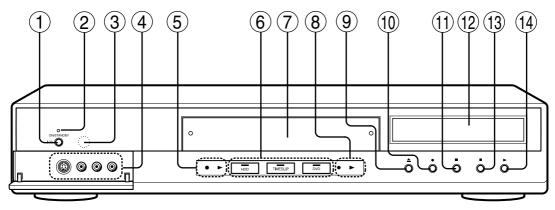
トラック：　ビデオCD／音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトル、チャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」、「チャプター番号」、「トラック番号」といいます。
ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

DVD-RAMディスクまたは内蔵HDDに録画をした場合、1回の録画を1つの「タイトル」とみなします。このタイトルの中に数カ所の境界を設けることで、いくつかの「チャプター」に分けることができます。チャプターに分けると、場面のスキップや検索が便利になります。
録画でできたタイトルやその中のチャプターは、プレイリストで好きなものだけを選び出したり並べ替えたりして、新たなタイトルを作ることもできます。

各部のなまえ

くわしくは➪のページをご覧ください。

前面

※ 前面の扉を開けた状態です。前面扉の開けかた／閉めかたについては次のページをご覧ください。

① **ON/STANDBY（オン スタンバイ）ボタン** ➪18、19ページ
電源を入／待機にします。

② **ON/STANDBY（オン スタンバイ）インジケーター** ➪18、19ページ
電源入／待機の状態を表示します。

③ **リモコン受光部** ➪準備編14ページ

④ **入力2端子** ➪78ページ
ビデオやカメラ一体型ビデオなどから映像・音声をダビングするときに使います。

⑤ **操作状態インジケーター（HDD）**
内蔵HDDの操作状態を表示します。
- ●：録画状態
- ►：再生状態
- ●►：ディスク内コピー中

⑥ **3モードボタン** ➪28、30、71ページ
録画／再生するメディアを選択します。

⑦ **ディスクトレイ** ➪18ページ
ディスクを入れます。

⑧ **操作状態インジケーター（DVD-RAM）**
DVD-RAM側の操作状態を表示します。
- ●：録画状態
- ►：再生状態
- ●►：ディスク内コピー中

⑨ **オープン／クローズボタン（ ⏏ ）** ➪18、19ページ
ディスクトレイの開閉をします。

⑩ **録画ボタン（ ● ）** ➪73ページ
録画を開始します。

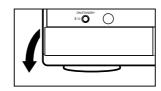
⑪ **一時停止ボタン（ ❚❚ ）** ➪28、41ページ
再生や録画を停止します。

⑫ **表示窓** ➪16ページ

⑬ 停止ボタン(■) ⇨28、41ページ
再生や録画を停止します。

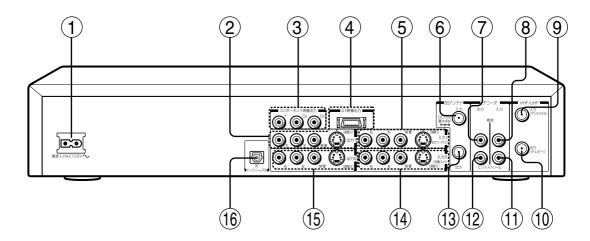
⑭ 再生ボタン(►) ⇨28ページ
再生を開始します。

■ 前面扉の開けかた／閉めかた

扉の左側から指で前方向に倒して扉を開けます。

お知らせ

- 扉を開けた状態で、扉に力を加えたり、扉の上に物を載せたりしないでください。破損や故障の原因になります。

各部のなまえ(つづき)

背面

① **電源入力端子** **⇨準備編17ページ**
付属の電源コードを接続します。

② **出力1端子** **⇨準備編18ページ**
テレビやAVアンプに映像・音声信号を出力します。

③ **コンポーネント映像出力端子**
⇨準備編19ページ
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやモニターにコンポーネント端子があるときに接続します。

④ **D1映像出力端子****⇨準備編19ページ**
テレビやモニターに映像信号を出力します。テレビやーモニターにD1端子があるときに接続します。

⑤ **入力1(BSデコーダ入力)端子**
⇨準備編26ページ
WOWOWを受信するときに、別売のBSデコーダの映像・音声出力端子と接続します。また、他のビデオやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声の入力としてもお使いになれます。

⑥ **BSアンテナ入力端子** **⇨準備編26ページ**
BSアンテナを接続します。

⑦ **検波出力端子** **⇨準備編26ページ**
WOWOWを受信するために、別売のBSデコーダの検波入力端子と接続します。

⑧ **検波入力端子** **⇨準備編26ページ**
BS内蔵テレビなどの検波出力端子と接続します。

⑨ **VHF/UHF入力端子** **⇨準備編16ページ**
テレビのアンテナ線を接続します。

⑩ **VHF/UHF出力端子** **⇨準備編16ページ**
テレビのアンテナ入力端子と接続します。

⑪ **ビットストリーム入力端子**
⇨準備編26ページ
BS内蔵テレビなどのビットストリーム出力端子と接続します。

⑫ ビットストリーム出力端子
⇨準備編26ページ

WOWOWを受信するために、別売のBSデコーダのビットストリーム入力端子と接続します。

⑬ BSアンテナ出力端子 ⇨準備編26ページ

BS内蔵テレビなどのBSアンテナ入力端子と接続します。

⑭ 入力3(自動入力)端子
⇨準備編24、25ページ

CSデジタルやBSデジタル放送を受信するときは、入力自動録画をするために、別売のCSデジタルまたはBSチューナーの映像・音声出力端子と接続します。また、他のビデオやカメラ一体型ビデオなどの外部機器からの映像・音声の入力としてもお使いになれます。

BSデジタルのワイド放送を録画するには、入力3(自動入力)のS1端子に接続してください。チューナー側の設定が正しくない場合や、映像端子(黄)で接続している場合には正しく動作しません。

⑮ 出力2端子 ⇨準備編19ページ

テレビやAVアンプに映像・音声信号を出力します。

⑯ ビットストリーム／PCM光端子
⇨準備編21、22、23ページ

音声信号を光デジタル出力します。デコーダー内蔵AVアンプなどの光デジタル音声入力端子と接続します。

光デジタルケーブルを接続するときは、キャップをはずし、形状を合わせて奥までしっかり差し込んでください。端子を使わないときは、ほこりが付かないようキャップを取り付けてください。

各部のなまえ(つづき)

リモコン

(おもて面)

*1 メニューボタン
DVDビデオディスクに記録されているメニュー画面などを表示するときに使います。
メニュー画面での操作は、「トップメニューを使って再生する（➡29ページ）」と同様の手順で行ないます。
ディスクによっては、メニュー画面が記録されていないものもあります。

*2 リターンボタン
ディスクで指定された画面に戻ります。
ディスクの説明書もご覧ください。

（ふたの中）

Gコード ボタン
76ページ
HDD／DVD ボタン
76ページ
番号 ボタン
53、76ページ
初期設定 ボタン
136ページ
修正／削除 ボタン
43ページ
録画モード ボタン
77ページ
延長 ボタン 39、42ページ
サーチ／転送 ボタン
53、77ページ
クリア ボタン 53ページ
ふたを手前に起こして
開きます。
Gコード
HDD/DVD
録画モード
延長
サーチ／転送
1
2
3
4
5
6
+10
7
8
9
0
初期設定
修正／削除
クリア

表示窓

■ 表示窓の見かた

表示窓切換

チャンネル表示、タイトル番号、時刻表示など、それぞれの表示を「表示窓切換」ボタンで切り換えます。ディスクや録画されている状態によって表示が切り換わらないことがあります。

①PBC表示

「PBC」(➡142ページ)が「入」で、PBC付きビデオCDが入っているときに点灯します。

② 録画予約アイコン表示

録画予約があるときに点灯します。

③ アングルアイコン表示 ➡57ページ

マルチアングルで記録されている映像部分を再生しているときに点滅します。

④ トラック表示

トラック番号を表示しているときに点灯します。

⑤ 残量表示

残量時間を表示しているときに点灯します。

⑥ ビットレート表示

録画時設定されたビットレート値、または再生時の実際のビットレート値を表示しているときに点灯します。

⑦ タイトル表示

タイトル番号を表示しているときに点灯します。

⑧ チャプター表示

チャプター番号を表示しているときに点灯します。

⑨ 音声出力レベルメーター

アナログ音声の出力レベルを表示します。
L+R:ステレオおよび二重放送(主+副)
L:左チャンネル(主音声)
R:右チャンネル(副音声)
L、R消灯:モノラル

レベルメーター表示はあくまでも目安であり、正確に音量を表示するものではありません。

⑩ **マルチ表示**

現在の時刻、経過時間、残量、録画予約時刻、チャプター番号、メッセージなどを表示します。

⑪ **チャンネル表示**

チャンネル、外部入力、タイトル番号、トラック番号、ビットレートなどを表示します。

⑫ **画質モード表示** ⇨146ページ

現在選ばれている画質モードが点灯します。

MN(マニュアル=任意)／SP(スタンダード・プレイ=普通)／LP(ロング・プレイ=長時間)／ジャスト(自動)のときは「MN」「SP」「LP」の3つが同時に点灯します。

⑬ **ダビング表示**

番組のコピーまたは移動中に点灯します。

⑭ **入力自動表示**

CSデジタル／BSデジタルチューナー等での入力自動録画の設定を「入」にしているときに点灯します。

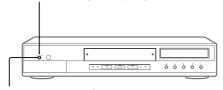
操作をはじめる前に

■ 準備はお済みですか？

別冊の「準備編」をご覧になり、必要な準備を済ませてください。

■ 電源の入れかた

（本書は、本体および本体に接続した機器（テレビなど）の電源がすべて入っていることを前提に説明しています。）

電源を入れるには、本体の「ON/STANDBY」ボタンまたはリモコンの「電源」ボタンを押します。

電源が入ると、本体のON/STANDBYインジケーターが、赤（リモコン待機状態）から緑（電源入り状態）に変わります。
しばらくするとスタートアップ画面が表示されます。
次に画面の右上に「Loading」のアイコンが表示されます。

例

このアイコンが消えると、本機は操作できる状態になります。ディスクが入っている状態では、これら起動時間が若干長くなる場合があります。

■ 本機を通してテレビを見る

電源が入ったあとは、通常テレビには放映中の映像が出ています。（再生を止めたときも、画面はテレビの映像になります。）
このときは、「チャンネル」ボタンを押して見たいチャンネルが選べます。

■ ディスクの入れかた

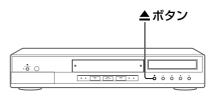
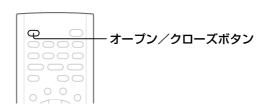
ディスクを入れてお使いになるときは、本機で使用できるディスクをご確認のうえ、正しくお使いください。（☞6ページ）

⚠ 注意

- ディスクトレイに、手を入れないこと。
  指をはさみ、けがの原因となることがあります。
  特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと。

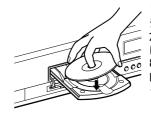
禁　止

1 ディスクトレイを開ける

本体の「▲」ボタンまたはリモコンの「オープン／クローズ」ボタンを押します。

2 ディスクを入れる

カートリッジなしのディスク

再生面を下にして置きます。

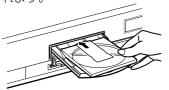
再生するディスクによってディスクの大きさが違いますので、それぞれ溝にそって正確に置いてください。溝からはずれていると、ディスクを傷つけたり、故障の原因になります。

12cm ディスクの場合は、ディスクトレイの手前側の左右の突起にのせずに側面に沿わせるように置きます。
8cm ディスクの場合は、内側の溝に合わせて置いてください。

TYPE1/TYPE2/TYPE4カートリッジDVD-RAMディスク

片面ディスク

印刷がある面を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように入れます。

両面ディスク

記録／再生する面の表示を上にして、矢印を奥に向けて、ディスクトレイの溝に合うように入れます。

3 ディスクトレイを閉める

本体の「⏏」ボタンまたはリモコンの「オープン／クローズ」ボタンを押します。

お知らせ

- ディスクトレイの出し入れは、本体またはリモコンのボタン操作で行ってください。また動いているディスクトレイに力を加えないでください。故障の原因となります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものを、ディスクトレイに置かないでください。
- ディスクトレイを上から強く押したり、ディスク以外のものをのせないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイが閉まる途中で止まった場合、保護処理機能により自動的にもう一度出てきます。止まった状態で無理に閉めようとすると、破損する可能性がありますのでご注意ください。

■ 電源の切りかた

本体の「ON/STANDBY」ボタン、またはリモコンの「電源」ボタンを押します。

画面右上に「Unloading」のアイコンが表示され、ON/STANDBYインジケーターが赤に変わり、そのあと電源が切れます。

ご注意

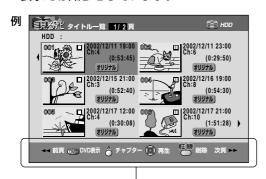
- 動作中（ON/STANDBYインジケーターが緑点灯）に停電や電源プラグをコンセントから抜いた場合は、内蔵HDD（ハードディスク）とDVD-RAMディスクに録画できなくなる場合があります。
  万一そのような状態になった場合、本機のディスク初期化機能を用いて初期化すれば、録画できるようになりますが、そのときには録画されていた内容はすべて消去されてしまいますので注意してください。
- 本機で使用すると異常を示すアラート（警告）表示が出るDVD-RAMディスクを、本機以外の機器で録画／再生すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなる可能性がありますので注意してください。
  ディスクを初期化して正常な状態に戻した場合は問題なく使用できます。
- 本機が操作中に止まってしまい、何も動作しなくなった場合は、15分以上放置してみてください。操作ができるようになる場合があります。そのあとは、いったん電源を切り、再度電源を入れてお使いください。15分以上放置しても回復しない場合は、本体の「ON/STANDBY」ボタンまたはリモコンの「電源」ボタンを、10秒以上押しつづけてください。本機が強制的に終了処理を行ない、電源を切ることができます。（この処理は緊急的なものであり頻繁に行なわないでください。データの消去や破壊される場合もあります。）もう一度電源を入れてお使いください。（15分の放置が有効に働くのは、「ブラウン管保護」（➡144ページ）が「入」に設定してあるときに限ります。）

お知らせ

- 内蔵HDDやDVD-RAMドライブが動作しなくなった場合、ただちに本機の使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に連絡してください。異常なままで使用していると、破損の程度が進み、修理に時間と費用がかかる場合があります。

操作をはじめる前に(つづき)

■GUI(グラフィカル・ユーザー・インターフェイス)の使いかた

再生するとき、録画するとき、あるいは設定を好みで変えるときなど、本機のほとんどの機能は、専用の画面表示が用意されていて、その上で操作ができるようになっています。
おもな操作方法は、画面下部の「操作ガイド」をご覧ください。リモコンのボタンの使いかたを、絵表示でお知らせしています。

例

操作ガイド

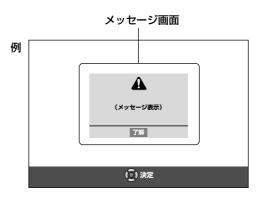
絵表示の例		おもな機能
	方向ボタン	項目を選びます。
	「決定」ボタン	選んだ項目や設定内容を決定します。
DVD	「DVD」ボタン	モードの切り替えに使います。
A	「A」ボタン	表示内容を切り換えます。
◄◄ 前頁	「頁(◄◄)」ボタン	前のページの表示に戻ります。
次頁 ►►	「頁(►►)」ボタン	次のページの表示へ進みます。
フレーム/値変更	「値変更」ボタンを押す	数値を入力したり設定を切り換えます。
123 456 789	番号ボタン	数値を入力します。
編集	「編集ナビ」ボタン	「編集ナビ」画面を表示/終了します。
初期設定	「初期設定」ボタン	機能設定画面を表示/終了します。

■メッセージが現れたら

操作中、メッセージ画面が表示されることがあります。状況により内容と性格は異なりますが、おもに以下のように操作してください。

メッセージ画面

例

例

選択項目が2つ

方向ボタン(◄/►)でどちらかを選んだあと(緑色で選択)「決定」ボタンを押してください。
メッセージ画面が消えます。
メッセージ画面が消えるまで、方向ボタンと「決定」ボタン以外の操作は受け付けません。

選択項目が1つ

内容を確認したら「決定」ボタンを押してください。
メッセージ画面が消えます。
メッセージ画面が消えるまで、「決定」ボタン以外の操作は受け付けません。

選択項目なし

自動的に消えます。

■ 起動時／終了時のアイコン表示

起動時／終了時に画面右上に出るアイコンには次のようなものがあります。これらが点滅している間は、本機はそれぞれ以下の処理を行なっています。

起動・ディスクの読み込み・録画終了

ディスクの取り出し・終了

トレイの引き出し

トレイの収納

■ ソフトウェアの変更について

本機は品質について万全を期しておりますが、単機能な家電製品ではなく、複雑なソフトウエアで構成されているため、本体内部のソフトウエアを変更する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていただいたお客様には当社判断により案内をさせていただく場合がありますので、ユーザー登録にご協力いただきます様、お願い申し上げます。

DVD-RAMディスクの初期化について(論理フォーマット)

本機ではじめてDVD-RAMディスクをお使いになるときは必ずお読みください。
DVD-Rディスクの初期化は不要です。

次のような場合はディスクの初期化が必要です。
(メッセージがお知らせする場合もあります。)

例:
- 本機ではじめてDVD-RAMディスクをお使いになるとき(新品のディスクなど)
- 録画/削除をくり返して、不要なデータがディスクに蓄積したとき
- エラーなどディスクにトラブルが起きたとき
- パソコン用のDVD-RAMディスクも、この初期化を行なうと、本機での録画用としてお使いになれます。(⇨7ページ)

初期化という処理を行なうと、ディスクが論理的にフォーマットし直され、ディスク本来の性能と容量を最大限に利用できるようになります。ただし、初期化を行なうと、それまで記録されていたデータは、すべて消去されますので、使用中のディスクの初期化を行なう場合は、事前に記録内容を確認して、消去されても差し支えないことを確認してください。

■ 初期化のしかた

(DVD-RAMディスクを初期化するときは、初期化するディスクを本機に入れてください。ディスクの入れかたは、⇨18ページをご覧ください。)

1) 停止中に、「クイックメニュー」ボタンを押す

以下のような画面(「クイックメニュー」)が出ます。(表示内容は本機の使用状況によって異なります。)

例

2) 方向ボタン(▲/▼)で、「ディスク初期化」を選び、「決定」ボタンを押す

右側にサブメニューが出ます。

例

3) 「決定」ボタンを押す

例

ディスク番号

ディスクは初期化時に、管理のため自動的に番号が割りふられますが、好きな番号(3ケタまで)と、両面ディスクの区別用に、AB面を任意につけることができます。

(1) 方向ボタン(▲/▼)でディスク番号の「変更」を選び、「決定」ボタンを押す
(2) 方向ボタン(▲/▼)を押して数字を選ぶ
(3) 方向ボタン(◀/▶)を押してケタを移動する
(4) (2)と(3)をくり返す
(5) 「決定」ボタンを押す

ディスク名

お好みでディスク名をつけられます。

(1) 方向ボタン(▲/▼)でディスク名の「変更」を選び、「決定」ボタンを押す
文字入力画面が表示されます。
(2) 「文字入力のしかた」(⇨24ページ)にしたがってディスク名を入力する
(3) 「A」ボタンを押して文字入力画面を消す

4) 方向ボタンで「開始」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 方向ボタンで「開始」を選び、「決定」ボタンを押す

初期化が始まります。

初期化が終わると、画面が消えます。

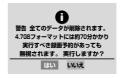
DVD-RAM 物理フォーマットについて

物理フォーマットを実行することで、使用できない（何度初期化しても正しく認識されなかったり、使用しているうちに認識されなくなった）DVD-RAMディスクが、使用できるようになる場合があります。（使用可能になることを保証するものではありません）
「DVD-RAMディスクの初期化」は管理情報という一部のデータを書き換えるだけですが、「DVD-RAM物理フォーマット」はディスク内のデータすべてを書き換えるので、非常に時間がかかります。
4.7GB片面のDVD-RAMディスクで約70分かかり、「DVD-RAM物理フォーマット」を実行中は、予約録画や入力自動録画を含め、すべての他の機能は、処理が終了するまで働きません。また、DVD-RAMディスクに記録されていたすべての情報は消去されます。この機能を使用する前には十分に注意してください。

1) 停止中に、「初期設定」ボタンを押す。

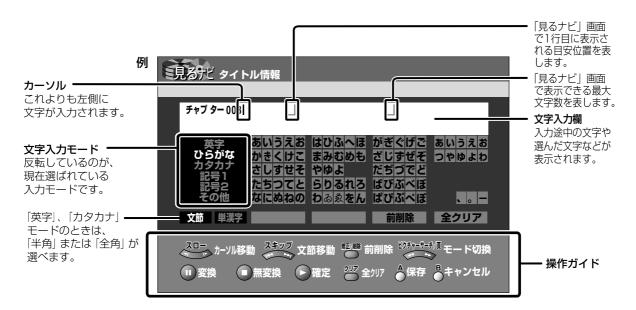
2) 方向ボタン（◀/▶）で「管理設定」を選び、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン（▲/▼）で「DVD-RAM物理フォーマット」を選び、「決定」ボタンを押す

4) メッセージ画面が表示されたら、方向ボタン（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」ボタンを押して実行する

中止する場合は「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ

- ディスクが汚れている状態で「DVD-RAM物理フォーマット」を実行すると、物理フォーマットに失敗する場合があります。また、物理フォーマットに失敗しない場合でも、記録に失敗しやすいディスクになります。必ず事前に汚れを確認し、必要に応じてディスクのクリーニングを行なってください。
- 次のようなDVD-RAMディスクに効果が期待できます。
  － 物理フォーマットが正しく行なわれていないディスク
  － ディスク上の汚れやほこりなどが原因で、書込みエラーが多く発生し、追加記録ができなくなったり、通常の初期化ができなくなったディスク
- 途中で物理フォーマットに失敗した、または中止したディスクを使用する場合は、物理フォーマットを最初からやり直す必要があります。
- ディスク内部の欠陥数が、本機の管理上限を超えた場合、物理フォーマットを実行しても使用できません。
- 物理フォーマットでエラーが発生すると、表示窓に「ERR－01」が表示されます。
  このエラーメッセージを消すときは、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

文字入力のしかた

■ リモコンのボタンと操作ガイド

文字はおもにリモコンの方向ボタンを使って入力します。その他に使うボタンは画面下部の操作ガイドでお知らせします。

例

- スロー：左右にカーソルの位置を移動します。
- 123456789：数字を入力します。
- 修正/削除：カーソルより左にある文字を、一文字ずつ削除します。
- クリア：入力欄にある文字を、すべて削除します。
- ピクチャーサーチ/頁：入力するモードを切り換えます。
- A ：入力欄の文字を保存して、前の画面に戻ります。
- B ：文字入力をキャンセルして、前の画面に戻ります。
- スキップ：変換する文字群の変換単位を、前後に移動します。
- ：ひらがなを漢字に変換します。
- ：ひらがなを漢字に変換しないで、ひらがなのまま決定します。
- ▶：変換した漢字を決定します。

■ 入力モードを切り換える

文字を入力する前に、「頁（◀◀/▶▶）」ボタンを押して、入力モードを選びます。
選べるモードは以下の6つです。

「**英字**」：
アルファベットや数字を入力できます。
「**ひらがな**」：
ひらがなを入力できます。入力したひらがなは漢字変換できます。
「**カタカナ**」：
カタカナを入力できます。
「**記号1**」、「**記号2**」、「**その他**」：
特殊な文字や、絵記号などを入力できます。

お知らせ

- 「文節移動」、「変換」、「無変換」、「確定」は、ひらがなモード以外では使用できません。
- 文字入力モードは、方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」ボタンを押しても切り換えられます。

■ 文字を入力する

カーソルの左側に文字が入っている場合があります。不要であれば、次のいずれかの方法で文字を削除してください。

文字削除のしかた

- 文字入力欄の文字をまとめて削除する
  方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で「全クリア」を選び、「決定」ボタンを押す
  またはリモコンのふたを開けて「クリア」ボタンを押す
- カーソルの左側の文字を1字削除する
  方向ボタンで「前削除」を選び、「決定」ボタンを押す
  またはリモコンのふたをあけて「削除」ボタンを押す

1)「頁」ボタンを押して、入力モードを選ぶ

例：「サンタset」を入力する
　カタカナモードを選びます。

漢字を入力するには、「漢字入力する」をご覧ください。

2) 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で文字を選び、「決定」ボタンを押す

カーソル(|)の位置に、選んだ文字が入ります。

「サ」→「決定」→「ン」→「決定」→「タ」→「決定」の順に押します。

3)「頁」ボタンで新しいモードに切り換えて、2)の要領で文字を選ぶ

「s」→「決定」→「e」→「決定」→「t」→「決定」の順に押します。

さらに文字を追加する場合は、1)、2)の手順をくり返します。

4) 文字入力が終わったら、「A」ボタンで保存する

画面が変わり、入力したディスク名やタイトル名が表示されます。

お知らせ

- 入力できる文字は、全角で32文字、半角で64文字です。
- 入力欄に必要ない情報が表示されていたり、入力済みの文字を訂正したいときには、「クリア」ボタンで一括削除するか、「削除」ボタンでいらない文字を削除します。

■ 漢字入力する

例：「特集」を入力する

1)「頁」ボタンを押して、ひらがなモードを選ぶ

2) 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で文字を選び、「決定」ボタンを押す

「と」→「決定」→「く」→「決定」→「し」→「決定」→「ゅ」→「決定」→「う」→「決定」の順に押します。

3)「一時停止」ボタンを押す

漢字に変換されます。

変換せずにそのままひらがなを入力したい場合は、「停止」ボタンを押して無変換を選びます。

入力したひらがなに下線がついている状態でないと、変換できません。

とくしゅう ⇒ ⏸ ⇒ 特集
(変換を押す)

変換したい漢字が一度で出ないときには、「一時停止」ボタンをくり返し押します。

変換したい漢字が出ないときには、方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で、画面上の「単漢字」を選び、「一時停止」ボタンで漢字を一つずつ探せます。

4) 希望の漢字が表示されたら、「確定」で決定する

(確定を押す)

■ 文節を移動する

変換途中に「スキップ」ボタンを押すと、隣の文節を選べます。
文節のくくりが正しくないときは、「スロー」ボタンでカーソルを移動すると変更できます。

本取扱説明書について

この取扱説明書では、機能ごとにお使いになれるディスクの種類を以下のマークで表しています。

- HDD ：内蔵HDD（ハードディスクドライブ）
- DVD-RAM ：DVD-RAMディスク
- DVD-VIDEO ：DVDビデオディスク
- VCD ：ビデオCD
- CD ：音楽用CD

また操作方法は、特にことわりのない限り、リモコンでの操作を中心に説明しています。本体のボタンは、リモコンのボタンとマークが同じであれば使い方も同じです。

基本操作

番組を録画して再生してみましょう。

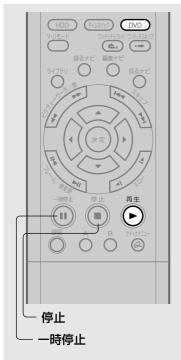
- **DVDビデオディスクを再生する**
- **録画した内容を再生する（見るナビ）**
- **番組を予約録画する（録るナビ）**
- **クイックメニューを使いこなす**

DVD-VIDEO　VCD　CD

DVDビデオディスクを再生する

ビデオCDや音楽用CD、DVD-Rも同じ手順で再生できます。
録画した内容を再生するには ➪30ページをご覧ください。

■ 準備

- テレビやオーディオシステムなど、接続機器の電源を入れ、本機をつないでいる入力に切り換えてください。
- 再生したいディスクを本機に入れてください。（➪18ページ）

1 DVDボタンを押す

本体のDVDインジケーターが点灯します。
本機が、トレイの中のディスクを操作する状態（DVDモードといいます）になったことを示します。

2 「再生」ボタンを押す

再生

再生がはじまります。

- ディスクによっては、DVDモードに切り換えただけで、再生が始まることがあります。
- 再生がはじまるまで、多少時間がかかることがあります。これは、ディスクに記録されている情報を読み込むための時間です。

■ 再生を止めるには

「停止」ボタンを押す

■ 再生を一時停止する（静止画再生）

「一時停止」ボタンを押す

- 普通の再生に戻すには、「再生」ボタン、または「一時停止」ボタンを押します。

お知らせ

- 静止画再生中は、音声は再生されません。

お知らせ

- DVDビデオディスクの映像は、情報量が多く高解像度であるため、ディスクによっては通常のテレビ放送では見えなかった細かなノイズが見えることがあります。お使いになるテレビにもよりますが、通常テレビを見るときよりも画質調整（シャープネスコントロール）を下げると、見やすくなります。

最後に止めた位置から再生する（続き再生）

DVD-VIDEO　VCD　CD

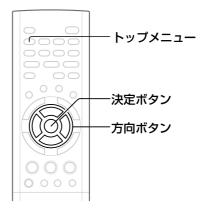
再生を中断してもその続きから再生できます。

再生を止めたあと、「再生」ボタンを押すと、止めた続きが再生されます。
再生を止めたあと、もう一度「停止」ボタンを押すと続き再生が解除されます。

お知らせ

- 次のときは、続き再生の機能が働きません。
  - 初期設定画面で、「DVDディスクメニュー言語」（➡140ページ）や「DVDパレンタルロック」（➡141ページ）の設定を行なったとき
  - PBC付きビデオCDを、「PBC」（➡142ページ）を「入」の設定で再生しているとき
  - ディスクトレイを引き出したとき
- ディスクによって、続き再生の始まる位置が変わることがあります。
- 続き再生中に初期設定画面を使って設定を変えても、続き再生を解除した後でないと働かない場合があります。

トップメニューを使って再生する DVD-VIDEO

DVDビデオディスクには、全体の構成を確かめたり見たい場面が選べるように、トップメニューと呼ばれるメニュー画面が記録されている場合があります。たいていは一定の場所で自動的に表示したり、必要なときに呼び出すようになっています。詳細はディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を説明します。それぞれのディスクの説明書もあわせてご覧ください。

1）「トップメニュー」ボタンを押す

2）方向ボタンを押して、再生したいタイトルを選ぶ

各タイトルに番号がついている場合は、その番号を番号ボタンで直接選ぶことができます。

3）「決定」ボタンを押す

お知らせ

- この手順は基本的な操作手順です。ディスクによっては手順が異なりますので、画面に表示される操作手順にしたがってください。
- 再生中にトップメニューを表示したとき、「決定」ボタンを押さずにもう一度「トップメニュー」ボタンを押すと、もとの位置から再生が始まります。（ディスクによって異なります。）
- トップメニューが記録されていないディスクでは、トップメニューを使った再生はできません。
- ディスクの説明書によっては、トップメニューを表示するボタンを「TITLE（タイトル）」ボタンと呼んでいる場合があります。

HDD DVD-RAM

録画した内容を再生する(見るナビ)

内蔵HDDやDVD-RAMディスクに録画した内容は、タイトルやチャプターごとに、場面を並べて一覧表示(サムネイル表示)できるので、見たい内容が簡単に探せます。録画のしかたは36ページをご覧ください。

1 停止中または再生中に、「見るナビ」ボタンを押す

見るナビ

次のような表示(「見るナビ　タイトル一覧」画面)が出ます。

例

種類(オリジナル/プレイリスト)を示します。116ページをお読みください。

3モードボタン(「HDD」または「DVD」)を押せば、内蔵HDDとDVD-RAMディスクを切り換えられます。

2 方向ボタンを押して、見たいタイトル(またはチャプター)を選ぶ

- 「頁(◀◀/▶▶)」ボタンを押して前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「決定」ボタンを押す

選んだタイトル(またはチャプター)から再生がはじまります。

お知らせ

- 画面表示を消すには、「見るナビ」ボタンを押します。
- サムネイルの「II」は、「HDD/RAMタイトル再生設定」(146ページ)が「タイトル毎レジューム」に設定してあるときには、すべてに表示されます。「タイトル連続再生」に設定してあるときには、最後に録画/再生したタイトルにのみ表示されます。
- 内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクに入っているタイトルは、手順1のサムネイル表示を他の場面に変えることができます。132ページをご覧ください。
- 内蔵HDDを再生中にディスクを入れると、再生が停止します。もう一度「再生」ボタンを押して、再生を始めてください。

■ 最後に止めた位置から再生する(タイトル毎レジューム再生)

本機では、最後に再生を止めた位置を記憶して、次回にその位置から再生をはじめることができます。

この機能を使うには、「HDD/RAMタイトル再生設定」(⇨146ページ)を「**タイトル毎レジューム**」に設定します。最後に止めた位置がタイトルごとに記憶され、たとえばディスクの中に6つのタイトルが録画してあれば、あたかも6本のビデオテープがあるかのように、それぞれを、止めた位置から再生を再開(レジューム)することができます。

●タイトルの先頭から再生したいときは

再生中に、「クイックメニュー」ボタンを押したあと「クイックメニュー」から「タイトル先頭から再生」を選んで「決定」ボタンを押す

●他のタイトルを再生したいときは

「見るナビ」ボタンで「見るナビ　タイトル一覧」画面を表示させて、再生したいタイトルを選ぶ

最後に止めた位置をタイトルごとに記憶しないで、最後の一ケ所だけにすることもできます。「HDD/RAMタイトル再生設定」(⇨146ページ)を「**タイトル連続再生**」に設定します。

●タイトルの先頭から再生したいときは

「スキップ(⏮)」ボタンを、タイトルの先頭になるまでくり返し押す

●他のタイトルを再生したいときは

「スキップ(⏮/⏭)」ボタンをくり返し押す

お知らせ

- ディスクの記録内容や状態などの条件によって、タイトルやディスクの先頭から再生がはじまるなど、タイトル毎レジューム再生のはじまる位置が異なることがあります。
- ディスクによって、タイトル毎レジューム再生のはじまる位置が多少ずれることがあります。

■ ダイジェストで再生する(インスタントダイジェスト再生)

録画された1タイトルを先頭から約3秒間再生した後、約1分間スキップさせせる動作をくり返す機能です。

録画されている内容をダイジェストで見ることができます。

1) ⇨30ページの手順1、2を行ない、ダイジェスト再生したいタイトルを選ぶ

「クイックメニュー」が表示されます。

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「インスタントダイジェスト再生」を選び、「決定」ボタンを押す

インスタントダイジェスト再生が始まります。

お知らせ

- この機能は、内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクに録画された1タイトル内で働きます。
- この機能の動作中は、早送り/早戻しなどのいろいろな速さでの再生はできません。
- この機能の動作中に、「決定」ボタンを押すと、そのまま普通の再生になります。

■ タイトル(オリジナル)の各冒頭部分だけを再生してみて選ぶ(イントロスキャン)

1) 停止中、または30ページの手順1を行なったあと、「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタンで「イントロスキャン」を選び、「決定」ボタンを押す

タイトル1から順に、各タイトルの冒頭部分が約5秒ずつ再生されます。

「スキップ」ボタンで、前後に移動できます。

▶▶I ： 次のタイトルへ移動

I◀◀ ： 現在のタイトルの先頭へ移動
続けて2回押すと、前のタイトルへ移動

4) 見たいタイトルになったら、「決定」ボタンを押す

そのタイトルが再生されます。

お知らせ

• イントロスキャンを途中で止めるには、「停止」ボタンを2回押します。

■ ディスク内のタイトル(オリジナル、プレイリスト(116ページ))をすべて再生する

「HDD/RAMタイトル再生設定」(146ページ)を「タイトル連続再生」に設定すると、内蔵HDD、DVD-RAMそれぞれの全タイトルを、「見るナビ」画面上の順番に、あたかも一本のビデオテープのようにつなげて再生します。

■ ディスク内のタイトル(オリジナル)をすべて再生する(全タイトルORG再生)

内蔵HDD、DVD-RAMそれぞれの全タイトル(オリジナル)を、「見るナビ」画面上の順番に、あたかも一本のビデオテープのようにつなげて(オリジナル)再生します。

1) 停止中に、「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「特殊再生モード」を選び、「決定」ボタンを押す

例

3) 方向ボタン(▲/▼)で「全タイトルORG再生」を選び、「決定」ボタンを押す

タイトル1の先頭から再生がはじまります。

お知らせ

• 全タイトルORG再生を解除するには、「停止」ボタンを2回押します。
(ただし、内蔵HDD録画中のHDD別タイトル再生(42ページ)で、「全タイトルORG再生」を行なっているときは、「停止」ボタンを2回押すと、録画の停止となりますのでご注意ください。)
または「クイックメニュー」ボタンを押して、「クイックメニュー」を表示させたあと、方向ボタン(▲/▼)で「全タイトルORG再生解除」を選び、「決定」ボタンを押します。
• 最後のタイトルまで再生すると、全タイトルORG再生は終了します。
• 手順3)で「全タイトルORGリピート」を選ぶと、全タイトルORG再生をくり返します。
• 全タイトルORG再生を停止すると次回の再生はそこからはじまります。

■ 選んだタイトルのくわしい情報を見る（タイトル情報⇨88ページ）

1）⇨30ページの手順2でタイトル（またはチャプター）を選んだあと、「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2）方向ボタン（▲/▼）で「タイトル情報」を選び、「決定」ボタンを押す

タイトルのくわしい情報と、チャプターの内容が表示されます。頁（◀◀/▶▶）ボタンでチャプターの内容が切換わります。

お知らせ

- タイトル情報画面で、さらに「クイックメニュー」ボタンを押すと、「タイトル名入力」「チャプター名入力」「チャプター名削除」「ジャンル変更」が選べます。外部入力録画によるタイトルの場合は「録画日時入力」も選べます。方向ボタンで項目を選び、画面にしたがって入力すると、ライブラリ機能（⇨85ページ）が使いやすくなります。
  また「保護設定」を選ぶと、録画されたタイトルの保護（⇨43ページ）を設定できます。
- 「B」ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- 手順を途中でやめるときは、「見るナビ」ボタンを押します。

■ タイトル一覧の表示を並べかえる

タイトル一覧の表示を並べかえたり、ジャンル別の検索を行ないます。

1）「見るナビ」ボタンを押す

タイトル一覧が表示されます。

2）「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

3）方向ボタン（▲/▼）で「表示切替」を選び、「決定」ボタンを押す

例

4）方向ボタン（▲/▼）で表示方法を選び、「決定」ボタンを押す

- **並べ替え**
  並べ替える条件に合わせて表示します。
  並べ替えの条件を方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」ボタンを押す
- **ジャンル別表示**
  登録してあるジャンル別に検索して表示します。ジャンルを方向ボタン（▲/▼）で選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 並べ替えやジャンル別表示は、一度見るナビを消すと、元の表示に戻ります。

■ タイトル一覧のページをジャンプする

1) 「見るナビ」ボタンを押す

タイトル一覧が表示されます。

2) 「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「頁指定ジャンプ」を選び「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタンまたは番号ボタンで指定するページ数を入力する

例

- 「▲/▼」または「値変更(⏮/⏯)」ボタン：ページ数を入力
- 「クリア」：入力したページ数をキャンセル

5) 指定ページ数を入力後、「決定」ボタンを押す

指定したページのタイトル一覧が表示されます。

再生時のヒント

再生中にできること

もう一方のディスクを再生したいときは

「停止」ボタンを押していったん再生を止めます。そのあとで3モードボタン(「HDD」または「DVD」)を押して、再生したい方を選んでください。

放送中の映像に切り換えたいときは

「停止」ボタンを押して再生を止めます。

録画をはじめたいときは

「停止」ボタンを押していったん再生を止めます。そのあとで3モードボタン(「HDD」または「DVD」)を押して、録画先を選び、「録画」ボタンで録画をはじめます。

■ ブラウン管保護機能

再生を一時停止した状態や、本機の各種メニューなどの表示を約15分間続けたままで何も操作しなかったときは、チューナーまたは外部入力の画面になります。
タイトルの最後まで再生を終えると静止画状態になりますが、この場合は10秒後にテレビ放送などの入力映像に自動的に切り換わります。

お知らせ
- 追っかけ再生やTVお好み再生など、本機の「TIME SLIP」ボタンが点灯しているときは、ブラウン管保護機能は働きません。

■ 状態表示

操作をすると、以下のようなマークが画面に約3秒間表示され、動作の状態を示します。

おもな状態表示
(ディスクによっては該当しないものがあります。)
- ▶ ：再生
- ❚❚ ：一時停止
- ■ ：停止
- ▶▶ ：早送り
- ◀◀ ：早戻し
- ▶▶❙ ：進む方向のスキップ(頭出し)*
- ❙◀◀ ：戻る方向のスキップ(頭出し)*
- ❙▶x1/2 ：進む方向のスローモーション
- ◀❙x1/2 ：戻る方向のスローモーション
- ❙❙▶ ：コマ送り
- ◀❙❙ ：コマ戻し
- ● ：録画
- ●❚❚ ：録画一時停止
- タイトル エンド ：タイトルの最後まで再生したときに表示
- ➡ ：ワンタッチスキップ
- ⬑ ：ワンタッチリプレイ
- チャプター 分割 ：チャプター分割

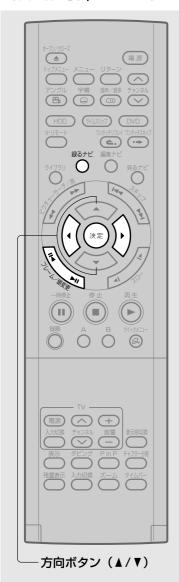
* マークと同時に以下も表示します。
HDD DVD-RAM ：タイトル番号/タイトル名およびチャプター番号/チャプター名
DVD-VIDEO ：タイトル番号およびチャプター番号
VCD CD ：トラック番号

お知らせ
- 状態表示を消したいときは、初期設定で「画面表示」(➡144ページ)を「切」に設定します。
- 経過時状態表示のほかに、設定の状況などを追加して表示させることもできます。➡63ページをご覧ください。

お知らせ
- 再生中に本機を動かさないでください。ディスクを傷つけてしまいます。
- 再生が終わった後、最後の場面で一時停止したりメニュー画面などが表示される場合があります。メニュー画面などの静止画面が長く続くと、接続しているテレビ画面に焼き付きが生じることがあります。必ず「停止」ボタンを押して、再生を終了してください。

HDD DVD-RAM

番組を予約録画する(録るナビ)

録画の予約は「録るナビ」画面を使います。残量計算や録画に必要な情報が簡単に集められるので、準備に手間がかかりません。先週のドラマの続きなど、前と同じ条件で予約するときにも役立ちます。
「録画の前に」(⇨68ページ)もあわせてお読みください。

方向ボタン(▲/▼)

1 停止中に、「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

例

2 「決定」ボタンを押す

「実行」の項目が、データを入力できる状態になります。

録るナビ 録画予約一覧 1/1 頁 9/5(木)21:08
実行 CH 日付 開始 終了 記録先 モード レート 音質 ディスク
✓ --- ------ -- -- -- -- HDD LP 2.2 D1

3 方向ボタン(◀/▶)で設定する項目を選び、「値変更(I◀◀/▶▶I)」ボタンを押してデータを入力する

- 設定する内容は、次ページをご覧ください。
- データの入力は、方向ボタン(▲/▼)でもできます。

4 設定が終わったら、「決定」ボタンを押す

続けて他の録画予約をするときは、方向ボタン(▶)を押して次の行の先頭に移動したあと、手順2〜4をくり返してください。

5 「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

録るナビ

録画予約が設定されました。

- 電源を切る場合は、「電源」ボタンを押して電源を切ってください。

■ 設定項目

実行	√	「√」がある番組の予約録画を実行します。
CH	1～64ポジション、BS1～BS15、L1*～L3	録画したい番組のチャンネルを設定します。（スキップ設定したチャンネルは表示されません。） *「入力1設定」（➡準備編45ページ）を「ライン」に設定してあるとき選べます。
日付	今日から2ヶ月先(62日)の日付まで、毎日曜日～毎土曜日、月－木曜日、月－金曜日、月－土曜日、毎日	録画したい番組の日付を設定します。
開始		録画の開始時刻です。（初期値として10分後の時刻が表示されます。） 番号ボタン（ふたの中）でも入力できます。
終了		録画の終了時刻です。（現在時刻から2分以降で録画開始時刻から9時間以内が設定可能です。） 番号ボタン（ふたの中）でも入力できます。
記録先	DVD	DVD-RAMディスクに録画したいとき。
	HDD	内蔵HDDに録画したいとき。
	AB面	AB面録画（➡74ページ）をするとき。「モード」は自動的に「ジャスト」になります。
モード（画質）	SP	録画時間、画質とも標準の設定です。（音質設定の「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	LP	長時間録画したいとき。ただし、画質は「SP」モードに比べると下がります。（音質設定の「L-PCM」を選ぶと設定できません。）
	マニュアル	レート（ビットレート）の任意の設定ができます。
	ジャスト	記録直前のディスクの空き容量に合わせて自動的に画質レートを設定します。（ディスクの空き容量が足りない場合は、番組の最後まで記録できません。）内蔵HDDに記録すると、DVD-RAM4.7GBの未使用ディスクにダビングできる時間分を記録します。2時間半以上の番組は設定できません。
レート（ビットレート）	1.4 2.0～9.2	録画モードが「SP」、「LP」、「ジャスト」では指定できません。2.0～9.2の範囲で0.2Mbpsずつ任意に指定できます。（音質の設定値によって、設定できる上限値が変わります。）
音　質	DDD1	標準の音質です。
	DDD2	DDD1よりも良い音質です。音楽番組などの録画にお勧めします。
	L-PCM	圧縮していないデジタル音声で最もよい音質ですが、録画できる時間は短くなります。

DDD1、DDD2は米国ドルビーラボラトリーの民生用デジタル録音方式を用いています。
設定1としてDDD1はDolby Digital 192kbps、設定2としてDDD2はDolby Digital 384kbpsとなっています。

お知らせ

- 「モード」、「レート」および「音質」について、詳しくは➡70、163ページをご覧ください。
- 録るナビ以外にも、Gコードなどで録画予約ができます。「録画」の章（➡67ページ）をご覧ください。
- レート設定をおおよそ「4.0Mbps」より低く設定した場合、いろいろな速さの再生が正しく働かないことがあります。また、他のレート設定よりノイズが多く発生し、画質も下がります。

■ 画質を選ぶときのポイント

- **通常の録画や迷っているときには**
  「SP」モードをお勧めします。
- **見たら消すような番組を録画したいときには**
  「LP」モードをお勧めします。画質は落ちますが、長時間記録することができます。
- **高画質での録画には**
  「マニュアル」モードをお勧めします。レートを高く設定するほど、高画質な映像になりますが、録画できる時間は短くなります。6.0Mbps～6.8Mbpsあたりがおすすめです。
  連ドラやアニメなどをたくさん保存したいとき、3.2Mbpsで不要な部分をカットすると、30分番組が両面ディスクに14話程度入ります。
- **空き容量に入るように予約録画したいときには**
  「ジャスト」モードをお勧めします。ディスクの空き容量に合わせて、画質のレートを自動的に選びます。この機能を使っても、録画する内容によってはディスクに収まらない場合もあります。また、ディスクの空き容量をすべて使い切る機能ではありません。

■ 予約内容の詳細を設定する

予約内容ごとに、詳細な設定ができます。

1) ⇨36ページの手順3で、「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

例

2) 方向ボタン(▲/▼)で、設定する項目を選び、「決定」ボタンを押す

録画・画質/音質選択

登録してある画質/音質設定(1〜5)が選べます。

予約名変更

予約名を入力できます。

入力画面で入力します。⇨24ページ

DVD-R互換モード

DVD-Rに書き込むための設定(⇨147ページ)を各予約ごとに変更できます。

最高画質ﾚｰﾄ容量節約

最高画質レートで録音しながら容量をなるべく節約したいときに設定します。通常は最高レートの9.2Mbpsで録画をし、映像に変化が少なく高いレートを必要としない部分だけ、一時的にレートを下げて録画ができます。

切:この機能は働かせず、通常の録画をします。

入:この機能を働かせます。

お知らせ

- 音質の設定が「L-PCM」のときは、画質が「マニュアル8.0Mbps」に設定されます。「L-PCM」以外のときは、「マニュアル9.2Mbps」に設定されます。
- 「入」に設定すると、「モード」、「レート」は変更できなくなります。
- 映像によっては容量に差が出ない場合もあります。

無音部分チャプター分割

音声が無い(聴感上音のない)部分で自動的にチャプター分割をする機能です。

例えば、音楽クリップ集番組で、再生時の曲間頭出しの目安などに利用できます。完全なチャプター分割をしたり、あるいは完全に無音の部分でのみ自動的にチャプター分割する機能ではありません。

切:この機能は働きません。

入:無音部分でのチャプター分割を行ないます。

お知らせ

- 番組の内容や無音部分の状態によっては、チャプター分割されない場合や、分割位置が異なる場合があります。またたとえ曲の間でもチャプター分割される場合もあります。
- 録音入力レベルの設定値によっては、チャプター分割されない場合や分割位置が異なる場合があります。
- 再生中(追っかけ再生、HDD別タイトル再生も含む)、「見るナビ」画面の表示中は、チャプター分割されません。

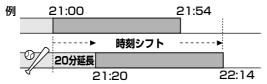
ジャンル設定

予約番組のジャンルをあらかじめ設定できます。
「ジャンル設定」(⇨148ページ)で登録したリストが表示されます。
予約内容などに応じてジャンルを設定します。

3) 方向ボタン(▲/▼)などで設定し、「決定」ボタンを押す

「録るナビ/録画予約一覧」画面の下部に、選択中の予約に関する設定内容が表示されます。

■ 録画の開始時刻／終了時刻をずらす（時刻シフトモード）

予約録画開始前に野球中継などがある場合、野球中継の放送延長等で、番組の終了時刻がくり下がる可能性があるとき、簡単に録画の時間帯をずらせます。

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で、時間帯をずらしたい録画予約を選ぶ

3) リモコンのふたをあけ、「延長」ボタンを押す

開始時刻と終了時刻が編集モードになります。

4)「延長」ボタンをくり返し押す

押すたびに、開始時刻と終了時刻が10分ずつ最大60分まで後にずらせます。

5)「決定」ボタンを押す

6)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

ご注意

- 毎週や毎日などの予約の場合、ずらした開始時刻、終了時刻は必要に応じて元に戻してください。

■ 録画予約を追加する

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン(▼)で、何も入力されていない行にカーソルを合わせ、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン(◀/▶)で、設定する項目を選び、「値変更」ボタンを押してデータを入力する

4) 設定が終わったら、「決定」ボタンを押す

5)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

■ 録画予約を削除する

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で、削除したい録画予約を選ぶ

3)「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

4) 方向ボタン(▲/▼)で「予約キャンセル」を選び、「決定」ボタンを押す

メッセージを確認して、録画予約を削除します。

5)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

■ 予約内容を変更する

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で、修正したい録画予約を選び、「決定」ボタンを押す

3) 方向ボタン(◀/▶)で、修正する項目を選び、「値変更」ボタンを押してデータを設定しなおす

4)「決定」ボタンを押す

修正データが登録されます。

5)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

ご注意

- 予約録画開始時刻5分前になると、どの予約も内容の変更はできません。予約のキャンセルはできます。

お知らせ

- 10分以内に始まる録画がない場合に限り、開始時刻を過ぎた録画予約も設定できます。ただし、予約の録画開始時刻から実際に録画を開始するまでの間は録画されません。

■ 予約履歴(前と同じ番組を録画予約する)

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「予約履歴一覧」を選び、「決定」ボタンを押す

予約履歴一覧画面が表示されます。

現在時刻から新しい9件までを表示します。

「頁」ボタンを押して前後のページへ移動できます。

4) 方向ボタン(▲/▼)で、録画したい番組の予約履歴を選び、「決定」ボタンを押す

録画予約一覧画面に、選んだ予約履歴情報が入力されます。

5) 方向ボタン(◀/▶)で、修正したい項目を選び、「値変更」ボタンを押して入力する

6) 設定が終わったら、「決定」ボタンを押す

7)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

お知らせ

- 予約履歴は36件まで登録されます。36件を超えたときは、古いものから順に消去されます。

■ 残量計算

1)「録るナビ」ボタンを押す

「録るナビ」画面が表示されます。

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニュー画面が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「残量計算」を選び、「決定」ボタンを押す

残量計算画面が表示されます。

4) 方向ボタン(▲/▼)で予約項目を選び、「決定」ボタンを押す
または
「値変更」ボタンを押す

行の先頭にチェックマークがついている予約に対してだけ、残量計算を行います。残量計算の結果は、ただちに画面下のグラフに表示されます。

チェックマークがついていない場合、「値変更」ボタンを押して、チェックマークをつけます。

例

5) 残量を調整したい場合は、予約データを修正する
(調整しないときは手順7へ進んでください)

変更できるのは「記録先」、「モード」、「レート」および「音質」です。

変更したい項目を選んで「決定」ボタンを押すと、編集モードになり、「値変更」ボタンを押して変更ができます。

変更後はもう一度「決定」ボタンを押して決定します。

6)「A」ボタンを押す

予約データが更新されます。

7)「録るナビ」ボタンを押して画面を終了する

お知らせ

- 予約ディスク(75ページ)を入れているときは、その予約ディスク以外のDVD-RAMディスクの予約には残量計算は働きません。

録画時のヒント

■ 録画を終了する

「停止」ボタンを押す

■ 録画を一時停止する(不要な場面をカットする)

録画中に、「一時停止」ボタンを押す

「一時停止」ボタンをもう一度押すと、録画がはじまります。

お知らせ

- 録画中に一時停止することで、自動的にチャプターの境界ができます。

■ 予約録画を途中で止める

終了するには

本体の「■」ボタンを2回押す

一度押すとメッセージが表示され、その間にもう一度押します。
(ナビ画面などの表示中は働きません。)

一時停止するには

本体の「II」ボタンを押す

もう一度押すと、録画がはじまります。

■ 録画チャンネルを変える

1) 録画中に、「一時停止」ボタンを押す

録画が一時停止します。

2) 「チャンネル」ボタンで録画チャンネルを変える

3) 「一時停止」ボタンを押して、録画を再開する

■ 録画しながら別の番組を見る(録画中に裏番組を見る)

1) 録画をはじめる

2) テレビの入力切換を「テレビ」にする

3) テレビ側のチャンネルボタンで、見たい番組を選ぶ

■ 録画時のノイズを低減する機能を使う(録画DNR)

録画の前に、初期設定で「録画DNR」を設定します。
内容の詳細は ⇨ 147ページをご覧ください。

■ 録画と再生を同時に行なう

●再生中に、もう一方のディスクに録画するには

一度再生を止めてから、再生していない方のディスクを「DVD」ボタンまたは「HDD」ボタンで選び、録画の操作を行なってください。

●録画中に、もう一方のディスクを再生するには

録画していない方のディスクを「DVD」ボタンまたは「HDD」ボタンで選び、再生の操作を行なってください。

■ 録画中に、録画の終了時刻を設定する

1) 録画中に「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「録画終了時刻設定」を選び、「決定」ボタンを押す

表示が以下のように変わります。

例

録画終了時刻設定 14:10

3) 方向ボタン(◀/▶)で入力位置を選び、「値変更」ボタンを押して設定を変える

4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 録画終了時刻を設定すると、予約録画となって本体表示窓に録画予約表示(「⏲」)が点灯します。
- 一度設定すると、終了時刻は変更できません。
- 終了時刻は、現在の時刻より5分以降でなければ設定できません。

■ 予約録画が終了したら自動的に電源を切る

1) 予約録画の実行中に「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「終了後電源切る」を選び、「決定」ボタンを押す

録画時のヒント(つづき)

■ 予約録画の途中で録画の終了時刻を延長する

予約録画中に、リモコンのふたをあけ、「延長」ボタンを押す

1回目を押すと、現在の終了時刻が表示されます。
その後1回押すごとに、終了時刻(本体表示窓に表示)が10分ずつ、最大60分まで後にずらせます。

お知らせ

- 手順の途中で他のボタンを押すと、その時点で延長時間が確定します。
- 終了時刻1分前を過ぎると延長できません。
- 延長を設定しても空き容量がなくなると録画は終了します。また、録画開始から9時間を過ぎるとその時点で録画が終了します。

■ 録画中に、録画してある別のタイトルを再生する(HDD別タイトル再生) HDD

内蔵HDDへの録画中に限ります。
DVD-RAMへの録画中にDVD-RAMの中のタイトルを再生することはできません。

1) 内蔵HDDへの録画中に、「見るナビ」ボタンを押す

2) 方向ボタンで、見たいタイトルを選び、「決定」ボタンを押す

選んだタイトルの再生が始まります。

「停止」ボタンを押すと再生が止まり、録画中の画面に戻ります。もう一度「再生」ボタンを押すと、止めた続きを再生します。

お知らせ

- 別タイトル再生中は、以下のことはできません。
  －普通の再生以外でのチャプター分割(リモコン)
  －プログラム再生(リピートなど)
  －編集(チャプター分割、プレイリスト作成、ダビング、タイトル/チャプター名設定、サムネイル設定、イントロスキャン)
- リレー録画(74ページ)中はHDD別タイトル再生はできません。

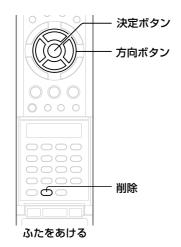
■ DVD-Rに記録する内容を録画する

必ず「DVD-R互換モード」(147ページ)を「入」に設定して録画してください。

お知らせ

- ディスクトレイが開いたままの状態で予約録画の開始時刻になっても、自動的にディスクトレイは閉じません。DVD-RAMディスクに録画する場合は、録画可能なディスクをあらかじめ本機に入れておいてください。
- 録画中は、チャンネルや画質モードなどの変更はできません。
- 録画できる最大のタイトル数は、DVD-RAMディスクは99、内蔵HDDは198です。
- 内蔵HDDとDVD-RAMの両方同時に同じ内容を録画できません。(リレー録画を除く)
- 録画できる時間は1回の録画につき最長9時間です。これを超えると録画が自動的に停止します。
- 予約録画中には、録画予約はできません。
- 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
- 予約録画実行中に停電が発生すると、停電から復帰するまでの録画内容は復元できず、失なわれます。
- DVDドライブの再生中に内蔵HDDへの予約録画がはじまると、一瞬再生画面が静止します。
- モノラル放送は、録画するとステレオ音声として左右に同じ音声が記録されます。
- 「L-PCM」の音質モードで、音声多重放送を記録したときは、ステレオ音声として記録されます。
  音声多重放送を録画したときの再生音は、「主音声」と「副音声」が同時に出力しますので、「音声/音多」ボタンで出力する音声を選んでください。
- DVD-Rにダビングする内容を録画する場合は、必ず「DVD-R互換モード」(147ページ)を「入」に設定して録画してください。
- 「DVD-R互換モード」(147ページ)を「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定していると、音声多重放送では選んだ音声(主または副)だけが記録されますので、「DVD-R互換モード」は、DVD-Rへのダビングをするときだけ設定するようにしてください。

■ 録画内容を削除する

ご注意
オリジナル(➡116ページ)のタイトル/チャプターを削除すると、内容は復元できませんので、削除する前には内容を十分ご確認ください。

1)「録画した内容を再生する(見るナビ)」(➡30ページ)の手順1〜2を行なって、タイトル(またはチャプター)を選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから「タイトル削除」(または「チャプター削除」)を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す
または
リモコンのふたをあけ、「削除」ボタンを押す

3) メッセージの内容を確認し、方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ
- タイトル(またはチャプター)の削除によって、そのあとのタイトル(チャプター)番号がくり上がります。
- 約5秒以下の短いチャプターは削除できないことがあります。また、短いチャプターを削除しても空き容量の表示が変化しない場合があります。
- プレイリスト(➡116ページ)のタイトルまたはチャプターを削除しても、元となるオリジナルのタイトルやチャプターは影響を受けません。
- オリジナルのタイトルまたはチャプターを削除した場合、関連するプレイリストも影響を受けます。
- すべてのチャプターを削除したタイトルは自動的に削除されます。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルのチャプターは削除できません。

■ 録画内容を保護する

録画した内容を削除できないように保護します。
保護はタイトル(オリジナル)単位で行ないます。

1)「録画した内容を再生する(見るナビ)」(➡30ページ)の手順1〜2を行なって、タイトルを選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから「タイトル情報」を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す

3) タイトル情報画面で、「クイックメニュー」ボタンを押し、クイックメニューから「保護設定」を方向ボタン(▲/▼)で選び、「決定」ボタンを押す
保護設定のマーク(🔒)がつきます。

お知らせ
- 保護設定を解除するには、上の手順をくり返します。
- ディスクの初期化を行なうと、その中のタイトルは保護されている場合でもすべて削除されます。

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

クイックメニューを使いこなす

本機の機能を幅広く利用するには、クイックメニューが簡単で便利です。クイックメニューとは、再生中、録画中など、状態ごとに関連する機能を一覧表示するもので、ボタンひとつでいつでも呼び出せます。

クイックメニューの例

クイックメニューの基本操作

1 「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」ボタンを押す

■ クイックメニューを途中で消すには

もう一度「クイックメニュー」ボタンを押す

または

「戻る」を選んで「決定」ボタンを押す

クイックメニューで選べる機能

項目の例を紹介します。これ以外にも、他のページで説明している項目もあります。

■ くり返し再生する（リピート再生）

ディスクから、再生したい部分だけをくり返します。

ディスク：HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

状態：再生中

項目：特殊再生モード

サブメニューが出ますので、方向ボタンと「決定」ボタンで項目を選びます。

A-Bリピート：

タイトル（またはトラック）のうち、指定した範囲だけをくり返します。

これを選んで「決定」ボタンを押すと、次の表示が出ます。手順1）～2）を行なってください。

例

AB リピート A点設定

手順を中止するには「B」ボタンを押します。

1）**くり返したい範囲の始点になったら「決定」ボタンを押す**

ボタンを押したところがA点（始点）として記憶されます。

表示が「B点設定」に変わります。

2）**くり返したい範囲の終点になったら「決定」ボタンを押す**

ボタンを押したところがB点（終点）として記憶され、A点とB点の間のくり返し再生がはじまります。

タイトルリピート：

タイトルをくり返します。

チャプターリピート：

チャプターをくり返します。

トラックリピート：

トラックをくり返します。

ディスクリピート：

ディスク全体をくり返します。

全タイトルORGリピート：

ディスクのタイトル（オリジナル）全部をくり返します。

全タイトルPLリピート：

ディスクのタイトル（プレイリスト）全部をくり返します。

リピート解除：（リピート再生中）

普通の再生に戻ります。

内蔵HDD、DVD-RAMの場合は停止します。

お知らせ

- ディスクによってはリピート再生ができないものがあります。
- ランダム再生中は、リピート再生はできません。
- リピート再生中に「停止」ボタンを押すと、リピート再生は解除されます。
- 内蔵HDD、DVD-RAMのリピート再生中は、停止以外の操作（⇨50～52ページ）はできません。

■ 順不同に再生する（ランダム再生）

ディスクを、いろいろな単位で順不同に再生します。

ディスク：DVD-VIDEO VCD CD

状態：停止中/再生中

項目：特殊再生モード

サブメニューが出ますので、方向ボタンと「決定」ボタンで項目を選びます。

タイトルランダム：

ディスクの全タイトルを、順不同に再生します。各タイトルはチャプター1から順に再生されます。

チャプターランダム：

タイトル内の全チャプターを、順不同に再生します。

トラックランダム：

ディスクの全トラックを、順不同に再生します。

ランダム解除 :(ランダム再生中)
普通の再生に戻ります。

お知らせ
- ディスクによってはランダム再生ができないものがあります。
- メモリー再生中はランダム再生はできません。
- リピート再生中はランダム再生はできません。
- ランダム再生中に「停止」ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。

■ 好きな順番で再生する(メモリ再生)

ディスクから選んだ30個までのタイトル、チャプター、トラックを、そのつど好きな順に並べて再生できます。
(内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクの記録内容を好きな順番で再生する場合は、プレイリストを作成します。くわしくは「編集」の章をご覧ください。)
ディスク: DVD-VIDEO VCD CD
状態:停止中/再生中
項目: **特殊再生モード**
サブメニューが出ますので方向ボタンと「決定」ボタンで項目を選びます。

メモリリスト
これを選んで「決定」ボタンを押すと画面表示が出ます。以下の手順を行なってください。

例

01 タイトル チャプター	11 タイトル チャプター	21 タイトル チャプター
02 タイトル チャプター	12 タイトル チャプター	22 タイトル チャプター
03 タイトル チャプター	13 タイトル チャプター	23 タイトル チャプター
04 タイトル チャプター	14 タイトル チャプター	24 タイトル チャプター
05 タイトル チャプター	15 タイトル チャプター	25 タイトル チャプター
06 タイトル チャプター	16 タイトル チャプター	26 タイトル チャプター
07 タイトル チャプター	17 タイトル チャプター	27 タイトル チャプター
08 タイトル チャプター	18 タイトル チャプター	28 タイトル チャプター
09 タイトル チャプター	19 タイトル チャプター	29 タイトル チャプター
10 タイトル チャプター	20 タイトル チャプター	30 タイトル チャプター

1)タイトル、チャプター、トラックの番号を、再生したい順に番号ボタンで入力する

番号は3ケタで入力します。

番号が1ケタや2ケタの場合は、はじめに「0」を入力します。(例「0」「0」「3」)

入力した番号を取り消すには、「クリア」ボタンを押します。

チャプター番号を入力するときは、方向ボタン(◀/▶)を押してカーソルの位置を変えます。

2)方向ボタン(▲/▼)を押して、次の欄を選び、手順1)を行う

同じタイトル内のチャプターを続けて設定するときは、タイトル番号を入力する必要はありません。

必要なだけ、この手順をくり返します。

30個まで入力できます。

3)「決定」ボタンを押す

メモリ再生がはじまります。

メモリ :(普通の再生中)
メモリ再生が1件ずつ設定できる入力エリアを表示します。

メモリ解除 :(メモリ再生中)
普通の再生に戻ります。

メモリリピート :(メモリ再生中)
メモリ再生をくり返します。

お知らせ
- ディスクによってはメモリ再生ができないものがあります。
- ディスクにないタイトル番号、チャプター番号、トラック番号は入力しても再生されません。
- メモリ再生中には、メモリ内容の設定/変更はできません。変更するときは、「停止」ボタンを押して、メモリ再生を解除してから変更してください。
- 本体の電源を切ったときは、設定したメモリの内容が消去されます。
- メモリ画面、メモリリスト画面の表示は「B」ボタンを押すと消えます。

■ 現在のビットレートを表示する

ディスク：HDD DVD-RAM DVD-VIDEO
状態：停止中／再生中
項目：ビットレート

お知らせ

- ビットレート表示を消すには、もう一度この項目を選びます。

■ 広がりのある音にする

2つのスピーカーだけでも広がりと奥行き感のある音響効果(3D効果)で、再生する機能を設定します。
ディスク：HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD
状態：再生中
項目：3D (N-2-2)

サブメニューが出ますので、方向ボタンと「決定」ボタンで項目を選びます。

入：
3D効果が働きます。

切：
3D効果は働きません。

ヘッドホン：
テレビやAVアンプのヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用する場合に、3D効果が働きます。

お知らせ

- 3D再生すると音量が変わったように感じることがあります。
- 再生する音の音声方式や設定によっては、3Dが働かないか、または十分に効果が出ないことがあります。(➡59ページ)
- 3D再生中は、ドルビープロロジックサラウンドが働かないかまたは通常と違って聞こえることがあります。
- リニアPCMの音声を再生するときは、音質を向上させるため、「切」に設定してください。

■ タイトルの情報を見る

ディスク：HDD DVD-RAM
状態：再生中、停止中、「見るナビ」画面表示中、「ライブラリ」画面表示中、「編集ナビ」画面上のパーツ選択中
項目：タイトル情報

■ 動作が終了したら自動的に電源が切れるように設定する

ディスク：HDD DVD-RAM
状態：予約録画実行中、ダビング中、DVD-R作成中、一括削除設定中、物理フォーマット中
項目：終了後電源切る

お知らせ

- 途中で処理を中止させたときなど、本来の動作が完了しなかったときは無効になります。

■ クイックメニューから抜ける

ディスク：HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD
状態：「クイックメニュー」表示中
項目：戻る

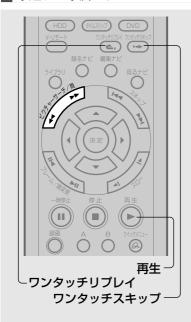
再　生

GUI（グラフィカル・ユーザー・インターフェイス）機能で、いつもの再生がより簡単に、より多彩に楽しめます。

- **いろいろな速さの再生**
- **番号を使ってサーチする**
- **放送中の番組をとめてあとで見る（TVお好み再生）**
- **録画中に録画済みの部分を見る（追っかけ再生）**
- **アングルを変えて見る**
- **音声の切り換え**
- **字幕の表示と切り換え**
- **拡大して見る**
- **子画面で見る（P in P再生）**
- **動作と設定の状態を画面で確認する**
- **バーチャルリモコンを使う（V-リモート）**

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

いろいろな速さの再生

早送り / 早戻しする HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

1 普通の再生中に、「ピクチャーサーチ」ボタンを ◀◀ または ▶▶ の方向に押す

▶▶：早送り
◀◀：早戻し

「ピクチャーサーチ」ボタンを押すたびに、それぞれの再生する速さが切り換わります。

お知らせ

- 早送り／早戻し中は、音声と字幕(副映像)は再生されません。
- 早送り／早戻しの速さは、再生するディスクによって異なります。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」ボタンを押す

■ タイムバー表示

早送り／早戻し中は、画面にタイムバーが表示されます。

例

詳細は ➡ 64ページをご覧ください。

■ 内容をとばして見る(ワンタッチスキップ)

HDD DVD-RAM

再生中に、「ワンタッチスキップ」ボタンを押す

ボタンを押すたびに、設定した時間分をスキップします。
スキップする時間の設定は、「各種操作設定」の「ワンタッチスキップ設定」で設定できます。➡ 145ページ

■ 少し前に戻る(ワンタッチリプレイ)

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

再生中に、「ワンタッチリプレイ」ボタンを押す

ボタンを押すたびに、設定した時間分を前に戻し、そこから再生を再開します。
戻す時間の設定は「各種操作設定」の「ワンタッチリプレイ設定」で設定できます。➡ 145ページ

お知らせ

- ディスクによっては、ワンタッチリプレイができないものがあります。
- ディスクの構造上、機能が制限される部分があります。
- 再生状態によっては、操作した通りに戻らない場合があります。

前後のチャプター／トラックへスキップする HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

1 「スキップ(⏮/⏭)」ボタンを繰り返し押して、再生したいチャプター／トラック番号を出す

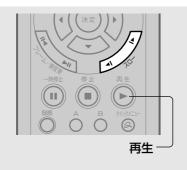
選んだチャプター／トラックから再生がはじまります。

⏭：１つ先のチャプター／トラックの先頭から再生します。

⏮：現在のチャプター／トラックの先頭から再生します。
つづけて二度押すと、１つ前のチャプター／トラックの先頭から再生します。

お知らせ

- タイトルによっては、チャプター番号を表示しないものがあります。
- 内蔵HDDやDVD-RAMの再生では、「HDD／RAMタイトル再生設定」(⇨146ページ)が「タイトル連続再生」に設定されているときは、同じディスク内の他のタイトルのチャプターも頭出しできます。「タイトル毎レジューム」に設定されているときは、現在のタイトル内のチャプターだけが頭出しできます。
- DVDビデオディスクの場合、「DVDビデオタイトル停止」(⇨142ページ)を「無」に設定しているときは、他のタイトルのチャプターも頭出しできます。ただし、「スキップ(⏮)」ボタンで前のタイトルに戻ったときは、そのタイトルの最初のチャプターが頭出しされます。「DVDビデオタイトル停止」が「有」に設定されているときは、現在のタイトル内だけでチャプターの頭出しができます。

スローモーションで再生する HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD

1 再生中に、「スロー」ボタンを押す

I▶：進む方向のスローモーションで再生します。

◀I：戻る方向のスローモーションで再生します。

押すたびに、スローモーションの速さが切り換わります。

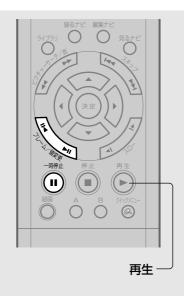
お知らせ

- スロー再生はスムーズな連続動画にはなりません。
- TVお好み再生および追っかけ再生時は、戻る方向のスローモーションはできません。
- ビデオCDでは戻る方向のスローモーションはできません。
- 速さの表示はおおよその目安です。

■ 普通の再生に戻すには

「再生」ボタンを押す

いろいろな速さの再生(つづき)

コマ送り／コマ戻しで再生する　HDD　DVD-RAM　DVD-VIDEO　VCD

1 再生中に、「一時停止」ボタンを押す

一時停止

静止画になります。

2 「フレーム(II◀/▶II)」ボタンを押す

▶II方向：コマ送り
II◀方向：コマ戻し

■ 普通の再生に戻すには

「再生」ボタン、または「一時停止」ボタンを押す

お知らせ

- コマ送り／コマ戻し再生中は、音声は再生されません。
- コマ戻し再生は、スムーズな連続動画になりません。
- コマ送り／コマ戻し時には、画面が前後に数コマ動くことがあります。
- 位置によっては再生されないコマがあります。
- TVお好み再生および追っかけ再生時は、コマ戻しはできません。
- ビデオCDはコマ戻しできません。

静止画をめくる（静止画が記録されたディスクの再生）　DVD-RAM

1 「再生」ボタンを押す

再生

静止画の1枚目が再生されます。

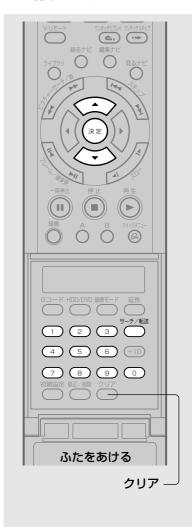
2 「フレーム(II◀/▶II)」ボタンを押す

▶II方向：次の静止画が再生されます。
II◀方向：前の静止画が再生されます。

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

番号を使ってサーチする

番号を指定して頭出しする HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

記録内容の単位である「タイトル」、「チャプター」、「トラック」には、順番に番号がふられています。この番号を使って頭出しします。

1 「サーチ」ボタンを押す

ビデオCD／音楽用CDのときは、手順2は不要です。

例：

タイトル 001
チャプター 0001

2 方向ボタン（▲/▼）を押して、頭出し先（「タイトル」または「チャプター」）を選ぶ

例：チャプターを頭出しする

3 番号ボタンで、頭出し先の番号を入力する

例：チャプター／トラック番号25を入力するには「2」→「5」の順に押す

4 「決定」ボタンを押す

選んだ箇所から再生がはじまります。

お知らせ

- 「クリア」ボタンを押すと、入力する番号の表示が消えます。表示そのものを消すときは、「サーチ」ボタンを数回（ディスクの種類によって異なります）押してください。
- タイトル番号の記録されていないディスクでは、タイトル番号を使った頭出しはできません。
- 内蔵HDDおよびDVD-RAMディスクでタイトルを削除すると、以降のタイトルは番号が繰り上がります。
- 新たに録画したタイトル（オリジナル）は、タイトル（プレイリスト）の前に挿入され、タイトル（プレイリスト）は番号が１つずつ繰り下がります。

番号を使ってサーチする(つづき)

経過時間を指定して頭出しする（タイムサーチ） HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

1 「サーチ」ボタンを押す

ディスクの種類で押す回数が異なります。
下の表示が出るまで押してください。

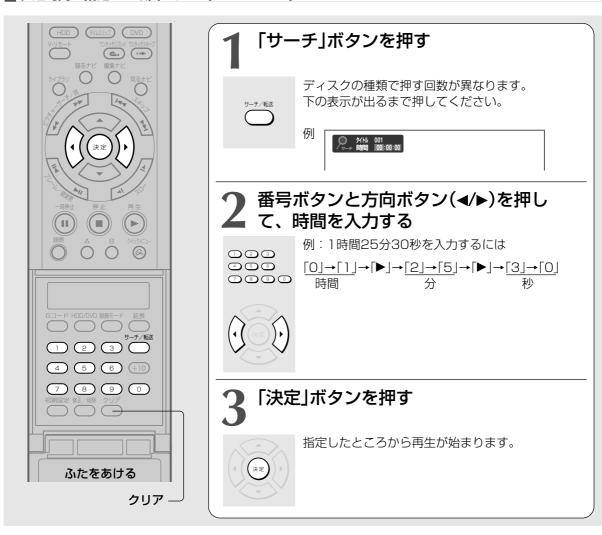
例

2 番号ボタンと方向ボタン(◀/▶)を押して、時間を入力する

例：1時間25分30秒を入力するには

「0」→「1」→「▶」→「2」→「5」→「▶」→「3」→「0」
時間　分　秒

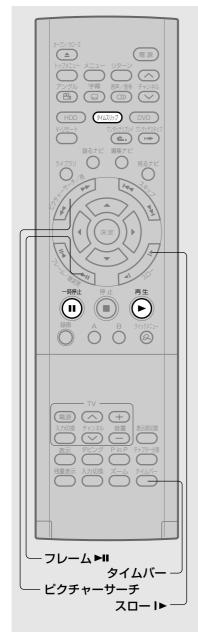
3 「決定」ボタンを押す

指定したところから再生が始まります。

お知らせ

- ディスクによっては、タイムサーチできないものがあります。
- 場面によっては、タイムサーチできないことがあります。
- タイムサーチできるのは、内蔵HDD、DVD-RAMディスク、DVDビデオディスクでは現在選択している同じタイトル内、ビデオCD／音楽用CDでは現在選択している同じトラック内です。
- 「クリア」ボタンを押すと、入力した項目の時間表示が「00」になります。

HDD

放送中の番組をとめてあとで見る(TVお好み再生)

放送中の番組やこれから見る番組を、一時的に本機の内蔵HDDにたくわえておくことで、ふいの電話や来客などがあっても番組を一時停止し、あとで続きを見ることができます。くり返したりスローにしたりと、決定的瞬間をじっくり見るときにも役立ちます。

1 本機を通して番組を見ているとき、または番組がはじまる直前に、「タイムスリップ」ボタンを押す

現在見ている番組の映像が一時停止状態になります。
ボタンを押してからの放送内容は、内蔵HDDに一時的に記録されていきます。

2 「一時停止」ボタン、または「再生」ボタンを押して、止めた続きを見る

一時停止

再 生

- 現在見ている映像と、実際の放送との位置関係は、タイムバーで確認できます。「タイムバー」ボタンを押してください。
- すぐには一時停止を解除できない場合があります。

3 お好みで、見たい場面を以下の操作でさがす

早送り／早戻し：「ピクチャーサーチ」ボタンを押す
スロー再生：「スロー(I▶)」ボタンを押す
コマ送り：「一時停止」ボタンを押してから、「フレーム(▶II)」ボタンを押す

- 普通の速さの再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。
- 早送りできるのは、実際の放送の数十秒前までです。現在の放送を見るには、「タイムスリップ」ボタンを押してTVお好み再生を解除してください。

4 「タイムスリップ」ボタンを押して、タイムスリップモードを終了する

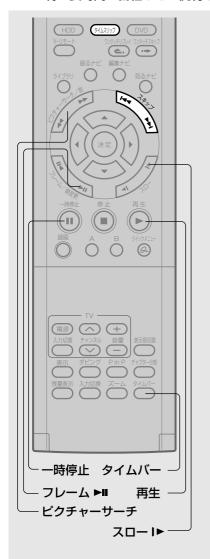
内蔵HDDへの記録が止まります。
書き込んだ内容を保存するか消去するかを確認するメッセージが表示されます。
方向ボタン(◀/▶)で「はい」「いいえ」を選び、「決定」ボタンを押します。

お知らせ

- TVお好み再生は、本機で録画をしているときはできません。
- TVお好み再生中は、戻し方向のスロー再生とコマ戻しはできません。
- TVお好み再生は内蔵HDDに空き容量がなくなると停止します。空き容量が全くない場合は動作しません。
- TVお好み再生中は、録画予約転送はできません。
- 電源を入れたときなどに自動的に連動する機能ではありません。使うときはこの手順を行なってください。

HDD

録画中に録画済みの部分を見る（追っかけ再生）

録画しながら、同じ番組の録画済みの部分に戻って再生することができます。録画の終了まで待たずに見られるので、特に長時間の番組などに便利な機能です。

1 内蔵HDDへの録画中に、「タイムスリップ」ボタンを押す

現在録画している番組が再生状態になります。

2 「スキップ」ボタンで、番組の先頭まで戻る

先頭まで戻ると、自動的に再生がはじまります。

- 現在見ている場面と、実際の放送との位置関係は、タイムバーで確認できます。「タイムバー」ボタンを押してください。

3 お好みで、見たい場面を以下の操作でさがす

早送り／早戻し：「ピクチャーサーチ」ボタンを押す
スロー再生：「スロー(I▶)」ボタンを押す
コマ送り：「一時停止」ボタンを押してから、「フレーム(▶II)」ボタンを押す

- 普通の速さの再生に戻すには、「再生」ボタンを押します。
- 早送りできるのは、録画している実際の放送の数十秒前までです。

4 「タイムスリップ」ボタンを押して、タイムスリップモードを終了する

画面が放送中の映像に戻ります。

お知らせ

- 追っかけ再生中は、戻し方向のスロー再生とコマ戻しはできません。
- 追っかけ再生は、DVD-RAMディスクへの録画ではできません。
- 追っかけ再生中に内蔵HDDに空き容量がなくなると録画は停止しますが、録画された分までは再生を続けます。空き容量がない場合は録画ができないので、追っかけ再生も動作しません。
- 録画開始直後は、追っかけ再生はできません。
- 追っかけ再生では実際の放送位置には追いつきません。見ている映像は、実際の放送より数秒の遅れが生じています。
- 追っかけ再生中は、録画予約転送はできません。
- 追っかけ再生中に、終了後の電源制御の設定はできませんので、追っかけ再生を開始する前に設定してください。
- 「終了後電源切る」を設定して追っかけ再生を実行すると、録画が終了しても電源は切れずに、「タイムスリップ」ボタンを押して追っかけ再生を終了したあとに電源が切れます。

DVD-VIDEO

アングルを変えて見る

複数のカメラアングルで記録されている(マルチアングル)部分では、画像を好きなアングルに切り換えられます。

1 再生中に、「アングル」ボタンを押す

マルチアングルで記録されている部分を再生すると、表示窓と画面にアングルアイコンが自動的に表示されます。アングルアイコンが表示されているときに、好きなアングルに切り換えることができます。

例

アングルアイコン

アングル 1/6

記録されているアングルの総数

見ているアングルの番号

2 アングル番号の表示中に、「値変更」ボタンを押して、好きなアングルを選ぶ

「アングル」ボタンを数回押してもアングルが選べます。

• アングル番号表示は操作してから約3秒たつと消えます。

お知らせ

• 一時停止中もアングルが選べます。このときは再生を始めてからアングルが切り換わります。
• アングルを選んだ直後に一時停止させたときは、画像のアングルが切り換わらないことがあります。
• ディスクによっては、アングル番号が切り換わっても映像は切り換わらない場合があります。

■ テレビ画面にアングルアイコンを表示させなくするには

初期設定で「画面表示」を「切」に設定します。
(➡144ページ)
アングルを切り換えたいときは、本体表示窓のアングルアイコンの点滅中に切り換えます。

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD

音声の切り換え

複数の音声が記録されているディスクでは、好きな言語や聞きたい音声方式に切り換えられます。

1 再生中または放送受信中に、「音声/音多」ボタンを押す

現在の音声設定が表示されます。

言語名がコードで表示される場合があります。
言語コード表（164ページ）と照らし合わせてください。

2 音声設定の表示中に、「値変更」ボタンを押して、好きな音声を選ぶ

ディスクや放送の種類によって、音声の切り換わり方が異なります。

- HDD DVD-RAM 、およびテレビ放送受信中
  ステレオ音声の番組
  「ステレオ」(左の(主)音声と右の(副)音声)→「ステレオL」(左の(主)音声)→「ステレオR」(右の(副)音声)(→「ステレオ」に戻る)

  二重音声の番組
  「主」(主音声)→「副」(副音声)→「主＋副」(主音声＋副音声)(→「主」に戻る)

- DVD-VIDEO
  ディスクに記録されている音声の、言語・音声方式・出力チャンネル数

  例

- VCD
  「ステレオ」→「ステレオL」→「ステレオR」(→「ステレオ」に戻る)

音声設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

方向ボタン(▲/▼)で「出力」を選ぶと、「値変更」ボタンを押して音声出力方式（143ページ）の切り換えができます。

お知らせ

- DVDビデオディスクを使用しているとき、ディスクによっては、音声の切り換えをディスクメニューを使って行う場合があります。このときは、「メニュー」ボタンを押してディスクメニューを表示させてから音声を選んでください。
- 電源を入れたときおよびディスクを交換したときは、初期設定（⇨140ページ）の音声になります。ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。
- 音声を切り換えた直後は、表示と実際の音声が一瞬ずれることがあります。
- 「3D（N-2-2）再生設定」（⇨144ページ）を「入」に設定していると、二カ国語放送の音声が混ざって聞こえたり、リニアPCM音声の音圧が低くなります。このようなときは「切」にしてください。
- 「DVD-R互換モード」（⇨147ページ）を「入」にして録画したタイトルは、二カ国語の音声の切り換えはできません。
- BS独立音声はBSデコーダ側の切り換えで選んでください。

■ 出力される音声の種類

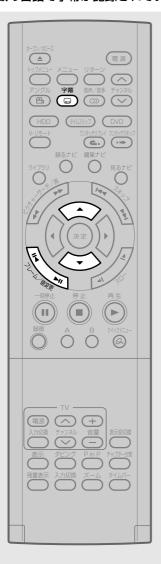
ディスク	音声方式		初期設定画面での「音声出力設定」（⇨143ページ）と出力端子					
			「ビットストリーム」		「アナログ 2ch」		「PCM」	
			ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子	ビットストリーム/PCM音声出力端子	アナログ音声出力端子
DVDビデオディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
		96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	—	96 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
		96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit	—	96 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
		96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit	—	96 kHz/24 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/24 bit
	DTS		ビットストリーム	—	ビットストリーム	—	—	—
	MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
ビデオCD	MPEG1		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
音楽用CD	リニアPCM 44.1 kHz/16 bit		44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit	44.1 kHz/16 bit
	DTS		ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）	ビットストリーム	（ノイズ）
内蔵HDD	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM 48 kHz/16 bit		48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
DVD-RAMディスク	ドルビーデジタル		ビットストリーム	48 kHz/20 bit	ビットストリーム	48 kHz/20 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/20 bit
	リニアPCM 48 kHz/16 bit		48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit
	MPEG2		ビットストリーム	48 kHz/16 bit	ビットストリーム	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit	48 kHz/16 bit

：3D再生（⇨144ページ）可能

*上表で「（ノイズ）」の表示のある接続と設定はしないでください。

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO

字幕の表示と切り換え

ディスクに字幕が記録されていれば、再生画面に字幕を表示できます。
複数の言語で字幕が記録されているディスクでは、好きな字幕に切り換えられます。

1 再生中に、「字幕」ボタンを押す

現在の字幕設定を表示します。

例

字幕	1 --
状態	切

設定番号および言語

言語名表示は、言語によってコードで表示される場合があります。言語コード表（164ページ）と照らし合わせてください。

2 方向ボタン（▼）で、「状態」にカーソルを置き、「値変更」ボタンを押して「入」を選ぶ

すでに「入」が表示されているときはこの手順は不要です。手順3に進んでください。

3 方向ボタン（▲）で、「字幕」にカーソルを置き、「値変更」ボタンを押して、好きな字幕言語を選ぶ

表示されない字幕言語はディスクに記録されていません。

• 字幕設定の表示は、操作してから約3秒たつと自動的に消えます。

お知らせ

• ディスクによっては、字幕が自動的に表示されるように設定されているものがあります。
• 再生している場所によっては、「入」を選んでも、すぐには字幕が表示されないことがあります。
• ディスクによっては、字幕の言語や表示、非表示の切り換えを、ディスクメニューを使って選ぶ場合があります。

■ 字幕を非表示にするには

上の手順2で、「値変更」ボタンを押して「切」を表示させる

DVD-VIDEO

拡大して見る（ズーム再生）

画面を拡大できます。

1 再生中、スローモーション再生中または一時停止中に、「ズーム」ボタンを押す

画面にズームガイドが表示されます。

例

2 ズームする倍率と場所を選ぶ

- **「A」ボタン**：
  ズームする倍率が上がります。

- **「B」ボタン**：
  ズームする倍率が下がります。

- **方向ボタン**：
  ズームする場所が移動します。

- **「クリア」ボタン**：
  ズームする部分が画面の中央に戻ります。

お知らせ

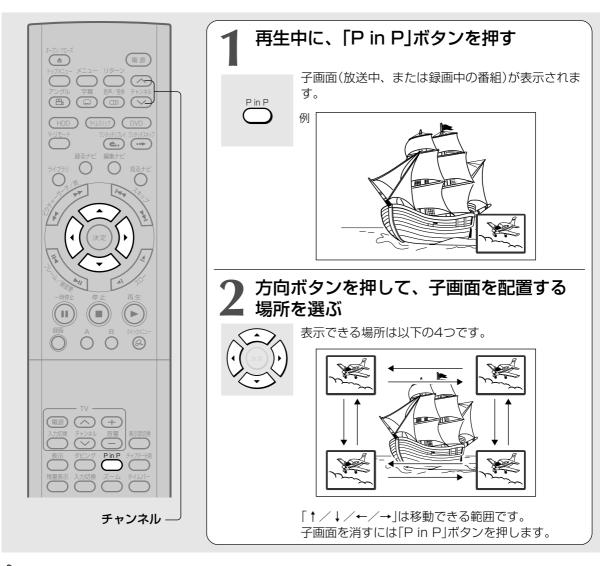
- ディスクによっては、ズーム再生できないものがあります。
- 場面によっては、ボタン操作が正しく働かないことがあります。
- ズーム再生中、ディスクに記録されているメニューの機能を使うと、ズーム再生は解除されます。
- 「TV画面形状」（⇨143ページ）の設定によって倍率は異なります。

■ 普通の再生に戻すには

「ズーム」ボタンを押す

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD

子画面で見る(P in P再生)

再生しながら、子画面で放送中の番組を見ることができます。(P in P：ピクチャーインピクチャー)

お知らせ

- 子画面に表示されている放送中の番組は「チャンネル(∧/∨)」ボタンを押して選択できます。
- P in P機能は再生動作中以外は動作しません。
- 再生中の画面と子画面の入れ換えや、音声の切り換えはできません。
- TVお好み再生や追っかけ再生中に「P in P」ボタンを押すと、実際の放送が子画面に表示されます。
- 位置を変更してP in P機能を中止した場合、再度「P in P」ボタンを押すと、変更した場所に子画面が表示されます。ただし、本機の電源を切った場合は右下画面に表示されます。
- ラインU、レート変換ダビング中に「P in P」ボタンを押すと、子画面にはラインU、レート変換ダビング選択前の入力映像が表示されます。ダビング終了まで変更はできません。

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

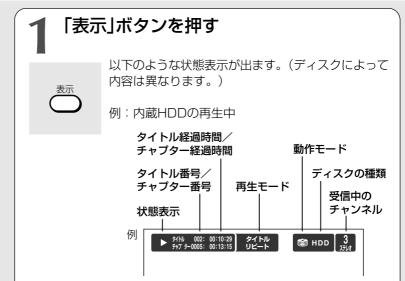
動作と設定の状態を画面で確認する

現在どの部分をどのような設定条件で操作しているかなどを、画面に表示させて確認できます。

状態表示と設定状況表示

1 「表示」ボタンを押す

以下のような状態表示が出ます。(ディスクによって内容は異なります。)

例：内蔵HDDの再生中

2 もう一度「表示」ボタンを押す

本機の設定状態と再生残時間などが表示されます。(ディスクによって内容は異なります。)

例

3 さらに「表示」ボタンを押して表示を消す

動作と設定の状態を画面で確認する(つづき)

タイムバーを使う

タイムバーとは、再生や録画で、現時点と全体との時間の関係を図式化した表示です。

1 再生中または録画中に、「タイムバー」ボタンを押す

タイムバー

タイムバーが表示されます。（ディスクによって内容は異なります。）

例：再生中

チャプター境界　ロケーター（現在位置を示します。）

00:00:00　再生位置 00:55:00　01:30:00

経過時間

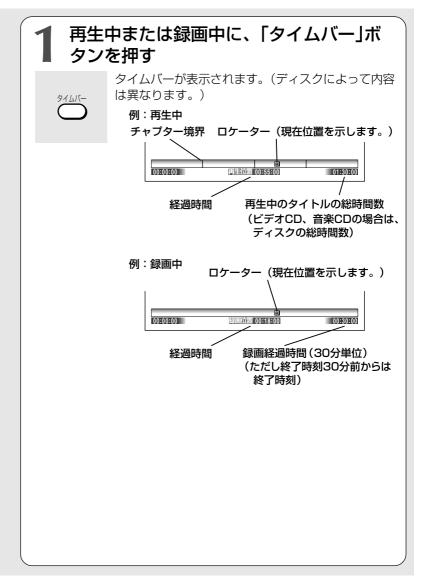
再生中のタイトルの総時間数（ビデオCD、音楽CDの場合は、ディスクの総時間数）

例：録画中

ロケーター（現在位置を示します。）

00:00:00　録画位置 00:18:00　00:30:00

経過時間

録画経過時間（30分単位）（ただし終了時刻30分前からは終了時刻）

お知らせ

- 時間の表示はおおよその目安です。

■ タイムバーの表示位置を変更するには

タイムバー表示中に方向ボタン(▲/▼)を押す

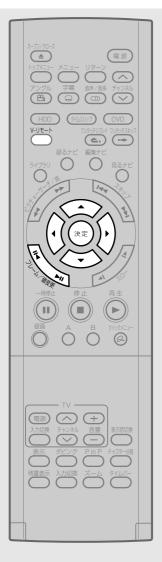
上下の2段階で表示位置が変わります。

■ タイムバーを消すには

「タイムバー」ボタンを押す

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

バーチャルリモコンを使う(V-リモート)

画面上でリモコン操作ができます。ボタンを何種類も使い分けることなく、方向ボタンだけで再生のおもな操作ができます。

1 再生中に、「V-リモート」ボタンを押す

リモコンのアイコン(V-リモート(バーチャルリモコン))が表示されます。

例

映像や音声の種類を選べます。手順2のBへ。

再生の速さと方向を選べます。手順2のAへ。

2 A 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で、再生の速さと方向を選び、「決定」ボタンを押す

❚❚	：一時停止と解除
▶	：ふつうの再生
❚▶	：スロー再生
▶▶❚	：進む方向のスキップ
▶▶	：早送り
◀❚	：戻る方向のスロー再生
◀◀	：早戻し
❚◀◀	：戻る方向のスキップ
■	：再生の停止

B 方向ボタン(▲/▼)で「音声」、「字幕」、「字幕－入切」または「アングル」を選び、「決定」ボタンを押す

選んだ項目の設定状態が表示されます。
「値変更」ボタンで設定し、「決定」ボタンを押してください。
項目の詳細はそれぞれのページをご覧ください。

音声： 58ページ
字幕： 60ページ
字幕－入切： 60ページ
アングル： 57ページ

お知らせ
- ディスクによっては機能しないことがあります。

■ バーチャルリモコンを消すには

「V-リモート」ボタンを押す、または再生を止める

録　画

録画をしてみましょう。

- 録画の前に
- 放送中の番組を録画する
- 便利な録画機能
- Gコード予約
- 外部機器から入力して録画する
- WOWOW(BS5)チャンネルを録画する
- CSデジタル／BSデジタルの番組を自動的に録画する
- ライブラリ(録画ライブラリ情報)

録画中にコピーガード信号を検出した場合には、録画は自動的に一時停止し、画面にはメッセージが表示されます。この状態は「一時停止」ボタンを押しても解除できません。(「停止」ボタンで録画を停止させることはできます。)録画が開始できる状態(コピーフリー)になると、自動的に録画一時停止は解除されます。

録画の前に

本機で録画するときに知っておきたい情報です。録画の前にお読みください。

本機はハードディスク(HDD)を内蔵しています。従来のビデオデッキでは、録画するにはテープが必要でしたが、本機はこのHDDに録画ができますので、テープの出し入れや録画する位置を確認するなどの手間がいらず、すぐに録画がはじめられます。さらにDVD-RAMディスクを入れれば、テープと同様に録画に使用するほか、内蔵HDDに録画した内容を、編集により必要なところだけDVD-RAMディスクにライブラリとして残すことができます。

本機の録画のしかたにはいろいろな種類があります。
用途とお好みに合わせて録画方法をお選びいただけます。

どこに何を録画したかわからなくなってしまった。

どこにいつ何チャンネルを録画したか、などの覚えておきにくい情報は、本機のライブラリ機能が管理しています。情報が一覧表示されるので、再生をしたい箇所が簡単に見つけられます。
→「ライブラリ(録画ライブラリ情報)」85ページ

大事な録画、家族のだれかが勝手に録画して消してしまう。

テープと異なり、上書きで録画をしてしまうことはありません。不要になった内容は、確かめたうえで、消したい箇所だけを選んで消せます。
→「録画内容を削除する」43ページ

大好きなドラマ。ついついあちこちに散らばってしまう。

本機の「予約ディスク機能」が、DVD-RAMディスクにまとめてくれます。専用ディスクになるので、他の番組の混入も防げます。
→「同じ番組の専用ディスクを作る(予約ディスク作成)」75ページ

ディスクの残量が少ない。途中で録画が途切れてしまわないか不安。

DVD-RAMディスクの残量が少ないときは、DVD-RAMディスクから内蔵HDDに録画をリレーできます。
(録画可能時間が不足しているときは動作しません。)74、148ページ

録画1回で1タイトルとなります。チャプターに分けることもできます。くわしくは「編集」の章(115ページ)をあわせてお読みください。

お知らせ

- すでに録画されているDVD-RAMディスクに新たに録画する場合、録画済みの分、録画に使用できる空き容量が減り、記録時間が短くなります。

ご注意

- 録画終了後、画面右上に「Loading」のアイコンが表示されます。これは録画終了処理(記録管理情報を記録する)を行なっていることを示すもので、この表示が消えるまでチャンネル切換以外の次の操作を受け付けないシステムになっています。
  録画終了処理時間は録画時間やディスクの使用量によって異なります。
- 本機動作中に、電源プラグをコンセントから抜いたり、停電があった場合、録画内容がすべて消える場合がありますので注意してください。
- 予約録画の開始時刻約5分前以降に、停電の発生や停電からの復帰があった場合、その予約録画が実行されない場合があります。

■ 準備はお済みですか？

テレビ番組を録画する際は、録画したいチャンネルが本機で受信できていることを事前にご確認ください。
録画したいチャンネルが本機を通して映らないときは、別冊の「準備編」をもう一度お読みになり、接続や各設定が正しく行われているかお調べください。
また、本機の時計の時刻設定が済んでいないと、あらゆる予約録画ができません。初期設定で時刻設定を済ませてください。

■ ディスク初期化について

DVD-RAMディスクは、新品でもはじめて使う前にディスクの初期化を実行してください。初期化することによって、本機で使用するディスクとして情報を管理することができるようになります。
内蔵ＨＤＤは通常初期化する必要はありませんが、HDD自身が何らかのトラブルで正常に使用できなくなった場合は、初期化を行なうことで元どおり使用可能になる場合があります。ただし、HDDの初期化を行なうと、中に録画してあるタイトルと、それまでのライブラリ情報がすべてなくなりますので、事前にライブラリ情報をDVD-RAMディスクに書き出し、タイトルを消去してよいかどうかを十分確かめてから、初期化を実行してください。

初期化のしかたは⇨22ページをご覧ください。

DVD-RAMディスクを初期化しても使用できない場合、初回設定で「DVD-RAM物理フォーマット」を実行することで使用可能になる場合があります。

物理フォーマットのしかたは⇨23ページをご覧ください。

■ DVD-RAMディスクに録画するときは

本機で録画できるディスクを確認のうえご用意ください。（⇨6ページ）

ディスクによっては、本機にディスクを入れたときに初期化が必要な場合があり、メッセージが出てお知らせします。画面の指示にしたがって初期化を行なうと、本機で録画や再生ができるようになります。
なお、パソコンなどで初期化したディスクは、使用できない場合があります。

ご注意
- 本機の録画にはDVD-RAM規格Version2.0に準拠したDVD-RAMディスクだけが使用できます。ただし、規格に準拠している場合でも、複雑な記録がされているDVD-RAMディスクには、記録されているデータを保護する意味で追加の録画ができないことがあります。記録済みのDVD-RAMディスクに録画を追加する場合は、事前に、録画ができるか／残量時間が表示されるかを確認し、それらが問題なくできていれば録画用のディスクとして使用が可能です。重要な録画には、新しいDVD-RAMディスクの使用をお勧めします。

■ ディスクの空き容量を調べる

1）「残量表示」ボタンを押す

画面の下側に、ドライブごとの現在の残量が表示されます。本体表示窓には選択中のドライブの残量が表示されます。

2）残量を確認したら、もう一度「残量表示」ボタンを押して表示を消す

お知らせ
- ディスクの空き容量は、「録るナビ」画面の「クイックメニュー」から「残量計算」を選んでも調べられます。（⇨40ページ）

■ 「HDDに空きがないので …」と表示されたときは

内蔵HDDが記録内容でいっぱいです。不要なタイトルを削除したり、必要な記録内容をDVD-RAMディスクに移動したりすると、その分新たな録画が可能になります。

■ 録画予約時刻が重なったときは

前の録画が終わらなくても、次の予約の開始時刻になると次の録画が始まります。
ただし、次の録画開始時刻の約15秒前に先の録画が終了します。（予約録画するドライブと同一のドライブで録画をいくつも続けて9時間を超えている場合は、約15秒前ではなく約2分前に先の録画が終了します。）

技術情報(録画)

● 録画時間について

従来のVTR(ビデオテープレコーダー)の場合、録画時間は、ビデオテープ自体の長さと録画速度(標準／3倍等)で決まっていて、用途に応じて何種類もの録画時間のビデオテープが市販されています。
一方DVD－RAMディスクは、12cmタイプでは片面4.7ＧＢと両面9.4GBと表示された2種類です。
ディスクの場合、テープの録画時間に相当する部分は、基本的には片面4.7GBだけ(4.7GBが裏表で9.4GB)ですが、MPEG2(Moving Picture Experts Group2)という可変圧縮方式で1.4Mbps(Mega bit per second つまり一秒あたりの情報量) から 9.2Mbpsのいわゆるビットレートという概念の値を可変することで、録画可能な時間を変えることができ、これがVTRの録画速度に当たります。
例えば、バケツに水道から水を入れる時、蛇口を大きくひねって水をたくさん出すとすぐにバケツはいっぱいになり、少しだけひねって水を出すと、ゆっくりバケツはいっぱいになります。この時のバケツがDVD-RAMディスクで、蛇口の回し具合がビットレート、水がいっぱいになるまでにかかる時間が、録画可能な時間に当たります。水をたくさん出す、つまりビットレートが9.2Mbpsのように高いと、すぐにディスクはいっぱいになります。ということは録画できる時間が短くなる(DVD-RAM 4.7GB で約１時間)ということです。1.4Mbpsのように低くなると、ディスクがいっぱいになるまでの時間が長くなります (同、約6時間(「音質」DD1設定時))。

● 画質について (SP、LP、ジャスト、マニュアルモードの使い分け)

ビットレート(Mbps)が高いということは、その映像に対する情報量が多く、低ければ情報量が少ないということです。ただし、ビットレートの値が高いからといって、必ずしも画質が良いとは言いきれません。1.4と9.0のように数値の違いが大きいときは、画質の違いがわかりやすいのですが、近い値で比べると、その違いを感じにくい場合があります。
一般的に、録画時間を重視してビットレートを低く設定すると、動きのおだやかな映像では目立ちませんが、変化が激しい映像では、必要なデータの量が確保できずに細部の情報が欠落し、結果として画面が粗くなってしまいます。例えば、動きが激しい場面や、水面のように細かい光と影が多い場面では、画面に四角いノイズ(ブロックノイズ)が見えてしまいます。
本機では、4.7GBの未記録DVD-RAMディスクを使って「SP」モードで約2時間、「LP」モードで約4時間の記録ができる設定があります。「SP」モードを標準とし、長時間でかつ画質にこだわらない場合には「LP」モードで録画するという使い分けをおすすめします。
また、録画したい時間が３時間前後だったり、「SP」か「LP」かの選択に迷ったときには、「ジャスト」モードを選択してください。「ジャスト」モードでは、4.7GBの未記録DVD-RAMディスクの場合、録画する時間が約1時間以内から最長約2時間半までの範囲で、録画時間に応じた最適の画質を自動的に設定しますので、最も簡単に最適な画質が得られます。画質モードを決めかねた時は、「ジャスト」モードをお使いください。一部が録画済みのDVD-RAMディスクでも、その残容量に合わせてレート設定をします(録画の直前の空き容量に応じて画質は決定されますので、ディスクに空き容量が少ない場合には、当初確認した画質より低くなるか、最後まで録画できないことがあります)。内蔵HDDへの録画で「ジャスト」モードを設定すると、DVD-RAMディスク片面一枚にダビングできるレート設定を自動的に行ないます。
音楽番組やアニメは一定以上の画質で録画したい、という場合は、「マニュアル」モードの選択をおすすめします。1.4Mbpsから9.2Mbpsまでの画質で、0.2Mbps単位に任意の画質が設定できます。(1.4Mbps～2.0Mbpsの範囲は任意の画質設定はできません)6Mbps以上の場合の画質で録画しますと、おおむね良い画質で録画できますが、高くするほど記録時間は短くなります。

● 予約録画待機について

本機では予約録画待機(タイマー待機状態)という状態がありません。スタンバイ状態や、再生・録画・編集中でも、予約開始時間になると、自動的に電源を立ち上げたり、それまでの動作を中断して予約録画を開始します。録画・編集中にも、実行中の処理を終了して、設定された予約録画を開始します。
予約録画終了後の電源や、時間を要する処理終了後の電源の入り切りを設定することが出来ます。
(⇨41、47ページ)

HDD　DVD-RAM

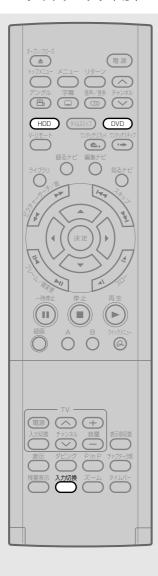
放送中の番組を録画する

予約をしないで、今すぐ録画する手順です。

■ 準備

- DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。
  - ・録画可能な残量があるディスクを入れてください。
  - ・ライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

1 3モードボタン（「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタン）を押して、記録先を選ぶ

HDD
DVD

HDD：内蔵HDDに録画します。
DVD：DVD-RAMディスクに録画します。

2 「入力切換」ボタンをくり返し押して、録画する放送を選ぶ

ボタンを押すたびに、内容が変わります。

チャンネル：地上放送を録画（手順3へ）
BS：衛星放送を録画（手順3へ）
ライン1：本体背面の入力1の信号を録画（➡78ページ）
BSデコーダを接続しているときは（➡80ページ）
初期状態ではラインに設定されています。
ライン2：本体前面の入力2の信号を録画（➡78ページ）
ライン3：本体背面の入力3の信号を録画（➡78ページ）
CSデジタル/BSデジタルチューナーを接続しているときは（➡83ページ）
ラインU：再生している番組を録画（➡113ページ）

「入力切換」ボタンは5秒以上押し続けると入力自動録画機能（➡83ページ）が働きますのでご注意ください。

（つづく）

放送中の番組を録画する(つづき)

(つづき)

3 番号ボタンで、録画するチャンネルを選ぶ

例：チャンネル6を選ぶ

0 → 6

チャンネル12を選ぶ
「1」→「2」(つづけて押す)

1 → 2

「チャンネル」ボタン(∧/∨)でも選べます。

4 「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させる

5 方向ボタン(▲/▼)で「録画・画質/音質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

6 方向ボタン(◀/▶)で録画先を選び、「値変更」ボタンを押して、画質、音質の設定No.を選ぶ

例

録画・画質/音質設定

HDD 設定2　SP 4.6 DD D1
DVD 設定3　LP 2.2 DD D1

カスタム設定

設定No.	モード	レート	音質
1	マニュアル	6.0	L-PCM
2	SP	4.6	DD D1
3	LP	2.2	DD D1
4	マニュアル	6.6	DD D2
5	マニュアル	8.0	L-PCM

DVD片面録画可能時間：約241分
(4.7GB未使用時)

7 「決定」ボタンを押す

設定画面が消えます。

8 「録画」ボタンを押す

録画がはじまります。

お知らせ

- 録画中は、チャンネルや画質モードなどの変更はできません。
- 録画できる最大のタイトル数は、DVD-RAMディスクは99、内蔵HDDは198です。
- 連続して録画できる時間は1回の録画につき最長9時間です。これを超えると録画が自動的に停止します。
- 録画中でも、「録るナビ」画面を表示させて録画予約ができます。（予約録画の実行中は録画予約はできません。）
- 予約録画開始時刻が近づいているときは、録画ができない場合があります。
- モノラル放送は、録画するとステレオ音声として左右に同じ音声が記録されます。
- 「L-PCM」の音質モードで、音声多重放送を記録したときは、ステレオ音声として記録されます。
  音声多重放送を録画したときの再生音は、「主音声」と「副音声」が同時に出力しますので、「音声／音多」ボタンで出力する音声を選んでください。
- 初期設定で「DVD-R互換モード」（➪147ページ）を「入」に設定しているときは、モノラル放送は左、右チャンネルにそれぞれ同じ音声が記録され、二カ国語放送は選んだ主、または副音声が左、右チャンネルの両方に記録されます。
- ディスクの記録状態により、「録画」ボタンを押してから実際に録画が始まるまでの時間には若干の差が生じます。

HDD DVD-RAM

便利な録画機能

リレー録画

リレー録画は、DVD-RAMへの録画中にディスクの残量が足りなくなってきた場合に、自動的に内蔵HDDが残りを引き継いで録画する機能です。

DVD-RAMの空きが残り約10分になったとき、内蔵HDDで同じ内容の録画をはじめます。この約10分の部分を、のりしろ部分と呼びます。
のりしろ部分は、前後のおおよその位置にチャプター境界が自動的に作られます。不要な場合、このチャプター位置を参考にしてあとで削除することができます。

リレー録画の機能を使うためには、「リレー録画」(148ページ)を「入」に設定してください。

お知らせ
- 内蔵HDDの録画可能時間が不足しているときは動作しません。
- のりしろ部分の録画中は一時停止は働きません。
- リレー録画に続けて別の録画を予約した場合、先の録画は次の録画の開始時刻の約15秒前に終了します。

ＡＢ面録画

ＡＢ面録画は、１枚の両面ＤＶＤ-ＲＡＭディスク(9.4GB)や2枚の片面DVD-RAMディスク(4.7GB)に、１件の予約内容を高画質で録画できる機能です。長時間にわたる内容をよりきれいな画質でDVD-RAMディスクに保存したい場合に便利です。

ＡＢ面録画では、録画内容の前半と後半を、それぞれDVD-RAMディスクと内蔵HDDが録画します。録画のあと、後半をDVD-RAMディスクにダビングすることで、2つの面それぞれに半分ずつ最大限の高画質で保存したDVD-RAMディスクライブラリができあがります。

お知らせ
- ＡＢ面録画に使用するDVD-RAMディスクは、本機で録画直前に初期化した無録画の12cmの片面4.7GB、または12cmの両面9.4GBをお使いください。8cmのディスクは使用できません。あわせて、内蔵HDD側にもDVD-RAMディスク1枚分の空き容量があることも確認してください。

● **設定するには**

36ページの手順3で、「記録先」に「AB面」を選んでください。(「モード」は自動的に「ジャスト」が設定されます。)

予約設定が完了すると表示管に「🕘」が表示されます。

● **録画動作中は**

DVD-RAMディスクから内蔵HDDに切り換わる部分の約10分間は、両方のディスクに同じ内容が録画されます。この約10分の部分を、のりしろ部分と呼びます。
のりしろ部分は、前後のおおよその位置にチャプター境界が自動的に作られるため、不要な場合、あとで削除することができます。
本機にＤＶＤ-ＲＡＭディスクが入っていなかったり、入れたDVD-RAMディスクにわずかでも録画内容が残っていた場合は、録画のすべてが内蔵HDD側に行なわれます。この場合は、のりしろ部分は作られず、分割点にチャプター境界がある、1つのタイトルとして録画されます。

ＡＢ面録画では、画質モードはつねに「ジャスト」に設定され、空き容量から自動的に画質レートを算出して録画をします。ただし、画質レートは同じ「ジャスト」でも例えば内蔵HDDに録画した場合とくらべると、ＡＢ面録画では低くなります。これは、ＡＢ面録画では画質レートが録画時間にのりしろ部分の約10分を加算して算出されるためです。したがって、ＤＶＤ-ＲＡＭディスクに録画できずに内蔵ＨＤＤに録画される場合も、算出時にのりしろ部分が加味されているので、画質レートは低くなります。

● **録画終了後には**

内蔵HDDに録画された後半部分を、DVD-RAMディスクにダビングします。両面ディスクの場合には裏面へ、片面ディスクの場合には準備したもう一枚のディスクへのダビングとなります。ダビングの手順は96ページをご覧ください。
のりしろ部分を削除したい場合は、43ページの手順にしたがって、いずれかののりしろ部分を削除してください。

すべて内蔵HDDに録画されてしまった場合は、未記録のDVD-RAMディスク2枚(または両面)にダビングできる位置にチャプターが生成されますので、それぞれをダビングしてください。

同じ番組の専用ディスクを作る(予約ディスク作成)

連続ドラマなどを一枚のディスクに録画したいときに便利です。

予約データを書き込んだディスクを「予約ディスク」といいます。予約ディスク一枚につき予約を一件だけ入れられます。
予約ディスクを作成すると、予約ディスクに書き込んだ録画情報に基づく録画は、そのディスクにしか書き込むことができなくなります。また、そのディスクには、予約ディスク上の予約に基づく録画しか記録できなくなります。
たとえば、月曜日夜9時から10時までの連続ドラマ用に予約ディスクを作ると、そのディスクにはそのドラマしか録画できなくなります。また、そのドラマの録画を予約しようとすると、本機がその予約ディスクを使用するように指定してきます。

1) **DVD-RAMディスクを本機に入れる**

2) **「録るナビ」ボタンを押す**

「録るナビ」画面が表示されます。

3) **方向ボタン(▲/▼)で、録画したい予約データを選ぶ**

「記録先」が「DVD」になっていることを確認してください。

4) **「クイックメニュー」ボタンを押す**

「クイックメニュー」が表示されます。

5) **方向ボタン(▲/▼)で「予約ディスク作成」を選び、「決定」ボタンを押したあと、「はい」を選び、「決定」ボタンを押す**

予約データが転送されると、「録るナビ」画面上に予約ディスクを示すアイコンが表示されます。

予約ディスクが入っていないときは、その行はグレー表示になります。

● **予約ディスクを解除するには**

解除したいディスクを本機に入れた状態で、「録るナビ」画面で予約項目にカーソルを合わせます。「クイックメニュー」ボタンを押し、「予約ディスク解除」を選び、「決定」ボタンを押したあと、「はい」を選び、「決定」ボタンを押します。

● **予約ディスクの情報を削除するには**

予約ディスクをなくしてしまったときなどには、予約ディスクの情報を削除します。
録るナビ画面で、予約ディスク情報を削除したい予約を選び、「クイックメニュー」ボタンを押します。クイックメニューから「予約ディスク強制削除」を選び、「選択リストを解除」を実行します。
録るナビ画面上に、挿入した予約ディスクの予約がないときは、「クイックメニュー」ボタンを押し、「予約ディスク強制解除」を選び、「挿入ディスクを解除」を実行します。

予約ディスクを日付指定で設定した場合、その録画予約が実行されると予約ディスクの情報は自動的に削除されます。

● **予約ディスクの録画を中止するには**

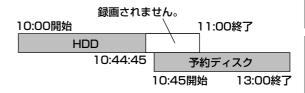
通常の予約録画同様、本体の「停止」ボタンを押すと、画面にメッセージが表示されます。
メッセージの表示中にもう一度「停止」ボタンを押すと、録画を停止します。

■ **録画予約時刻が重なったときは**

前の録画が終わらなくても、次の予約の開始時刻約15秒前に録画が終了し、そのあと次の予約の開始時刻に録画がはじまります。

例)HDD録画中に予約ディスクの録画時刻がきたら、HDDの録画を停止し、予約ディスクの録画を開始します。

はじめに
基本操作
再生
録画
ダビング
編集
機能設定
その他

HDD DVD-RAM

Gコード予約

1つ1つの番組についているGコードを入力するだけで、簡単に録画予約ができます。

■ 準備

- Gコードを使って予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります（準備編33ページ）。ガイドチャンネルが間違っていると、違う番組を録画してしまいます。
- DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。
  - ・録画可能な残量があるディスクを入れてください。
  - ・ライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

1 リモコンのふたを開け、「Gコード」ボタンを押す

Gコード

表示部に設定画面が表示されます。

HDD　LP
\- - - - - - - - - -

2 番号ボタンで、Gコードを入力する

例：

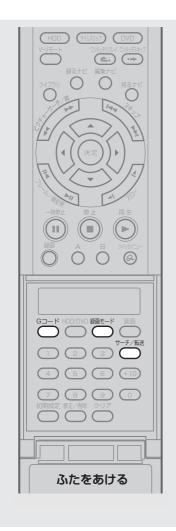
HDD　LP
12345678

- Gコードは新聞・雑誌などのテレビ欄でお調べください。
- Gコード入力を間違えたときは、「修正」ボタンを押して数字を消してから、入力し直します。

お知らせ

- 0から始まる番号を入力したときは、9ケタまで数字が入力されます。

3 「DVD/HDD」ボタンを押して、記録先を選ぶ

DVD：DVD-RAMディスクに録画します。
HDD：内蔵HDDに録画します。

4 必要に応じて、次の設定をする

録画モード

■画質モードの選択
「録画モード」ボタンを押して選びます。
ボタンを押すたびに、「SP」→「LP」の順に切り換わります。
「SP」、「LP」の内容については37ページをご覧ください。

5 本体に向けて「転送」ボタンを押す

予約の転送が成功すると、本体のブザーが「ピー」と鳴ります。（失敗時は「ピッピッピッ」と鳴ります。）
本体表示窓に、転送した内容が表示されます。

6 つづけてGコード予約するときは、手順2～5の操作をする

7 予約が終わったら、「Gコード」ボタンを押す

Gコード

リモコン表示部の表示が消えます。

お知らせ

- 同時に予約できるのは最大で32件です。すでに32件予約されているときは、転送エラーとなります。必要のない予約内容を取り消してから予約してください。（39ページ）
- 番組によっては、数分長めに予約されることがあります。
- 次の場合、予約内容が転送されず、エラーになります。
  －実際にない番組を入力したとき
  －ありえない数字を入力したとき
  －ガイドチャンネルの設定がされていないとき
- 予約を取り消すには「録るナビ　録画予約一覧」で「クイックメニュー」ボタンを押し、クイックメニューで削除します。くわしくは「録画予約を削除する」（39ページ）をご覧ください。
- 「録るナビ」画面表示中には、Gコードを使った録画予約はできません。
- Gコード予約では、予定内容の変更や詳細な設定はできません。予約の転送後、「録るナビ」画面を表示させて行なってください。
- Gコード転送後、「録るナビ」画面で予約内容を確認してください。（36ページ）
- 二つの番組を続けて予約しているとき、前の番組を延長しても、次の番組の開始時刻になると次の番組が録画されます。

HDD　DVD-RAM

外部機器から入力して録画する

本機に外部機器を接続して内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクに録画します。

A、Bどちらかの方法で接続してください。

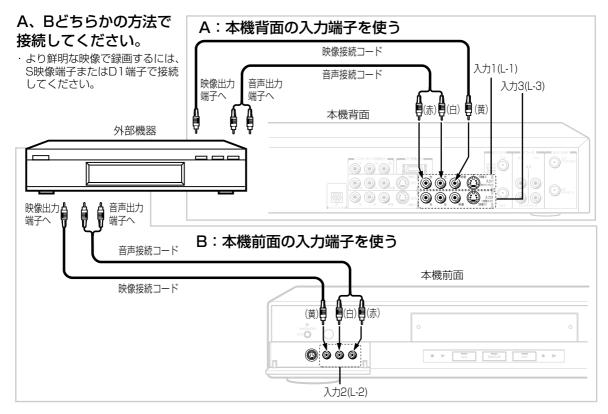
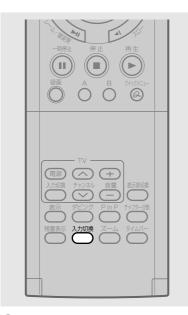
・より鮮明な映像で録画するには、S映像端子またはD1端子で接続してください。

A：本機背面の入力端子を使う

映像接続コード
音声接続コード
映像出力端子へ
音声出力端子へ
入力1(L-1)
入力3(L-3)
(赤)(白)(黄)
本機背面
外部機器

B：本機前面の入力端子を使う

映像出力端子へ
音声出力端子へ
音声接続コード
映像接続コード
本機前面
(黄)(白)(赤)
入力2(L-2)

■ 準備

・DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。
　ー録画可能な残量のあるディスクを入れてください。
　ーディスクのライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

1 「入力切換」ボタンをくり返し押して、本体表示窓に「L-1」、「L-2」、「L-3」を表示させる

押すごとに表示が切り換わります。

L-1：背面の入力1端子に接続された外部機器からの画像を録画します。初回設定の「入力1設定」を「ライン」に設定してください。準備編45ページ

L-2：前面の入力2端子に接続された外部機器からの画像を録画します。

L-3：背面の入力3端子に接続された外部機器からの画像を録画します。

L-U：再生している番組を録画します。113ページ

2 3モードボタン(「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタン)を押して、記録先を選ぶ

HDD
DVD

HDD： 内蔵HDDに録画します。
DVD： DVD-RAMディスクに録画します。

3 外部機器を再生状態にする

4 本機の「録画」ボタンを押して、録画をはじめる

5 外部機器からの録画が終わったら、「停止」ボタンを押す

お知らせ

- DVDオーディオやSACDの再生機を外部入力に接続しても、本機は従来の音楽用CDの音声帯域にしか対応できません。したがって、本機から出力される音声や記録される音声は、音楽用CDより高い帯域の音声はカットされてしまいます。接続する機器の説明書もご覧ください。
- ビデオカセットレコーダーを本機に接続して録画する場合、ビデオテープの状態などが悪く再生画にノイズが多いと、本機で録画された映像も乱れてしまう場合があります。また録画中にビデオカセットレコーダー側で一時停止、早送り、早戻しなどを行なったときも同様に、録画された映像が乱れてしまう場合があります。
- 「DVD-R互換モード」(147ページ)の設定にかかわらず、外部入力の音声は、左右入力されていても、ステレオとしてそのままの状態で記録されます。DVD-Rを作成する場合には、あらかじめ外部チューナー側で音声を選んでください。

HDD　DVD-RAM

WOWOW(BS5)チャンネルを録画する

衛星放送のWOWOWを受信するには、株式会社WOWOWと受信契約を結び、BSデコーダを接続する必要があります。

■ 準備

・「準備編」の「BSデコーダとの接続」(26ページ)をご覧になり、BSデコーダを接続してください。
・「準備編」の「ステップ1：初回設定(BSチャンネル設定)」(42ページ)を行なってください。
St.GIGA：BS5チャンネルで放送されている独立音声の音楽放送です。St.GIGA(衛星デジタル音楽放送(株))との受信契約を結び、BSデコーダを接続する必要があります。

1 BSデコーダの電源を入れる

2 本機の「入力切換」ボタンでBS放送を選び、「チャンネル」ボタンでWOWOW(BS5チャンネル)を選ぶ

3 本機の「録画」ボタンを押す

録画がはじまります。

4 「停止」ボタンを押して、録画を終了する

お知らせ

- WOWOWの画面に切り換わったときに、約1～2秒間、画面が乱れることがあります。
- BS内蔵テレビと本機を接続しているときは、本機でNHKの衛星放送を録画しながらテレビでWOWOWを見ることができます。
  1)本機でNHK(衛星第1か衛星第2)を録画します。
  2)BSデコーダの電源を入れます。
  3)テレビでWOWOWを選びます。
  4)テレビの入力を、BSデコーダを接続した入力にします。
- 本機のチャンネルをBS5にした場合と、BS5から他のチャンネルに切り換えたときは、本機を経由してBSデコーダに接続されているBSビデオやBSテレビの画面が乱れます。

■ WOWOW(BS5チャンネル)を予約録画するには

1) BSデコーダの電源を入れたままにする

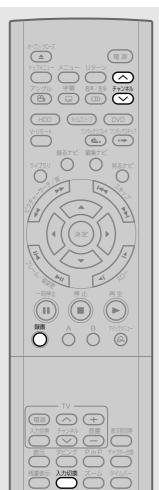
2)「番組を予約録画する(録るナビ)」(⇨36ページ)の手順を行なう

チャンネル入力でBS5チャンネルを設定してください。

お知らせ

• 本機の録画は、はじまるまでに多少の時間がかかります。したがって、前の予約番組の後ろの部分や予約時刻直後の頭の部分が録画されないことがあります。

St.GIGA(セントギガ)を録音する

録画する前に本機の録画設定を次のように設定してください。
「DVD-R互換モード」:「切」、音声モード:「L-PCM」、
画質モード:マニュアル1.4〜2.8Mbpsまたは4.0〜8.0Mbps
これ以外の設定では、正しく録音されない場合があります。

1 本機の「入力切換」ボタンでBS放送を選び、「チャンネル」ボタンでWOWOW(BS5チャンネル)を選ぶ

2 BSデコーダ側の音声選択ボタンで、「独立」にする

3 本機の「録画」ボタンを押す

録音が始まります。

お知らせ

• 録音が終わったら、BSデコーダの「独立」をもとに戻してください。

WOWOW(BS5)チャンネルを録画する(つづき)

■ St.GIGA(セントギガ)を予約録音するには

1) BSデコーダの電源を入れたままにする

2) BSデコーダ側の音声選択ボタンで、「独立」にする

3) 「番組を予約録画する(録るナビ)」(➡36ページ)の手順を行なう

チャンネル入力でBS5チャンネルを設定してください。

本機の録画設定を、画質モード：マニュアル1.4～2.8Mbpsまたは4.0～8.0Mbps、音声モード：「L-PCM」、「DVD-R互換モード」：「切」に設定してください。

お知らせ

- 録音が終わったら、BSデコーダの「独立」をもとに戻してください。

■ 衛星放送の音声について

衛星放送の音声にはAモードとBモードがあり、Aモードではテレビ音声と独立音声の2系統の音声があります。Bモードでは、1系統だけ送られますが、Aモードにくらべ、より高品位の音声が放送されています。

衛星放送	音声の種類	音質
Aモード放送	テレビ音声	FM放送同等
	独立音声	
Bモード放送	テレビ音声	CD同等

HDD　DVD-RAM

CSデジタル／BSデジタルの番組を自動的に録画する

番組予約機能のあるCSデジタル／BSデジタルチューナー、BSデジタルチューナー内蔵テレビ(別売)等を組み合わせて使うとき、録画予約の設定が簡単にできます。

■ 準備

・準備編 24、25ページの接続を行なってください。
・DVD-RAMディスクに録画するときは、ディスクを入れてください。
　－録画可能な残量のあるディスクを入れてください。
　－ディスクのライトプロテクトが「PROTECT」側になっていないことを確認してください。

1 CSデジタル／BSデジタルチューナーの番組予約を設定する

接続するチューナーの取扱説明書もお読みください。

2 3モードボタン(「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタン)で、記録先を選ぶ

HDD

DVD

HDD：内蔵HDDに録画します。
DVD：DVD-RAMディスクに録画します。

3 「入力切換」ボタンを約5秒以上押しつづける

- 入力自動録画が「入」になります。
  本体表示窓に「L-AUTO」が表示されます。
- チューナーの電源が入ると本機も自動的に電源が入り、録画を開始します。チューナーの電源が切れると、本機の録画も停止します。

■ 入力自動録画モードを解除するには

もう一度、「入力切換」ボタンを約5秒以上押しつづける

本機表示窓の「L-AUTO」が消灯します。

はじめに
基本操作
再生
録画
ダビング
編集
機能設定
その他

■入力自動録画と通常予約の予約時刻が重なっているとき

- 上記のように、予約内容が重なったまま予約録画すると、通常の録画予約が優先して働きます。
- 通常の予約録画中に入力自動録画が予約されているとき、「入力切換」ボタンを約5秒以上押しつづけると入力自動録画モードが解除されます。

お知らせ

- 本機の入力3端子に接続したチューナーでデジタル衛星放送を見るときは、リモコンの「入力切換」ボタンで「L-3」を選んでください。
- 録画防止機能(コピーガード)がかかっている番組は録画できません。詳しくは、CSデジタル／BSデジタルチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- コピー1回可の番組はコピー禁止として録画されます。内蔵HDDからDVD-RAMドライブ方向への高速ライブラリダビング(移動)だけができます。(このときコピー元は消去されます。)また、DVD-R作成はできません。
- 入力自動録画モードの時に、CSデジタル／BSデジタルチューナーの電源を入れると、録画を始めてしまいます。
  CSデジタル／BSデジタルチューナーの番組予約を変更・追加するときは、本機の入力自動録画モードを解除してから行なってください。
- 「DVD-R互換モード」(147ページ)の設定にかかわらず、外部入力の音声は、左右入力されていても、ステレオとしてそのままの状態で記録されます。
  DVD-Rを作成する場合には、あらかじめ外部チューナー側で音声を選んでください。

お願い

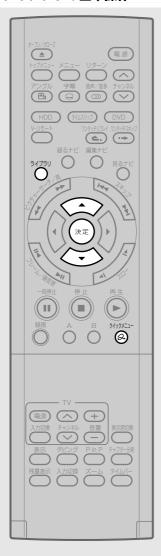
- 本機は電源を入れてから録画できる状態になるまでに時間がかかりますので、録画開始時間になっても、番組冒頭が録画できない場合もあります。このような場合には、入力自動録画は使わないでください。
  CSデジタル／BSデジタルチューナー側の予約と合わせて、本機の「録るナビ」で録画予約をしてください。

HDD DVD-RAM

ライブラリ(録画ライブラリ情報)

録画日時、録画先、タイトル名、ジャンルなど、タイトルごとの情報を本機の「ライブラリ」というシステムが記憶しています。この情報を利用して、見たいディスクや空きのあるディスクが簡単に探せます。

ライブラリ情報はおもにこのような使い方ができます。
●どのDVD-RAMディスクにどのくらい空き容量があるかを調べる
●見たいタイトルがどのディスクにあるかを探す
●ディスクやタイトルの情報を確認・変更する

ライブラリの基本操作

1 「ライブラリ」ボタンを押す

ライブラリ

「ライブラリ タイトル一覧(全タイトル)」画面が表示されます。

例

ライブラリ タイトル一覧(全タイトル) 1/ 4頁 12/26(木)19:25

番号	年月日	曜日	時分	CH	ジャンル	タイトル名
HDD	2002/12/17	火	7:00	10		2002/12/17 19:00 Ch:4
HDD	2002/12/17	火	0:00	4		2002/12/17 0:00 Ch:4
HDD	2002/12/16	月	7:00	8		2002/12/16 19:00 Ch:8
HDD	2002/12/15	日	9:00	3		2002/12/15 21:00 Ch:3
HDD	2002/12/11	水	11:00	6		2002/12/11 23:00 Ch:10
HDD	2002/12/11	水	7:00	4		2002/12/11 19:00 Ch:4
HDD	2002/12/ 9	月	7:00	BS 5		2002/12/ 9 7:00 Ch:1

2 「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

例

項目の内容は次のページをご覧ください。

3 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 手順を途中でやめるには、「ライブラリ」ボタンを押します。
- 「ライブラリ タイトル一覧」画面では、タイトルを選んで「決定」ボタンまたは「再生」ボタンを押すと、そのタイトルのディスクが入っていれば再生がはじめられます。
- DVD-Rは規格上の制約によりライブラリで管理できません。
- PC用DVD-RAMディスクの中にはライブラリ機能がご使用になれないディスクがあります。
- 「このディスクは1回コピーが許可された番組の録画に対応しています」等の記載のあるDVD-RAMディスクをお使いください。

ディスクの空き容量を一覧表示する

どのディスクがどのくらい空いているかを一目で確認できるので、録画の前などに便利です。

DVD全ディスク残量

収録タイトル名と推定残量が、ディスクごとに表示されます。

DVD全ディスク番号

登録済みのすべてのディスク(収録タイトルのないものを除く)について、番号とディスク名、推定残量が一覧表示されます。

別の画質・音質設定を想定して調べ直すには：

1)「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「録画・画質/音質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

例

録画・画質/音質設定

HDD 設定2 SP 4.6 D1　DVD 設定3 LP 2.2 D1

カスタム設定

設定No.	モード	レート	音質
1	マニュアル	6.0	L-PCM
2	SP	4.6	D1
3	LP	2.2	D1
4	マニュアル	6.6	D2
5	マニュアル	8.0	L-PCM

DVD片面録画可能時間：約241分 (4.7GB未使用時)

3)「値変更」ボタンを押して設定を選ぶ(146ページ)

4)「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 「ライブラリ」ボタンを押して最初に表示される「タイトル一覧」の画面で、「クイックメニュー」ボタンを押すと、その時に選択されている行を含むページが開きます。この機能を利用して、「タイトル一覧」画面で並べ替えやジャンル検索をして、目的のディスクや関連タイトルを見つけてから「DVD全ディスク残量一覧」を表示すると、目的のディスクのページの頭出しがしやすくなります。

見たいタイトルの格納先ディスクを探す

「ライブラリ　タイトル一覧 (全タイトル)」画面では、見たいタイトルを、方向ボタン(▲/▼)で探せますが、表示順を変えたり条件をつけて検索すると、よりスピーディーに探せます。

表示順を変える

並べ替え

サブメニューが表示されます。

例

方向ボタン(▲/▼)で表示順を選び、「決定」ボタンを押します。
選んだ順で全タイトルが並べ直されます。

検索する

絞り込み

サブメニューが表示されます。

例

方向ボタン(▲/▼)で絞り込みの条件を選び、「決定」ボタンを押します。

ジャンル別

サブメニューが表示されます。
方向ボタン(▲/▼)でジャンルを選び、「決定」ボタンを押します。
選んだジャンルで登録してあるタイトルが選び出されます。

ディスク別(DVD)

入力用ウィンドウが表示されます。

例

以下の手順1)〜2)を行なってください。

1) 方向ボタン(◀/▶)で入力位置を選び、「値変更」ボタンを押して、ディスク番号を入力する

2)「決定」ボタンを押す

選んだ番号のディスクに入っているタイトルが選び出されます。

ディスク別(HDD)

内蔵HDD内のタイトルが選び出されます。

曜日別

サブメニューが表示されます。
方向ボタン(▲/▼)で曜日を選び、「決定」ボタンを押します。
選んだ曜日に録画したタイトルが選び出されます。

お知らせ

- 全タイトルの表示に戻したいときは、「クイックメニュー」ボタンを押し、方向ボタン(▲/▼)で「全絞り込み解除」を選び、「決定」ボタンを押します。

頭出しする

ジャンプ

サブメニューが表示されます。

例

方向ボタン(▲/▼)で、頭出しの方法を選び、「決定」ボタンを押します。

タイトル文字指定

入力用ウィンドウが表示されます。

例

以下の手順1)〜3)を行なってください。

1)「文字列」にカーソルをおいた状態で、「決定」ボタンを押す

文字入力画面が現れます。

2) 探したいタイトルの先頭を(最大3文字)入力する

3) 方向ボタン(▶)で「実行」を選び、「決定」ボタンを押す

選んだ文字で始まる名前のタイトルが選ばれます。

ディスク番号指定

入力用ウィンドウが表示されます。

例

以下の手順1)〜2)を行なってください。

1) 方向ボタン(◀/▶)で入力位置を選び、「値変更」ボタンでディスク番号を入力する

3けたで入力します。(例:005、012)

末尾の「−」は、AB面の区別を必要に応じて入れます。

2)「決定」ボタンを押す

選んだ番号のディスクのタイトルが一覧表示されます。

ライブラリ(録画ライブラリ情報)(つづき)

頁指定

入力用ウィンドウが表示されます。

例

以下の手順1)～2)を行なってください。

1) 方向ボタン(▲/▼)または「値変更」ボタンを押して、ページ番号を入力する

2)「決定」ボタンを押す

選んだ頁が表示されます。

情報を見る

タイトルの情報を見る

タイトル情報

選んでいるタイトルの情報が見られます。

例

＊:「番号情報」対応機種での録画の場合に、番組名などの情報を表示します。

クイックメニューを使って、以下の操作ができます。
(「クイックメニュー」ボタンを押してクイックメニューを表示させ、方向ボタン(▲/▼)で各項目を選び、「決定」ボタンを押してください。)

例

タイトル名入力：

文字入力画面が表示されます。
24ページの要領で、タイトル名を入力します。

チャプタ名入力：
(名前を入力するチャプターを、「頁(◀◀/▶▶)」ボタンで表示させてから選んでください。)
文字入力画面が表示されます。
24ページの要領で、チャプター名を入力します。

チャプタ名削除：
（対象のチャプターを、「頁(◀◀/▶▶)」ボタンで表示させてから選んでください。）

録画日時入力：
日付の項目に移動します。

保護設定：
選んでいるタイトルの保護を設定します。
保護設定のマーク「🔒」がつきます。

ジャンル変更：
サブメニューが表示されます。
方向ボタン(▲/▼)でジャンルを選び、「決定」ボタンを押します。
選んだジャンル名とマークが表示されます。

お知らせ
• 対象のDVD-RAMディスクが入っていないと設定を変更できません。

ディスクの情報を見る

ディスク情報

本機に入っているDVD-RAMディスクの情報を確認できます。

例

ディスク番号やディスク名を変えるには：

1) **方向ボタン(◀/▶)で「ディスク番号変更」または「ディスク名変更」を選び、「決定」ボタンを押す**

2) **⇨24ページの要領で、ディスク名を入力する**

ディスク番号を変更するときは「値変更(I◀◀/▶▶I)」ボタンを押します。

ライブラリ情報を管理する

ライブラリ情報は、本機が内部で自動的に管理をしていますが、次のようなときは、それぞれの方法でライブラリ情報の整理をしてください。

● 本機以外で録画したディスクを使うときなど、**本機にないタイトル情報を、ライブラリに追加したい**とき。
→「手動ディスク登録をする」をご覧ください。

● **ライブラリ情報が記憶容量いっぱいになった**とき。
（本機のライブラリは3000件まで登録できます。最大数に達したときはメッセージが出て、追加ができなくなりますので、不要な情報を削除するなど整理をしてください。）
→「不要なライブラリ情報を消す」をご覧ください。

● **ライブラリ情報を最初から整理したくなった**とき。
→「ライブラリ情報だけをすべて消す」をご覧ください。

● ライブラリ情報を外部ディスクに**バックアップとして保存**するとき。
→「バックアップを保存する」をご覧ください。

● バックアップ保存していた**ライブラリ情報を、本機に戻す(上書きする)**とき。
→「バックアップデータの上書き」をご覧ください。

お知らせ
• 内蔵HDDのライブラリ情報はDVD-RAMディスクにバックアップを作成することをお勧めします。ただし、バックアップを書き戻した場合、バックアップ以後に追加されたライブラリ情報は削除されますので、ご注意ください。

（つづく）

(つづき)

■ 手動ディスク登録をする

1) 本機のライブラリに情報を追加したいDVD-RAMディスクを、本機に入れる

2)「ライブラリ」ボタンを押す

3)「クイックメニュー」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

例

5) 方向ボタン(▲/▼)で「手動ディスク登録」を選び、「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

登録を中止したいときは「いいえ」を選びます。

ディスクの全タイトル情報がライブラリに登録されます。

お知らせ

- 他社の機器で録画されたディスクはそのままではライブラリに登録されませんので「手動ディスク登録」をしてください。
- 本機で録画されたディスクを他の機器で編集すると、ライブラリ情報が消える場合があるほか、本機での動作に影響がある場合があります。
- 手動ディスク登録されていないディスクに追加で録画しても、ライブラリには登録されません。
- ライブラリの手動ディスク登録を行なうと、ライブラリ内にディスク番号の同じディスクが複数できることがあります。このときの全ディスク残量表示は、ディスクごとまたはページごとに行なわれます。

■ 不要なライブラリ情報を消す

記録(タイトル)件数が3000件に達したときに行ないます。→「タイトル情報削除」

1)「ライブラリ」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で、消すタイトルを選ぶ

3)「クイックメニュー」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 方向ボタン(▲/▼)で「タイトル情報削除」を選び、「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

2)で選んだタイトルの情報をライブラリから削除します。

削除を中止したいときは「いいえ」を選びます。

空きディスク番号がなくなったときに行ないます。→「ディスク毎の情報削除」

1)「ライブラリ」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)を押して、消すディスクを選ぶ

3)「クイックメニュー」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 方向ボタン(▲/▼)で「ディスク毎の情報削除」を選び、「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

2)で選んだタイトルのディスクに含まれる全タイトルの情報を、ライブラリから削除します。

削除を中止したいときは「いいえ」を選びます。

■ ライブラリ情報だけをすべて消す

ライブラリ情報を最初から整理しなおしたいときなどに使います。

1)「ライブラリ」ボタンを押す

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で、「DVD-RAM全情報削除」または「全ライブラリ情報削除」を選ぶ

全ライブラリ情報削除：

内臓HDDとDVD-RAMディスクの全ライブラリ情報を削除します。

DVD-RAM全情報削除：

内臓HDDのライブラリ情報は残し、DVD-RAMディスクの全ライブラリ情報を削除します。

5)「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

■ 強制ディスク番号削除

使わなくなったDVD-RAMディスクの番号は、強制的に削除することで他のディスクの番号として使えるようになります。

1)「ライブラリ」ボタンを押す

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「強制ディスク番号削除」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 削除したいディスクの番号を、「値変更」ボタンを押して入力し、「決定」ボタンを押す

お知らせ

• 「強制ディスク番号削除」を実行すると、そのディスクの全タイトルの情報も同時に削除されます。

■ バックアップを保存する

1) 保存に使うDVD-RAMディスクを本機に入れる

2)「ライブラリ」ボタンを押す

3)「クイックメニュー」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 方向ボタン(▲/▼)で「バックアップ作成」を選び、「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

保存を中止したいときは「いいえ」を選びます。

■ バックアップ保存データの上書き

1) データを保存してあるDVD-RAMディスクを本機に入れる

2)「ライブラリ」ボタンを押す

3)「クイックメニュー」ボタンを押す

4) 方向ボタン(▲/▼)で「ライブラリ管理」を選び、「決定」ボタンを押す

5) 方向ボタン(▲/▼)で「バックアップ書戻し」を選び、「決定」ボタンを押す

6) 方向ボタン(◀/▶)で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

上書きを中止したいときは「いいえ」を選びます。

お知らせ

• ライブラリ情報のバックアップをDVD-RAMディスクに保存する場合は、本機以外のライブラリ情報をすでに保存してあるDVD-RAMディスクは、保存先として使わないでください。本機と本機以外では、ライブラリ機能の形式が若干異なっています。これらをディスク内に混在させると、本機以外のライブラリ情報のバックアップが書き戻せなくなりますので、ご注意ください。

(つづく)

ライブラリ(録画ライブラリ情報)(つづき)

お知らせ

- 本機のバックアップ保存データを、当社製HDD＆DVDビデオレコーダーRD-X2、RD-X1に書き戻すことはできますが、いったんこれらに書き戻したデータをバックアップし、本機に戻すと、「番組説明」など情報の一部が失われますのでご注意ください。
- 当社製HDD＆DVDビデオレコーダーRD-2000、RD-X1、RD-X2のライブラリ情報を本機に書き戻すことはできますが、RD-2000へは戻せなくなります。

ダビング

大事な録画はDVD-RAMディスクに保存しましょう。DVD-Rを使った映像集作りもできます。

「編集」の章もあわせてお読みください。

ダビングの前に

**録画した内容は、HDDとDVD-RAMのドライブの間、または同一ドライブ内でダビングできます。
本機のダビングに関する注意事項です。事前に必ずお読みください。**

本機のダビング機能

本機には3種類のダビングがあります。

●**高速ライブラリダビング**：
録画したタイトルやチャプターをそのまま高速でダビングします。
高速とは、実際の録画時間よりも短い時間でダビングするということです。

●**レート変換ダビング**：
録画時と異なった画質・音質設定で、データ量を変えてダビングします。

●**ラインUダビング**：
本機で再生している映像を、本機で録画してダビングすることができます。

それぞれの使い分けの例として、

・**マニュアルの高レートで長時間内蔵HDDに録画したので、そのままではDVD-RAMにダビングできないとき**

→「レート変換ダビング」で、DVD-RAMに入る設定に変えてデータ量を減らしてダビングする。

・**本機以外の機器で録画したDVD-RAM内のタイトルをDVD-Rにしたいとき**

→「DVD-R互換モード」を「入」にして、「レート変換ダビング」で内蔵HDDにダビングしてからDVD-Rを作成する。

・**作成したDVD-Rの内容を、もう一度本機に戻したいとき**

→「ラインUダビング」で内蔵HDDにダビングする。

・**HDDに録画されている内容をそのまま早くダビングしたいとき
（DVD-RAMディスク容量に収まる場合）**

→「高速ライブラリダビング」

なお、すべてのダビング処理はデジタル信号のまま行ないますが、「レート変換ダビング」と「ラインUダビング」に関しては、データ処理が伴うので、元のタイトルやチャプターと較べ、画質及び音質が異なる場合があります。また、低レートで録画したものを高レートでダビングしても、録画時より高画質・高音質になることはありません。

「コピー」と「移動」

本機ではダビングとは、以下の2つの定義があります。

コピー：ダビングする内容は、ダビング後もダビング元の**ディスクに残ります**。

移動：ダビングする内容は、ダビング後はダビング元の**ディスクから消去**されます。

状況により、選べる場合と自動的に決まる場合があります。

以下の場合は移動ができません。（コピーをしてください。）

- 保護設定（⇨43ページ）にしてあるとき。
- コピー禁止の部分を含むタイトルやチャプターは、DVD-RAMから内蔵HDDへの移動はできません。
- プレイリスト（⇨116ページ）は移動できません。コピーだけが可能です。コピーしたプレイリストはコピー先でオリジナルになります。コピー元はプレイリストのままです。

以下の場合はコピーもできません。

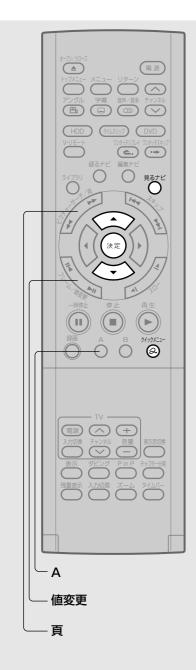
- 著作権保護のため1回だけ録画を許された番組を録画した内容は、コピーできません。
- コピー禁止の部分を含むタイトル（プレイリスト）は、コピーが禁止されています。タイトル（オリジナル）を移動してから再度プレイリストを作り直してください。

お知らせ

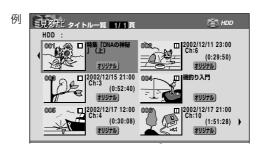
- ダビング時、内蔵HDD、DVD-RAMそれぞれのディスクの状態が悪いと、「移動」を実行したときにエラーが発生し、そのタイトルやチャプターを失ってしまう可能性があります。コピー可のタイトルやチャプターを移動したい場合は、まず「コピー」でもう一方のドライブにタイトルを作り内容を確認した上で、コピー元のタイトルやチャプターを削除するとより安全です。
- DVDビデオディスク、ビデオCD、音楽用CD、CD-R、CD-RW、DVD-RWはダビングできません。
- ディスクの残量が少ないなど、何かの事情でダビングができないときは、画面にメッセージが出ます。そこに書かれた指示にしたがって操作してください。
- 内容によっては、一部の管理情報や付属情報などがダビングされない場合があります。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルは、ダビングできません。
- 「DVD-R互換モード」(147ページ)を「切」にして録画した内容は、そのままではDVD-Rにダビングできません。「DVD-R互換モード」を「入」にした状態でレート変換ダビング(102ページ)またはラインUダビング(113ページ)を行ない、内容をいったん内蔵HDDにコピーし、その後DVD-R作成(106ページ)を行なってください。
- 本機で作成したDVD-Rは、「ラインUダビング」の方法でダビングができます。113ページをご覧ください。

HDD DVD-RAM

高速ライブラリダビング（パーツ単位でダビングする）

パーツ（タイトルまたはチャプター）をひとつ選んでダビングします。

1 再生中、または停止中に、「見るナビ」ボタンを押す

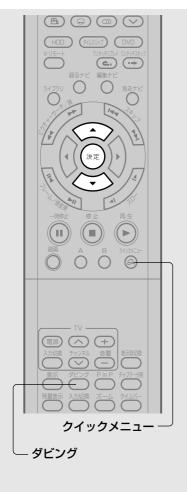
「見るナビ タイトル一覧」が表示されます。

例

2 ダビングするタイトル（またはチャプター）を、方向ボタンを押して選ぶ

● 「頁（◀◀/▶▶）」ボタンを押して前後のページに移動できます。
ページを指定して跳ぶこともできます。
「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから「頁指定ジャンプ」を選び、「値変更」ボタンでページ番号を変えます。
● チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
もう一度押すとタイトルの一覧に戻ります。

3 「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューから方向ボタン（▲/▼）で「高速ダビング」を選び、「決定」ボタンを押す

「見るナビ 高速ライブラリダビング」画面に変わります。

例

4 方向ボタン(▲/▼)で、「コピー」、「移動」または「ディスク内コピー」を選ぶ

コピー： ダビングする内容は、ダビング後も元のディスクに残ります。
移動： ダビングする内容は、ダビング後は元のディスクから消去されます。
ディスク内コピー： 同じディスクに、同じ内容で別のタイトルが作られます。プレイリストをオリジナル化するのに活用できます。

以下の場合は、設定が自動的に決まります。
コピー：選んだタイトル(またはチャプター)が、
- プレイリストのとき
- 「保護設定」(⇨43ページ)にしてあるとき

移動： 選んだタイトル(またはチャプター)がコピー禁止のとき

5 「決定」ボタンを押す

コピー／移動がはじまります。
進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。
コピーが終わると表示が消えます。

● ダビングが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
(1)ダビング中に「クイックメニュー」ボタンを押す
(2)方向ボタン(▲/▼)を押して「終了後電源切る」を選ぶ
(3)「決定」ボタンを押す

お知らせ
- パーツはダビングをするとそれぞれタイトルになります。
- 上記の手順3のかわりに、リモコンの「ダビング」ボタンを押すこともできます。
- 予約録画の開始時刻が近づくとダビングが中止されます。
- DVD-RAMの「ディスク内コピー」は処理に時間が長くかかります。

■ コピー／移動を途中で中止したいときは

1) コピー／移動中に、「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「ダビング中止」を選び、「決定」ボタンを押す

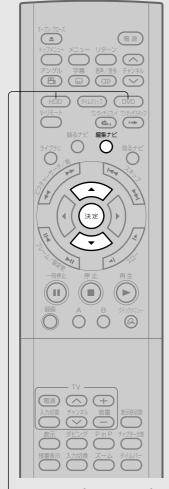
お知らせ
- コピー／移動を途中で中止した場合、ダビング中のパーツはダビング先で削除されます。

HDD | DVD-RAM

一括・高速ライブラリダビング（パーツをまとめてダビングする）

いくつかのタイトル、チャプターをパーツとして選んで、順番にダビング(コピー)できます。タイトルやチャプター名などの属性情報もダビングされます。パーツはダビング先でそれぞれがタイトルになります。

■ 準備

- 「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタンを押して、ダビングしたいパーツがはいっているディスクを選んでおきます。

3モード（HDD/DVD）

1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

編集ナビ

「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で「一括・高速ダビング」を選ぶ

例

編集ナビ メインメニュー

一括・高速ライブラリダビング

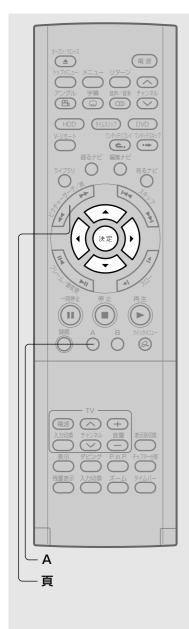
任意のタイトルやチャプターを、連続してダビングできます。タイトルやチャプター名などの属性情報もダビングされます。

パーツ：タイトル
パーツ：チャプター
チャプター作成
編 集 項 目
プレイリスト編集
一括・高速ダビング
一括・レート変換ダビング
オリジナルタイトル結合
DVD-R作成
一括削除

3 「決定」ボタンを押す

「一括・高速ライブラリダビング」画面に変わります。

例

画面上側に、録画されている内容のサムネイルが表示されます。

4 方向ボタンで、ダビングしたいパーツ(タイトルまたはチャプター)を選ぶ

● 「頁(◀◀/▶▶)」ボタンを押して前後のページに移動できます。
● チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
もう一度押すとタイトルの一覧に戻ります。

例

5 「決定」ボタンを押す

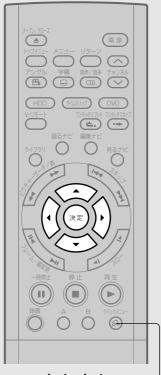
画面下側(ダビング対象側)に、カーソルが表示されます。

6 方向ボタン(◀/▶)で、パーツを入れる場所を選び、「決定」ボタンを押す

最初は左端に固定されます。そのまま「決定」ボタンを押してください。

選んだパーツが、カーソルのあった場所に入ります。

(つづく)

一括・高速ライブラリダビング(パーツをまとめてダビングする)(つづき)

(つづき)

7 手順4～6をくり返す

ダビング先の空き容量は、画面下部のバーで確認できます。

並んだパーツはそれぞれ1つのタイトルとしてダビング先に記録されます。

- 登録したパーツを取り消したいときは
  101ページをご覧ください。
- ダビング先を変更したいときは
  (1)「クイックメニュー」ボタンを押す
  (2)方向ボタン(▲/▼)で「ダビング先をHDDに切替」(または「ダビング先をDVDに切替」)を選ぶ
  (3)「決定」ボタンを押す

8 方向ボタンで、「ダビング開始」を選んだあと「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

画面がテレビ放送に戻り、ダビングが始まります。進行状況がタイトル単位で画面と本体表示窓に表示されます。

- ダビングが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
  (1)ダビング中に「クイックメニュー」ボタンを押す
  (2)方向ボタン(▲/▼)を押して「終了後電源切る」を選ぶ
  (3)「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 一括・高速ライブラリダビングではつねにコピーを行ない、移動はできません。ダビング元に残しておきたくない場合は、一括削除(130ページ)を行なってください。
- パーツの内容を確認するには、パーツを選んだ状態で「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させたあと、方向ボタン(▲/▼)で「パーツのプレビュー」(または「タイトル情報」)を選び、「決定」ボタンを押します。

■ 登録したパーツを取り消すには

1) 方向ボタンで取り消すパーツを選び、「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニューが出ます。

2) 方向ボタン(▲/▼)で「選択キャンセル」(すべて取り消したいときは「全クリア」)を選ぶ

3) 「決定」ボタンを押す

■ 登録したパーツの順序を入れ替えたいときは

上の手順でパーツを取り消し、手順4〜6をくり返して、正しい場所へ入れ直します。

■ 一括ダビングを途中で中止したいときは

「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させたあと、方向ボタンで「一括ダビング中止」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 一括ダビングは選んだパーツの順に行なわれていくため、中止するタイミングによってはいくつかのパーツのダビングが済んでいる場合もあります。

HDD DVD-RAM

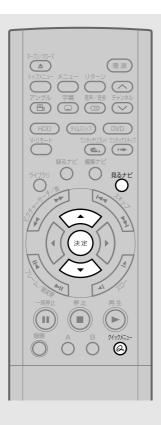
レート変換ダビング（画質・音質レートを変えてダビングする）

内蔵HDDに録画したタイトル／チャプターの画質や音質が高すぎて、DVD-RAMディスクの空き容量におさまりきらないときなどに、画質・音質レートを下げてコピーができます。

レート変換ダビングは、こんなときにお使いください。
・マニュアルの高レートで長時間内蔵HDDに録画したので、そのままではDVD-RAMにおさまりきらないとき
・本機以外の機器で録画したDVD-RAM内のタイトルをDVD-Rにしたいとき
・「DVD-R互換モード」（147ページ）を「切」に設定して録画したタイトルを、DVD-Rにしたいとき

レート変換ダビングは、**パーツ単位で**行なう方法と、**複数のパーツを一括して**行なう方法の、2通りがあります。（複数のパーツを一括して行なう方法では、それぞれのパーツに同じレートが適用されます。個別の設定はできません。）

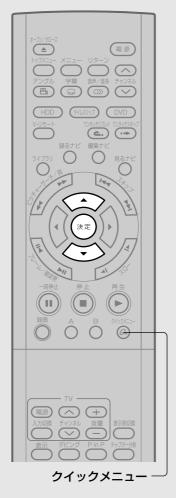
■ 準備
- 「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタンを押して、ダビングしたいパーツがはいっているディスクを選んでおきます。

パーツ単位でレート変換ダビングする

1 96ページの手順1～2を行う

2 「クイックメニュー」ボタンを押す

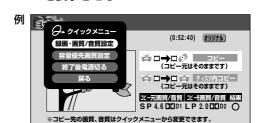
クイックメニューが表示されます。

3 方向ボタン（▲/▼）で「レート変換ダビング」を選び、「決定」ボタンを押す

「レート変換ダビング画面」が表示されます。

4 方向ボタン(▲/▼)で、「コピー」または「ディスク内コピー」を選ぶ

コピー：
ダビングする内容は、ダビング後もダビング元のディスクに残ります。
ディスク内コピー：
同じディスクに、同じ内容で別のタイトルが作られます。

5 画質と音質のレートを確認する

変えたいときは、以下の手順を行ないます。
1)「クイックメニュー」ボタンを押してクイックメニューを表示させる

例
2) 方向ボタン(▲/▼)で項目を選び、「決定」ボタンを押す

録画・画質/音質設定：
あらかじめ設定してあるレート(146ページ)の一覧が出ます。「値変更(I◀/▶I)」ボタンを押して設定No.を選べます。
容量優先画質設定：
ディスクの残量から計算して最も高画質になるようなレートが設定されます。この機能を使っても、録画する内容によってはディスクに収まらない場合もあります。また、ディスクの空き容量をすべて使い切る機能ではありません。

6 「決定」ボタンを押す

ダビングが始まります。
進行状況を見るには、「タイムバー」ボタンを押してタイムバーを表示させます。(タイムバーはダビングされません。)
コピーが終わると、放送中の映像に戻ります。
レート変換ダビング中の映像・音声はモニター用です。テレビ画面形状に対して正しく表示されないことがあります。

パーツをまとめてレート変換ダビングする

クイックメニュー

1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン（▲/▼）で「一括・レート変換ダビング」を選び、「決定」ボタンを押す

「一括・レート変換ダビング」画面に変わります。

例

3 99ページの手順4〜6の要領で、ダビングするパーツを集める

並んだパーツはそれぞれ1つのタイトルとしてダビング先に記録されます。

● 登録したパーツを取り消したいときは

1）取り消すパーツを選んだ状態で、「クイックメニュー」ボタンを押してクイックメニューを表示させる

2）方向ボタン（▲/▼）で、「選択キャンセル」（すべて取り消したいときは「全クリア」）を選ぶ

3）「決定」ボタンを押す

4 画質と音質のレートを確認する

変えたいときは、以下の手順を行ないます。

1）「クイックメニュー」ボタンを押してクイックメニューを表示させる

2）方向ボタン（▲/▼）で「録画・画質/音質設定」を選び、「決定」ボタンを押す

3)「値変更(I◀◀/▶II)」ボタンを押して設定No.を選び、「決定」ボタンを押す

5 方向ボタンで、「ダビング開始」を選んだあと「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

ダビングが始まります。
進行状況を見るには、「タイムバー」ボタンを押してタイムバーを表示させます。(タイムバーはダビングされません。)
コピーが終わると、放送中の映像に戻ります。
レート変換ダビング中の映像・音声はモニター用です。テレビ画面形状に対して正しく表示されないことがあります。

■ レート変換ダビングを途中で中止したいときは

1)「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「レート変換ダビング中止」を選ぶ

3)「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 中止した時点までの内容はダビングが済んでいます。

■ コピーが終了後自動的に電源が切れるようにするには

1) 設定中またはコピー中に、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「終了後電源切る」を選ぶ

3)「決定」ボタンを押す

お知らせ

- 高速ライブラリダビングと異なり、デジタル変換の際に若干画質・音質が低下します。またダビングは再生時間分かかります。
- コピー元より高い画質・音質に設定しても品質は向上しません。
- チャプターの分割位置はコピーされません。
- 一度に選べるパーツは99個までです。
- DVD-RAMディスクからDVD-RAMディスクへのレート変換ダビングはできません。
- レート変換ダビングでできたタイトルの前後には、自動的に黒画面が録画されています。
- 「リレー録画」(⇨74ページ)を「入」に設定していても、レート変換ダビング中はリレー録画にはなりません。
- レート変換ダビング中は、3D効果(⇨144ページ)は機能しません。
- レート変換ダビング中は、音声出力の切り換えはできません。
- レート変換ダビング先の音声はすべてステレオとして記録されます。
- 音声多重放送を録画したときの再生音は、「主音声」と「副音声」が同時に出力されますので、「音声/音多」ボタンで出力する音声を選んでください。
- 「DVD-R互換モード」(⇨147ページ)を「入(主音声)」または「入(副音声)に設定していると、音声多重放送では選んだ音声(主または副)だけが記録されます。(ステレオ放送は通常通りステレオ音声として記録されます。)
- プレイリストをレート変換ダビングする場合、そこに含まれるチャプターが録画時のオリジナルタイトルの先頭部分である場合は先頭が1フレーム欠けます。

HDD

DVD-Rに書き込む

内蔵HDDに録画した内容は編集して、結婚式や旅先の映像集など作品として配付するのに便利なDVD-Rに書き込むことができます。書き込んだDVD-Rは、互換性のあるDVDプレーヤーで、DVDビデオとして再生できます。

ご注意

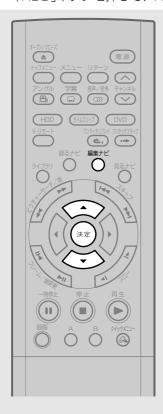
- **書き込みは、内容を十分確認してから行なってください。**
  本機での書き込みは1枚のDVD-Rに一度だけです。書き込んだあとは、内容の追加、削除、修正は一切できません。また、書き込みを途中で中止すると、そのDVD-Rは使用できなくなります。
- **書き込みは、直後に録画予約がないことを確かめてから行なってください。**
  書き込みには、DVD-Rの容量100%で約1時間半の時間がかかります。(内容に比例して増減します。また、内容が少ないときや画質の設定が高いときなど、書き込み時間が実記録時間を上回る場合もあります。)いったん書き込みをはじめると、途中で予約録画の開始時刻が来ても、(キャンセルをしない限り)DVD-Rの書き込みが優先され、予約していた録画はできません。(ただし、DVD-R作成を1枚終了し、次のDVD-Rの作成準備中に予約録画の開始時刻が来たときは、DVD-R作成を終了し予約録画を開始します。)
- **お使いになるDVD-Rの互換性を確かめてください。**
  4.7GB (for General Ver.2.0)のDVD-Rをお使いください。これ以外のDVD-Rの場合、書き込みが正しくできない可能性があります。(推奨ディスク：Panasonic LM-RF120 (4.7GB/120分))

＊本機で作成したDVD-RはDVDビデオ規格に準拠しておりますが、すべてのプレーヤーなど(当社、他社含む)で正常な再生を保証しておりません。

- **ディスクの取り扱いに注意してください。**

■ 準備

- DVD-Rに保存したい内容を、以下の条件でHDDに録画しておきます。
  ・「**DVD-R互換モード**」(147ページ)を必ず「**入(主音声)**」「**入(副音声)**」のいずれかに設定する。
  ・画質レートを、できれば4.0以上に設定する。
- 本機に未使用のDVD-Rを入れます。(DVD-Rの取扱方法は、DVD-Rの説明書にしたがってください。)
- 「HDD」ボタンを押して、HDDモードを選んでおきます。

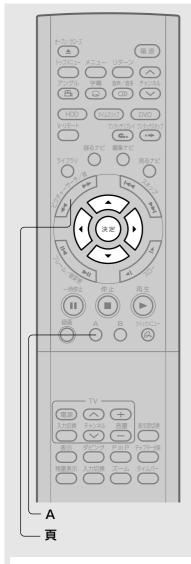
1 「編集ナビ」ボタンを押す

編集ナビ

「編集ナビ メインメニュー」画面が出ます。

2 方向ボタン(▲/▼)で「DVD-R作成」を選び、「決定」ボタンを押す

「編集ナビ DVD-R作成」画面に変わります。

例

画面上側に、HDDに録画してある内容がサムネイルで一覧表示されます。

🖉お知らせ

- 手順4で、以下のメッセージが表示されたときは、「決定」ボタンを押してください。

3 方向ボタンで、DVD-Rに書き込みたいパーツ（タイトルまたはチャプター）を選ぶ

- 「頁」ボタンを押して前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  もう一度押すとタイトルの一覧に戻ります。

例

4 「決定」ボタンを押す

画面下側（DVD-R側）に、カーソルが表示されます。

5 方向ボタン（◀/▶）で、パーツを入れる場所を選び、「決定」ボタンを押す

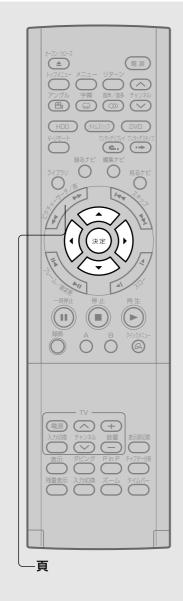
最初は左端に固定されます。そのまま「決定」ボタンを押してください。

選んだパーツが、カーソルのあった場所に入ります。

（つづく）

DVD-Rに書き込む(つづき)

（つづき）

6 手順3〜5をくり返す

DVD-Rの空き容量は、画面下部のバーで確認できます。

並んだパーツはそれぞれ1つのタイトルとしてDVD-Rに書き込まれます。

● 登録したパーツを取り消したいときは（☞101ページ）

7 方向ボタンで「作成開始」を選び、「決定」ボタンを押す

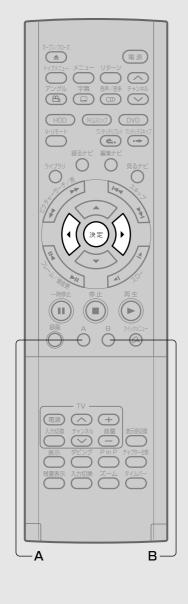
オプション項目を設定する画面が表示されます。

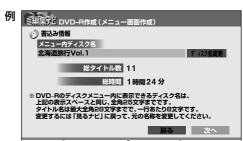
8 方向ボタンで、各項目を設定する

設定の内容は、選択時に表示されるそれぞれの説明をご覧ください。

● 「書込み前テスト」に「パーツテスト」「全テスト」を選んだときは、事前に行なうテストの分時間がかかります。なお「全テスト」は「パーツテスト」よりも時間を要します。

「メニュー画面」に「なし」を選んだときは：
「再生開始」と「1タイトル再生後開始」の設定は自動的に省略されます。残りの項目を設定したあと、方向ボタンで「書込み開始」を選んで「決定」ボタンを押してください。手順13へ。

9 方向ボタンで「次へ」を選び、「決定」ボタンを押す

書き込む情報を確認する画面が表示されます。

例

方向ボタンで「ディスク名変更」を選び「決定」ボタンを押すと、文字入力画面に切り換わり、ディスク名が全角25文字まで入力できます。
タイトル名は、個々のパーツのタイトル名がそのまま使われます(全角28文字まで)。タイトル名を変える場合は、見るナビ画面に戻って変更します。

10 方向ボタンで「次へ」を選び、「決定」ボタンを押す

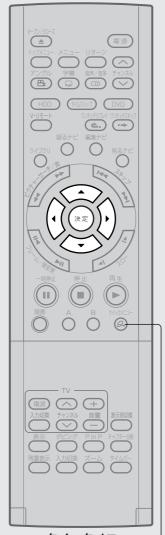
タイトルメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。

「A」ボタンを押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「B」ボタンで選択画面に戻ります。

11 方向ボタンでテーマを選び、「決定」ボタンを押す

チャプターメニューテーマを選ぶ画面が表示されます。

（つづく）

DVD-Rに書き込む(つづき)

(つづき)

11 方向ボタンでテーマを選ぶ

テーマはすべてのチャプターに共通で設定されます。チャプターごとに選ぶことはできません。
「A」ボタンを押すと、プレビュー画面でメニューイメージを確認できます。「B」ボタンで選択画面に戻ります。
プレビュー中に、方向ボタン(▼)で「戻る」を選び、「決定」ボタンを押すと、タイトルメニューのプレビューに戻ることができます。また、タイトルメニューのプレビューからは、方向ボタンで「チャプターメニュー」内の番号を選んで「決定」ボタンを押せば、チャプタメニューのプレビューに戻れます。

12 「チャプタメニューテーマ選択」画面の表示中に、「決定」ボタンを押す

確認のメッセージが表示されます。

13 方向ボタンで「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

画面がテレビ放送に戻り、書き込みが始まります。進行状況が画面と本体表示窓に表示されます。

選んだパーツの書き込みを終えると、最後にファイナライズという処理が自動的に行なわれます。これは、DVD-Rを通常のDVDプレーヤーで再生できるようにするための処理です。
書き込みが終了すると、「続けてもう1枚同じDVD-Rを作成しますか。」というメッセージが表示されます。(「終了後電源切る」(下記参照)の設定時には表示されません。)「はい」を選ぶと同じ内容のDVD-Rを作ることができます。「いいえ」を選ぶとDVD-R作成が終了します。

- 書き込みが終了したら自動的に電源が切れるように設定しておくことができます。
  (1)書き込み中に「クイックメニュー」ボタンを押す
  (2)方向ボタン(▲/▼)を押して「終了後電源切る」を選ぶ
  (3)「決定」ボタンを押す

お知らせ

- DVD-Rにテレビ番組などを直接録画することはできません。内蔵HDDに録画したものをDVD-Rに記録してください。DVD-Rに記録できるのは、内蔵HDDに録画してある内容だけです。
- DVD-Rに書き込めるタイトルは上限(99個、それぞれチャプター数が99を超えないこと)があります。タイトルやチャプターの数が極端に多いと、DVD規格の制限により書き込みができない場合があります。また、タイトルやチャプターの数が上限に達していなくても、メニューの数が多すぎるために書き込みができない場合もあります。
- DVD-Rに書き込むと、規格の違いにより、チャプターの数や位置が若干変わることがあります。(このとき生じたチャプターは、元のチャプターと同じサムネイルが表示されます。)
- DVD-Rに書き込むと、規格の制限により、不要なシーンが含まれることがあります。
- 音声モード・音声多重、画面形状などの異なるパーツが混在している場合や、途中で設定や条件が変わる画像内容は、DVD-Rに書き込むと、いくつかのタイトルに分割されます。(このとき生じたタイトルは、元のタイトルと同じサムネイルが表示されます。)
- プレイリストの構造が複雑な場合やパーツが多すぎる、あるいは極端に短いなど、状態によってはDVD-Rに正しく書き込めないことがあります。
- 一度だけコピーが許された番組は、たとえ「DVD-R互換モード」(➡147ページ)を「入」にしてHDDに録画してあっても、DVD-Rの規格の制限によりDVD-Rに書き込むことはできません。
- 本機以外(当社製HDD&DVDビデオレコーダーRD-2000／X1／X2を含む)で録画されたディスクは、そのまま本機の内蔵HDDに高速ライブラリダビングしても、DVD-R作成はできません。「DVD-R互換モード」を「入」にしてレート変換ダビング(➡102ページ)を行なって、内蔵HDDへディスクの内容をコピーしてください。
- マニュアルモード1.4Mbpsで録画した場合、16：9のアスペクト比の部分があると、DVD-R作成でパーツとして登録できなかったり、DVD-R作成の途中でエラーが起こることがあります。この場合「オプション設定」の「画面比設定」を「4：3固定」にしてください。
- 「DVD-R互換モード」を「入」にして録画したタイトルでも、本機以外ではDVD-Rに記録できない場合があります。
- 作成途中で失敗したDVD-Rは、ほとんどの場合、再使用はできません。
- DVD-R作成時にエラー等が発生すると、本体表示窓に「ERR－＊＊」(＊＊はエラーコード)が表示されます。(➡162ページ)この表示を消すには「表示」ボタンを押してください。

DVD-Rに書き込む(つづき)

■ 登録したパーツを取り消すには

1) **方向ボタンで、取り消すパーツを選び、「クイックメニュー」ボタンを押す**

クイックメニューが出ます。

例

2) **方向ボタン(▲/▼)で「選択キャンセル」(すべて取り消したいときは「全クリア」)を選ぶ**

3) **「決定」ボタンを押す**

選んだパーツが消えます。

■ 登録したパーツの順序を入れ替えたいときは

上の手順でパーツを取り消し、107ページの手順3〜5でパーツを入れ直します。

■ パーツの内容を確認するには

パーツを選んだ状態で、「クイックメニュー」ボタンでクイックメニューを表示させたあと、方向ボタン(▲/▼)で「パーツのプレビュー」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ

- クイックメニューの「タイトル情報」でも確認できます。

■ 書き込みを途中で中止したいときは

「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させたあと、方向ボタン(▲/▼)で「DVD-R 作成中止」を選び、「決定」ボタンを押す

お知らせ

- DVD-Rの書き込みを中止すると、ほとんどの場合ディスクは使用できなくなります。
- 処理の中止ができない場合もあります。

■ パーツ選択でメッセージが表示されたときは

「画面比の混在やコピー禁止の有無を確認するために、次頁のオプション設定で書込み前テストを選択することをお勧めします」などのメッセージが表示されることがあります。コピー禁止部分が含まれるか、画面比が途中で切り換わっている場合は選択をキャンセルしてください。不確かな場合は書込み前テスト(「パーツテスト」または「全テスト」)を選択してください。

お知らせ

- パーツの選択を取り消すには、手順7の前に「クイックメニュー」ボタンを押して、方向ボタン(▲/▼)で「選択キャンセル」を選び、「決定」ボタンを押してください。これを行なわずに書き込みを続行すると、途中でエラーが起こり、そのDVD-Rは使えなくなる恐れがあります。

書き込み後のDVD-Rを見る

DVDビデオディスクと同じように再生できます。
28ページをご覧ください。

HDD DVD-RAM

ラインUダビング（再生中の映像を録画する）

コピーの禁止されていないディスクの画像を、再生しながら録画することができます。
本機で作成したDVD-Rの記録内容を、内蔵HDDにダビングしたいときなどにご利用ください。

■ 準備

- ダビング先の空き容量を確認しておきます。
- 内蔵HDDにダビングするときは、ダビングしたい内容が入ったディスクを、本機に入れておきます。

例：DVD-RAMドライブから内蔵HDDにダビングする

1 「入力切換」ボタンまたは「チャンネル」ボタンをくり返し押して、入力に「ラインU」を選ぶ

入力切換 チャンネル

黒画面になります。

ラインU ステレオ

2 「HDD」ボタンを押す

HDD

3 「録画」ボタンを押す

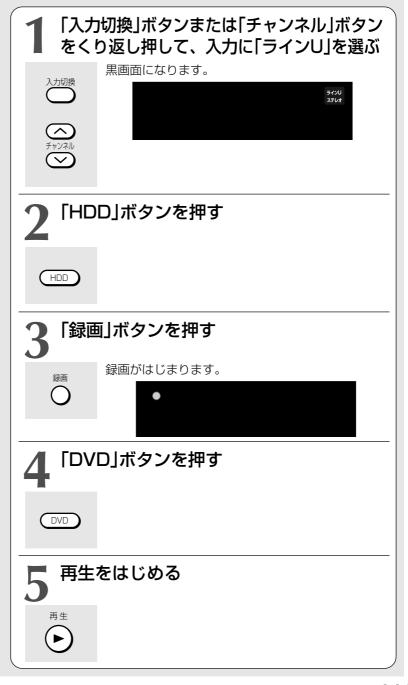
録画

録画がはじまります。

4 「DVD」ボタンを押す

DVD

5 再生をはじめる

再生

ラインUダビング（再生中の映像を録画する）（つづき）

6 記録したい内容の再生が終わったら、「停止」ボタンを押す

7 「HDD」ボタンを押す

8 「停止」ボタンを押す

録画が停止し、黒画面に戻ります。

お知らせ

- 次の組み合わせでダビングができます。
  内蔵HDD→内蔵HDD、DVD-RAM→内蔵HDD、DVD-R→内蔵HDD、内蔵HDD→DVD-RAM
- ラインUで録画したタイトルは、先頭と最後の部分が黒画面になる仕様になっています。したがって、「見るナビ」画面ではサムネイルも黒画面になる場合があります。サムネイルを変更するには⇨132ページをご覧ください。
- 再生の一時停止画像やスロー画像なども録画することができます。
- DVDビデオディスク、ビデオCD、音楽用CDの内容はラインUダビングできません。
- 画質・音質設定によっては、ラインUダビングすると画質や音質が変わる場合があります。
- 「見るナビ」「録るナビ」などの画面表示をラインUダビングすることはできません。
- ラインUダビングの録画予約はできません。
- ラインUダビング中は録画予約はできません。「録るナビ」画面を表示させると再生が停止します。
- ラインUの入力を選んでいる間は、強制的にステレオ出力となり、音声出力の変更はできません。録画実行中は音声出力が切り換えられます。
- ラインUダビング先の音声はすべてステレオになります。
- ラインUダビングでは3D効果（⇨144ページ）は機能しません。
- 「リレー録画」（⇨148ページ）が「入」に設定されていても、ラインUダビングではリレー録画は機能しません。
- ラインUダビングでは、1度だけコピーが許された映像でもコピーできません。

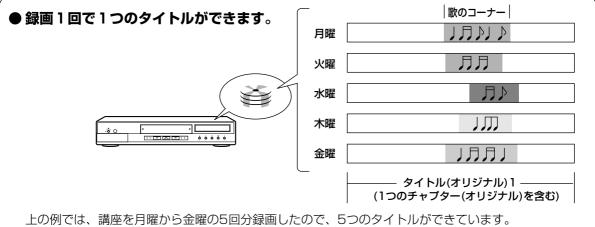
編　集

好きな場面だけを集めて、お気に入りの映像集が簡単に作れます。

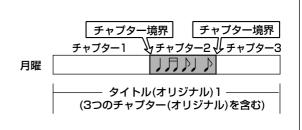
編集の前に

このページの説明は、録画した内容を編集するために必要な情報です。録画をしたあとはぜひお読みください。

編集は、タイトルとチャプターを単位にして行ないます。タイトルとチャプターは、本機の内部で「プレイリスト」と「オリジナル」という2つの種類に分けて管理されています。編集の際には、この2つの種類の区別を理解しておく必要があります。「プレイリスト」は、必要な部分だけを集めてダビングするときにも使います。
以下の例で、「プレイリスト」と「オリジナル」について説明します。

例：月曜から金曜まで毎日録画している英会話講座から、歌のコーナーだけを集めて自分専用の練習曲集を作ります。

上の例では、講座を月曜から金曜の5回分録画したので、5つのタイトルができています。
このように、ご自分で**録画した内容**を、**「タイトル(オリジナル)」**と呼びます。
タイトル(オリジナル)に含まれるチャプターはすべて、チャプター(オリジナル)です。

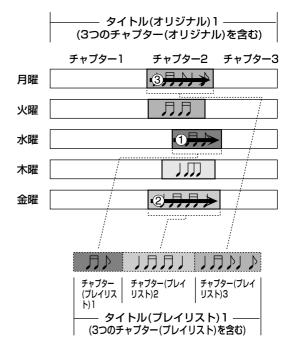
● それぞれのタイトル(オリジナル)の中で、必要な範囲(歌のコーナー)を指定します。

範囲を指定するにはチャプターを作ります。
歌のコーナーのはじまる部分と終わる部分にチャプター境界を作ることで、歌のコーナーが1つのチャプターになります。
１つのタイトル(オリジナル)の中に、３つのチャプター(オリジナル)ができました。

● 歌のコーナーのチャプターだけを集めます。

曲目や曲順を自由に選べます。また一つのタイトルとして名前をつけておくことができます。

集めるそれぞれの要素を「パーツ(＝部品)」といいます。右の例では、水曜、金曜、月曜の3つの歌が「パーツ」です。
パーツを集めるとき、もとになるチャプター(オリジナル)はそのままタイトル(オリジナル)の中に残っています。

それぞれのパーツは、もとのチャプター(オリジナル)を複製して新たに作られるわけではありません。実際の録画内容は持たず、再生する項目と順番、といった情報だけの形で存在します。(右の例では、「月曜、水曜、金曜」という曲目と「水曜→金曜→月曜」という曲順)
実際の再生時には、もとのチャプター(オリジナル)の内容が使われます。

パーツは、オリジナルから何度でも作成でき、また同じパーツでも組み合わせや順序を変えて、別のタイトルを作れます。
パーツには、例で示したチャプター(オリジナル)だけでなく、タイトル(オリジナル)や他のプレイリストも使えます。

タイトル(プレイリスト)1を再生すると、実際は①②③が再生されます。

実際の録画内容であるタイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)を再生時に使う一方で、パーツという別の単位を併用して管理することで、あたかも何通りものタイトルを、ディスクの使用量を増やすことなく作ることができるのです。

このように、パーツを集めて作った**仮想のタイトルやチャプター**を、**「タイトル(プレイリスト)」**、**「チャプター(プレイリスト)」**と呼び、タイトル(オリジナル)、チャプター(オリジナル)と区別します。
画面表示では、オリジナルを「ORG」、プレイリストを「PL」と表示します。

お知らせ

- タイトル(プレイリスト)やチャプター(プレイリスト)は、それぞれタイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)をもとにして成り立っています。したがって、タイトル(オリジナル)やチャプター(オリジナル)に変更を加えたり削除をしたときは、関連するタイトル(プレイリスト)やチャプター(プレイリスト)すべてがその影響を受けます。
- 録画された内容によっては編集できない場合があります。(たとえば静止画を含むタイトルの場合)
- 不要部分を削除したタイトルの境界部分や、異なるパーツから構成されたプレイリストのタイトルは、シームレス(継ぎ目のない)再生になりません。
- タイトル(プレイリスト)やチャプター(プレイリスト)を本機のドライブ間でダビングすると、タイトル(オリジナル)となります。

以上をふまえて、実際に編集をしてみましょう。
「チャプター作成」(⇨118ページ)、「プレイリスト編集(必要な場面を集める)」(⇨123ページ)をご覧ください。

HDD DVD-RAM

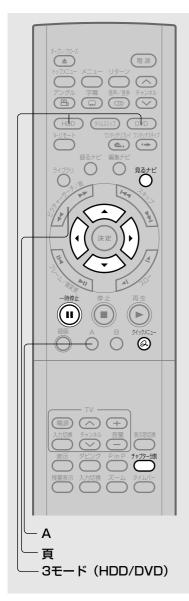
チャプター作成

1回の録画で、１つのタイトルができます。そこに含まれるチャプターの数も１つです。これをいくつかのチャプターに分けることで、場面が探しやすくなり、再生時や編集時に便利です。

場面をチャプターに分けるには、チャプターの境界を作ります。再生中に、一時停止やコマ送りなどをして、チャプターの境界にしたい場面を探し、「**チャプター分割**」ボタンを押します。また、録画中に、「一時停止」ボタンを押して録画を一時停止したり、「**チャプター分割**」ボタンを押しても、チャプターの境界ができます。
押したところの前後が別々のチャプターになります。この操作をくり返して好きな位置でチャプター分割していきます。

お知らせ

- 以下のときは、チャプター分割はできません。
  ダビング中／早送り、早戻し中／スロー再生中

チャプターを変更したいときやフレームカウンター表示を見ながら操作したい場合は、以下の手順を行なってください。

1 停止中または再生中に、「見るナビ」ボタンを押す

見るナビ

「見るナビ　タイトル一覧」画面が出ます。

3モードボタン（「HDD」または「DVD」）を押せば、内蔵HDDとDVD-RAMディスクを切り換えられます。

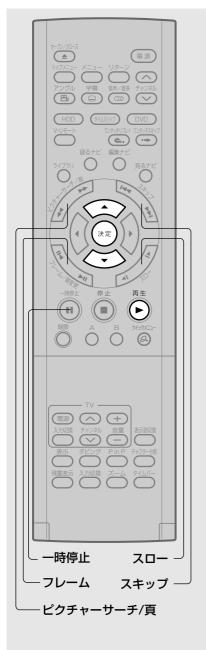
2 方向ボタンを押して、タイトルを選ぶ

- 「頁（◀◀/▶▶）」ボタンを押して前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニュー

「クイックメニュー」が表示されます。

例

4 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター機能」を選び、「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示されます。

例

5 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター作成」を選び、「決定」ボタンを押す

「編集ナビ チャプター作成」画面が出ます。

例

6 「再生」ボタンで再生をはじめる

左上の大きい画面を見ながら、チャプターの境界にしたい場面をさがします。
「ピクチャーサーチ」、「スロー」、「スキップ」、「一時停止」、「フレーム」などの各ボタンが使えます。

現在の位置はロケーターが示します。

● 他のチャプターを見るには：
方向ボタン(▲/▼)でカーソルをサムネイルの列に移動したあと、方向ボタン(◀/▶)でサムネイルを選びます。
次のページへ移るときは、「頁」ボタンを押して移動します。

● チャプターの最初と最後の部分が確認できます。
サムネイルを選んで「決定」ボタンを押すと、そのチャプターの最初と最後の部分を約3秒ずつ再生します。

(つづく)

チャプター作成(つづき)

（つづき）

7 チャプターの境界にしたい場面で、「一時停止」ボタンを押す

画像が一時停止します。

例

8 方向ボタンで、「分割」にカーソルをおき、「決定」ボタンを押す

押したところにチャプターの境界が作られ、新しくできたチャプターの先頭場面が、サムネイルとして登録されます。

例

9 手順6～8をくり返す

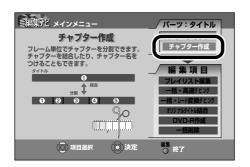
タイムバーの縦線のマーカーが、できたチャプター境界の位置を示します。

チャプター境界を消したいときは、「チャプターをつなげる」(➡122ページ)をご覧ください。

10 必要なチャプター境界を全部入れ終わったら、「B」ボタンを押す

メッセージが出て、設定したチャプター境界を保存しはじめます。
保存が終わると、「見るナビ」画面に戻ります。

お知らせ

- 作成できるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが出ます。チャプターを結合するなどして数を減らしてください。(122ページ)
- 「チャプター作成」画面は、「編集ナビ」画面で「チャプター作成」を選んでも表示できます。

- 「編集ナビ」画面を消すには、「編集ナビ」ボタンを押します。
- タイトル(オリジナル)の中でチャプター分割を行なっても、関連するタイトル(プレイリスト)には影響しません。
- チャプター分割で設定された位置と実際の再生時のチャプターの切り換わり位置に、若干のずれが生じることがあります。
- 録画中に一時停止を行なった場合、その位置でチャプターが分割されます。
- リレー録画(74ページ)では、リレー開始位置で自動的にチャプター分割が行なわれます。
- AB面録画(74ページ)で、すべて内蔵HDDに録画される場合は、無記録のDVD-RAMディスクの片面にダビングできる位置に、自動的にチャプターが作成されます。

■ チャプターの境界を自動で作成する

タイトルの先頭から、一定の間隔で自動的にチャプター境界を作れます。(すでにあるチャプター境界とは別に、新たに追加されます。)
例えば、スポーツの試合などの長い番組で、とりあえずの目安に使えます。

1) 118〜119ページの手順1〜4を行う

2) 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター自動生成」を選び、「決定」ボタンを押す

3)方向ボタン(▲/▼)で、チャプター境界の間隔を選び、「決定」ボタンを押す

選んだ間隔でチャプター境界が作られます。

■ DVD-R作成の素材用に4:3 と16:9の境界でチャプター分割する

BSデジタル放送などの番組を外部チューナーから録画した場合、放送内容に応じて通常の4:3の部分と16:9の部分が混在する場合があります。
DVD-R作成時には、書き込みに利用するDVD-Video規格の制限により、これらの混在が許されていません。
また、MPEG2方式で録画された映像は、GOPと呼ばれる15フレーム(0.5秒)の圧縮の単位ごとに4:3や16:9という属性を記録しているため、16:9番組の前に4:3の部分があると、チャプター分割しようとしているフレームが映画などの16:9の本編であっても、その前にある4:3映像のために、そのGOPは4:3と記録されています。(映画が16:9なのに4:3と表示される区間があることになりますが、これは異常ではありません)
DVD-R作成の素材となるチャプターを作成するには、「画面比」の横の数値を見ながら、4:3と16:9の表示が切り換わる部分でチャプター分割し、同一チャプター内が4:3または16:9のどちらか一方に統一されるようにしてください。

■ チャプターをつなげる

1) 118〜119ページの手順1〜5を行ない、「編集ナビ チャプター作成」画面を出す

2) 方向ボタンでチャプターを選ぶ

「頁」ボタンを押して前後のページに移動できます。

3) 「クイックメニュー」ボタンを押す

例

4) 方向ボタン(▲/▼)で項目を選ぶ

前と結合：

選んでいるチャプターと、その前のチャプターとの間の境界を削除します。

後ろと結合：

選んでいるチャプターと、その次のチャプターとの間の境界を削除します。

全チャプター結合：

タイトル内の全チャプターをつないで1つのチャプターにします。

5) 「決定」ボタンを押す

例：「前と結合」を選んだとき

選んでいたチャプターは前のチャプターとつながり、サムネイルが消えます。

例

お知らせ

- 「編集ナビ」画面を消すには、「編集ナビ」ボタンを押します。
- チャプターをつなぐと、つないだ以降のチャプターはチャプター番号がくり上がります。
- タイトル(オリジナル)の中でチャプター結合を行なっても、関連するタイトル(プレイリスト)には影響しません。また、タイトル(プレイリスト)の中でもチャプター結合はできます。このとき、元となったタイトル(オリジナル)には影響しません。

■ チャプターに名前をつける

1) 「編集ナビ チャプター作成」画面で、名前をつけたいチャプターを選ぶ

2) 「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「チャプター名入力」を選び、「決定」ボタンを押す

画面にキーボードが表示されます。

画面下部の操作ガイドにしたがって操作してください。

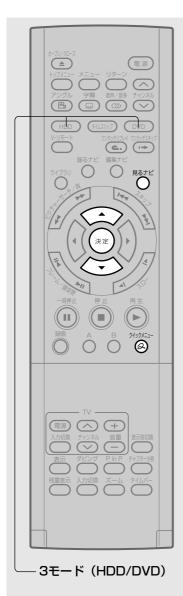
例

お知らせ

- 入力できる文字数は全角32文字、半角64文字です。
- 「タイトル情報」で表示できるのは全角で32文字までです。「見るナビ チャプター一覧」画面で表示できるのは全角で6文字までです。
- 名前をつけられるチャプターの数には上限があり、超えたときにはメッセージが出ます。
- 「編集ナビ チャプター作成」画面からチャプター名の入力をするには、名前をつけるチャプターを選んだ状態で、「クイックメニュー」を表示させ、「チャプター名入力」を選びます。
- 「見るナビ タイトル情報」画面で「頁」ボタンを押してチャプターを選び、「クイックメニュー」から「チャプター名登録」を選んでも、チャプター名をつけることができます。

HDD　DVD-RAM

プレイリスト編集（必要な場面を集める）

ダビング用に不要な部分を抜いたタイトルを作ったり、好きな場面を集めるには、「プレイリスト」を作ります。

3モード（HDD/DVD）

1 停止中または再生中に、「見るナビ」ボタンを押す

見るナビ

「見るナビ　タイトル一覧」画面が出ます。

3モードボタン（「HDD」または「DVD」）を押せば、内蔵HDDとDVD-RAMディスクを切り換えられます。

2 「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニュー

「クイックメニュー」が表示されます。

例

3 方向ボタン（▲/▼）で「編集機能」を選び、「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示されます。

例

（つづく）

はじめに
基本操作
再生
録画
ダビング
編集
機能設定
その他

プレイリスト編集（必要な場面を集める）（つづき）

（つづき）

4 方向ボタン（▲/▼）で「プレイリスト編集」を選び、「決定」ボタンを押す

「編集ナビ プレイリスト編集」画面が出ます。

例

5 方向ボタンで、パーツにするタイトルまたはチャプターを選ぶ

タイトルとチャプターの切り換えは「A」ボタンで行ないます。

例

6 「決定」ボタンを押す

選んだパーツを挿入する場所を示すカーソルが出ます。

例

7 方向ボタン(◀/▶)で、パーツを入れる場所を選び、「決定」ボタンを押す

最初は左端に固定されます。そのまま「決定」ボタンを押してください。

選んだパーツが、カーソルのあった場所に入ります。

例

8 手順6〜8をくり返して、好きな順にパーツを追加する

パーツの選択を取り消すには➡126ページをご覧ください。

9 必要なパーツを並べ終わったら、「B」ボタンを押す

B

メッセージが出て、編集したプレイリストを保存しはじめます。
保存が終わると、「見るナビ」画面に戻ります。

お知らせ

- 「プレイリスト編集」画面は、「編集ナビ」画面で「プレイリスト編集」を選んでも表示できます。
- 結合したパーツが不連続の場合、パーツ境界で一時静止状態になる場合があります。
- プレイリスト編集をして作成したタイトルを再生すると、パーツ境界で編集時の位置と誤差が生じることがあります。
- 編集しているタイトル(プレイリスト)自身、およびそれに含まれるチャプター(プレイリスト)は、パーツとして追加することはできません。
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルのタイトルまたはチャプターのプレイリストへの登録はできません。
- プレイリストのチャプターを削除しても、元となるオリジナルのチャプターは削除されません。オリジナルのチャプターを削除すると、関連するプレイリストのチャプターは削除されます。
- プレイリストはダビングするとタイトル(オリジナル)になります。

■ パーツの選択を取り消す

1)「編集ナビ プレイリスト編集」画面で、取り消すパーツを、方向ボタンで選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

「クイックメニュー」が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)で「選択キャンセル」を選び、「決定」ボタンを押す

選んだパーツが取り消されます。

■ パーツやプレイリストの先頭と最後の部分を確認する

先頭と最後の部分を、約3秒ずつ再生します(プレビュー再生)。

パーツのプレビュー

1) 手順5で、タイトルまたはチャプターを選び、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「パーツのプレビュー」を選び、「決定」ボタンを押す

プレイリストの全パーツプレビュー

1) 選んだパーツ(画面下側)のどれかにカーソルを置き、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「プレイリストのプレビュー」を選び、「決定」ボタンを押す

■ タイトル情報を確認する

1) 手順5で、タイトルまたはチャプターを選び、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「タイトル情報」を選び、「決定」ボタンを押す

■ プレイリストを再編集するには

パーツを追加したり選択を取り消して、プレイリストの内容を修正します。

1)「見るナビ」画面で、再編集したいプレイリストを選ぶ

2)「クイックメニュー」ボタンを押す

3) 方向ボタン(▲/▼)で「プレイリスト再編集」を選び、「決定」ボタンを押す

「編集ナビ プレイリスト編集」画面が出ます。

⇨124ページの手順5以降を行なって、パーツを追加したり選択を取り消してください。

お知らせ

- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルでは、プレイリストの再編集はできません。

■ 別のタイトル(プレイリスト)を作るには

1) タイトル(プレイリスト)を再生中または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ」画面が出ます。

2) 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で「プレイリスト編集」を選び、「決定」ボタンを押す

「プレイリスト編集」画面が表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼/◀/▶)で「新規作成」を選び、「決定」ボタンを押す

プレイリストのタイトル名と総時間、パーツの欄が空欄になります。

4) ⇨124ページの手順にしたがって、プレイリストを作る

■ 作ったタイトル(プレイリスト)に名前をつけるには

1) 選んだパーツ(画面下側)のどれかにカーソルを置き、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「タイトル名変更」を選び、「決定」ボタンを押す

文字入力画面が表示されます。

3) ⇨24ページの要領で、タイトル名を入力する

お知らせ

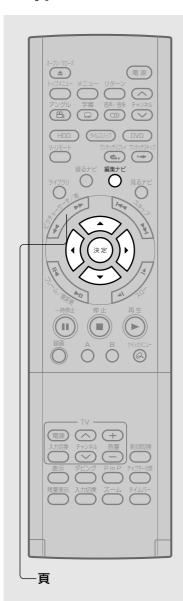
- 「見るナビ タイトル一覧」画面で、名前をつけるタイトル(プレイリスト)を選び、「クイックメニュー」から「タイトル名入力」を選んでも、タイトル名をつけることができます。

HDD DVD-RAM

オリジナルタイトル結合（2つのタイトルを1つにする）

2つのオリジナルタイトルを1つにまとめる時に使います。後ろのタイトルは削除されて、前のタイトルの末尾につながります。

■ 準備

- 「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタンを押して、まとめたいパーツが入っているディスクを選んでおきます。

頁

1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン(▲/▼)で、「オリジナルタイトル結合」を選び、「決定」ボタンを押す

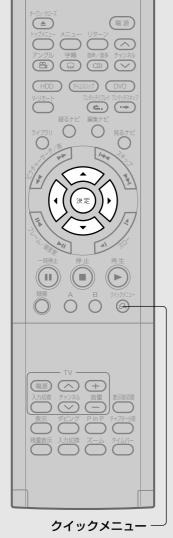
「オリジナルタイトル結合」画面に変わります。

例

3 方向ボタンを押して、つなぎたいタイトルの1つ目を選ぶ

● 「頁」ボタンを押して前後のページに移動できます。

4 「決定」ボタンを押す

画面下側（結合対象側）に、カーソルが表示されます。

5 方向ボタン(◀/▶)で、パーツを入れる場所を選び、「決定」ボタンを押す

選んだパーツが、カーソルのあった場所に入ります。

例

6 手順3～5を行なって、2つ目のタイトルを選ぶ

同じタイトルは選べません。

● 登録したパーツを取り消したいときは
1)取り消すパーツを選んだ状態で、「クイックメニュー」ボタンを押してクイックメニューを表示させる
2)方向ボタン(▲/▼)で、「選択キャンセル」(すべて取り消したいときは「全クリア」)を選ぶ
3)「決定」ボタンを押す

7 方向ボタンで、「結合開始」を選んだあと「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

結合の処理が始まります。

お知らせ

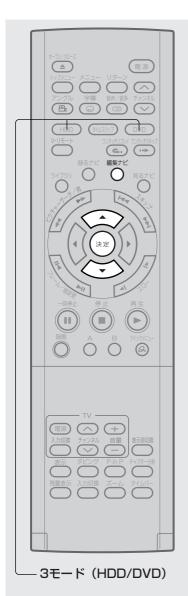
- オリジナルタイトルの結合の処理は、途中で中止できません。
- 2つのタイトルの合計の長さが9時間を超える場合は結合できません。
- 保護設定されたタイトルや静止画を含むタイトルは、結合できません。
- 結合したタイトルには1つ目のタイトル名が引き継がれます。
- 後ろのタイトルは、チャプター境界の位置やチャプター名を保持したまま前のタイトルに結合します。

HDD DVD-RAM

一括削除（パーツをまとめて削除する）

複数のタイトルとチャプターを、まとめて削除できます。

■ 準備

- 「HDD」ボタンまたは「DVD」ボタンを押して、削除したいパーツが入っているディスクを選んでおきます。

1 再生中、または停止中に、「編集ナビ」ボタンを押す

編集ナビ

「編集ナビ メインメニュー」が表示されます。

2 方向ボタン（▲/▼）で「一括削除」を選ぶ

例

編集ナビ メインメニュー

一括削除

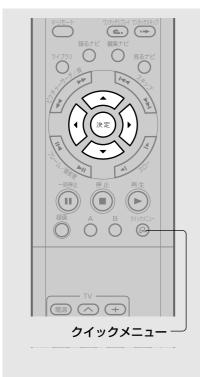
複数のタイトル、あるいは複数タイトル内の不要チャプター、をまとめて削除できます。

パーツ：タイトル
パーツ：チャプター
チャプター作成
編集項目
プレイリスト編集
一括・高速ダビング
一括・レート変換ダビング
オリジナルタイトル結合
DVD-R作成
一括削除
項目選択　決定　終了

3 「決定」ボタンを押す

「編集ナビ 一括削除」画面に変わります。

例

画面上側に、録画されている内容のサムネイルが表示されます。

4 削除したいパーツを、⇨99ページの手順4〜6の要領で集める

5 方向ボタンで、「削除開始」を選び、「決定」ボタンを押す

メッセージ画面で「はい」を選ぶと、削除が始まります。
削除を中止するには、「決定」ボタンを押します。

処理が終わると「編集ナビ メインメニュー」画面に戻ります。

お知らせ

- パーツの内容を確認するには、パーツを選んだ状態で「クイックメニュー」ボタンを押して、クイックメニューを表示させたあと、方向ボタン(▲/▼)で「パーツのプレビュー」(または「タイトル情報」)を選び、「決定」ボタンを押します。
- 一括削除の処理は、選んだ順番ではなくタイトル／チャプター番号の大きい順に行なわれます。
- 一括削除は実行すると中止できません。実行画面上に「中止」が選択できるようになっていますが、画面上の進行状況にかかわらず、かなり削除の処理が進んでいますので、実行する前に十分確認してください。

■ 削除の終了後自動的に電源が切れるようにするには

手順5の前に、以下の設定を行なってください。

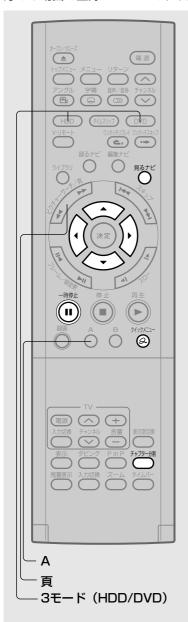
1)「編集ナビ 一括削除」画面でカーソルを画面下側におき、「クイックメニュー」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で「終了後電源切る」を選ぶ

3)「決定」ボタンを押す

HDD　DVD-RAM

サムネイル設定（見るナビの画像を変更する）

好きな場面を登録して、サムネイル表示として「編集ナビ」画面や「見るナビ」画面などで表示できます。

1 停止中または再生中に、「見るナビ」ボタンを押す

見るナビ

次のような表示（「見るナビ　タイトル一覧」画面）が出ます。

例

3モードボタン（「HDD」または「DVD」）を押せば、内蔵HDDとDVD-RAMディスクを切り換えられます。

2 方向ボタンを押して、サムネイルを変えたいタイトルを選ぶ

- 「頁（◀◀/▶▶）」ボタンを押して前後のページに移動できます。
- チャプターを選ぶには、タイトルを選んで「A」ボタンを押します。
  画面が「見るナビ　チャプター一覧」に変わります。
  もう一度押すと「見るナビ　タイトル一覧」に戻ります。

3 「クイックメニュー」ボタンを押す

クイックメニュー

「クイックメニュー」が表示されます。

例

4 方向ボタン（▲/▼）で「タイトルサムネイル設定」（手順2でチャプターを選んだときは「チャプターサムネイル設定」）を選び、「決定」ボタンを押す

サムネイルを設定する画面が表示されます。

例

5 「再生」ボタンを押して再生をはじめる

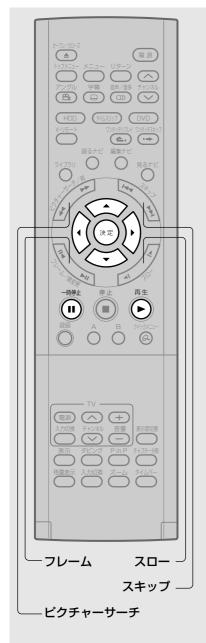
サムネイルにしたい場面をさがします。
「ピクチャーサーチ」、「フレーム」、「スロー」、「一時停止」、「スキップ」などの各ボタンも使えます。

6 サムネイルにしたい場面で「一時停止」ボタンを押して、静止画にする

例

7 「決定」ボタンを押す

見るナビ画面に戻ります。選んだ静止画が新しいサムネイルになっています。

例

お知らせ

- 設定されたサムネイルの映像と実際に表示されるサムネイルとで若干のずれが生じることがあります。特にピクチャーサーチを使用するとずれが大きくなります。

サムネイル設定（見るナビの画像を変更する）（つづき）

お知らせ

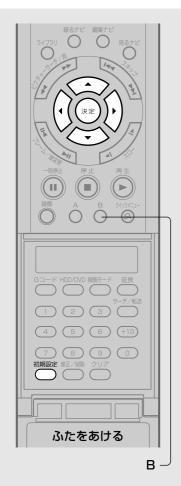
- 静止画タイトルおよび静止画と動画が混在するタイトルでは、チャプターサムネイルは設定できません。
- 本機でチャプターサムネイルを設定したあと、本機以外で録画や編集を行なうと、チャプターサムネイルがチャプター先頭に戻ることがあります。

機能設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

HDD | DVD-RAM | DVD-VIDEO | VCD | CD

初期設定の変更と機能の設定

本機では、さまざまな機能があらかじめ初期設定されています。お使いの条件やお好みに合わせて設定を変えられます。

1 停止中に、「初期設定」ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

2 方向ボタン(◀/▶)で、設定したい項目のグループを選び、「決定」ボタンを押す

項目の内容は次のページをご覧ください。

例：「画面表示設定」を選んだとき

3 方向ボタン(▲/▼)で、設定したい項目を選び、「決定」ボタンを押す

4 ⇨140ページ以降の説明を参照して、方向ボタン(▲/▼)などで設定し、「決定」ボタンを押す

- 同じグループの他の項目を設定するときは、手順3、4をくり返します。
- 他のグループに移るには、「B」ボタンを押してから、手順2～4を行います。

5 「初期設定」ボタンを押す

画面が消え、設定は終わりです。

お知らせ

- 「初期設定」ボタンは再生中にも押せますが、項目によっては表示が薄くなって選べない場合があります。これらの項目はいったん再生を止めてから設定してください。
- 「初期設定」ボタンは、録画中、HDD別タイトル再生中、タイムスリップ再生中には使えません。

項目		設定内容	ページ
DVDプレイヤー設定			
DVDディスクメニュー言語	DVD-VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語のディスクメニューのうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	⇨140ページ
DVD音声言語	DVD-VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語の音声のうち、どの言語を優先して再生するかを設定します。	⇨140ページ
DVD字幕言語	DVD-VIDEO	DVDビデオディスクに記録してある各国語の字幕のうち、どの言語を優先して表示するかを設定します。	⇨140ページ
DVD Dレンジコントロール	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO	夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能を設定します。	⇨141ページ
カラオケボーカル	DVD-VIDEO	DVDカラオケ対応ディスクで再生ボーカルを出力するかしないかを設定します。	⇨141ページ
DVDパレンタルロック	DVD-VIDEO	パレンタルロック機能の内容や入／切を設定します。	⇨141ページ
DVDビデオタイトル停止	DVD-VIDEO	DVDビデオディスクの再生時、一つのタイトルが終わったら再生をやめるか、そのまま続けるかを設定します。	⇨142ページ
PBC	VCD	ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面再生をするかどうかを設定します。	⇨142ページ

項目		設定内容	ページ
映像・音声設定			
TV画面形状	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO	接続してあるテレビの形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。	⇨143ページ
静止画	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO	一時停止させた時の画像の解像度を設定します。	⇨143ページ
映像調整選択	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD	標準または3種類のカスタム画質を選択します。	⇨143ページ
映像調整	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD	画質を調整して保存します。	⇨143ページ
音声出力設定	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	接続のしかたに合わせて、どの音声方式を出力するかを設定します。	⇨143ページ
3D(N-2-2)再生設定	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	2つのスピーカーだけでも広がりと奥行き感のある音響効果で再生する機能を設定します。	⇨144ページ

項目		設定内容	ページ
画面表示設定			
画面表示	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	本機の動作状態(「▶」など)を画面に表示するかどうかを設定します。	⇨144ページ
透過度	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	画面表示を出しているときの、その下の画像に対する濃さを設定します。	⇨144ページ
スタートアップ	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	電源を入れたときに自動的に表示する動画の有無を設定します。	⇨144ページ
ブラウン管保護	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	静止画のテレビ画面への焼付きを防止する機能を設定します。	⇨144ページ
バックカラー	HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	映像入力信号がないときの画面の状態を選びます。	⇨145ページ

(つづく)

初期設定の変更と機能の設定(つづき)

項目	設定内容	ページ
各種操作設定		
ブザー設定 HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	本機を操作したときのブザー音の有無を設定します。	⇨145ページ
リモコンモード HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	本機が受けつけるリモコンのコードを切り換えます。	⇨145ページ
ワンタッチスキップ設定 HDD DVD-RAM	「ワンタッチスキップ」ボタンを押すごとにスキップする幅を選びます。	⇨145ページ
ワンタッチリプレイ設定 HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	「ワンタッチリプレイ」ボタンを押すごとに戻る幅を選びます。	⇨145ページ
タイトルサムネイル設定 HDD DVD-RAM	録画したタイトルの最初からどのくらい経過した場面をタイトルのサムネイルにするかを選びます。	⇨146ページ
HDD/RAMタイトル再生設定 HDD DVD-RAM	タイトルごとのレジューム再生をするか、連続再生をするかを設定します。	⇨146ページ
スチル集再生速度 HDD DVD-RAM	静止画集を再生するときの、静止画1枚あたりの表示時間を設定します。	⇨146ページ

項目	設定内容	ページ
録画機能設定		
録画・画質/音質設定 HDD DVD-RAM	録画時にビットレートをマニュアルで設定する場合のために、その初期値をあらかじめ決めておきます。	⇨146ページ
録画映像モード HDD DVD-RAM	「映像・音声設定」の「映像調整」で画質が調整しきれないときに限り使用する設定です。	⇨147ページ
録音入力レベル HDD DVD-RAM	録画する音声のレベルを設定します。	⇨147ページ
DVD-R互換モード HDD DVD-RAM	DVD-R作成をする予定のタイトルを録画する場合に設定します。	⇨147ページ
録画DNR HDD DVD-RAM	録画時に3次元デジタルノイズリダクションを使用するかどうかを設定します。	⇨147ページ
3次元Y／C分離 HDD DVD-RAM	3次元デジタルフィルターによるY/C(輝度/色)分離を行うかどうかを設定します。	⇨148ページ
リレー録画 HDD DVD-RAM	DVD-RAMディスクの空き容量が10分以下のとき、またディスクが入っていないとき、自動的に内蔵HDDに録画するかどうかを選びます。	⇨148ページ

管理設定		
ジャンル設定 HDD DVD-RAM	よく使うジャンル名をメニューに登録します。	148ページ
待機時省エネ設定 HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD	電源が切れている間（待機状態）に本体表示部を消灯させるかどうかを選びます。	148ページ
HDDパワーモード HDD	無操作時の内蔵HDDの回転を、一定時間経過後に自動的に止める省電力機能を設定します。	149ページ
HDD全タイトル削除 HDD	内蔵HDD内のタイトルの、ライブラリ情報はそのままに録画内容だけを一度に削除します。	149ページ
HDD初期化 HDD	内蔵HDDを初期化します。	149ページ
DVD-RAM物理フォーマット DVD-RAM	DVD-RAMディスクの物理フォーマットを実行します。	23ページ

初回設定
「時刻設定」、「チャンネル設定」、「BSチャンネル設定」、「BSアンテナ電源設定」、「入力1設定」、「ジャストクロック」については準備編 30ページをご覧ください。

DVDプレイヤー設定

DVDディスクメニュー言語

DVD-VIDEO

英語：
英語でディスクメニューを表示します。

日本語：
日本語でディスクメニューを表示します。

その他：
ディスクメニューを表示する言語が選べます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」(⇨164ページ)で、希望の言語のコードを確認する
2) 方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンを押して、コードの第1字を選ぶ
3) 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンを押して、コードの第2字を選ぶ
4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ
- 該当する言語のディスクメニューがない場合は、ディスクで指定された言語で表示されます。

DVD音声言語

DVD-VIDEO

英語：
英語で音声を再生します。

日本語：
日本語で音声を再生します。

その他：
音声を再生する言語が選べます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」(⇨164ページ)で、希望の言語のコードを確認する
2) 方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンを押して、コードの第1字を選ぶ
3) 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンを押して、コードの第2字を選ぶ
4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ
- ディスクによっては、ディスクで決められている音声になります。

DVD字幕言語

DVD-VIDEO

英語：
英語で字幕を表示します。

日本語：
日本語で字幕を表示します。

字幕なし：
字幕を表示しません。

その他：
字幕を表示する言語が選べます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)～4)を行ってください。

1) 「言語コード表」(⇨164ページ)で、希望の言語のコードを確認する

2) 方向ボタン(▲/▼)を押して、コードの第1字を選ぶ

3) 方向ボタン(◀/▶)でカーソルを移動させ、方向ボタン(▲/▼)または、「値変更」ボタンを押して、コードの第2字を選ぶ

4) 「決定」ボタンを押す

お知らせ

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語はディスクメニューを使って選ぶようになっている場合があります。このときは、「メニュー」ボタンを押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選んでください。

DVD Dレンジコントロール

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO

夜間など、音量を下げて再生するときに、小さい音までよく聞こえるようにする機能です。

切：
Dレンジコントロール機能が働きません。

入：
Dレンジ機能が働きます。

お知らせ

- ドルビーデジタルで記録されたディスクのときだけ、この機能が働きます。
- この機能の効果のレベルはディスクによって変わります。

カラオケボーカル

DVD-VIDEO

切：
ボーカル(歌声)を出力しません。

入：
ボーカル(歌声)を出力します。

お知らせ

- ドルビーデジタルマルチチャンネルで記録されたDVDカラオケディスクのときだけ、この機能が働きます。
- カラオケをお楽しみになるときは、本機にアンプ等を接続してください。

DVDパレンタルロック

DVD-VIDEO

パレンタルロックに対応したDVDビデオディスクには、あらかじめ規制レベルが設定されています。規制レベルの内容および規制方法はディスクによって異なります。たとえばディスク全体が再生できない場合のほか、過激な暴力シーンをカットしたり、別のシーンに自動的に差し替えて再生されます。

お願い

- ディスクによっては、パレンタルロックに対応しているかどうかの区別がつきにくいものがあります。
必ず、設定したパレンタルロックの機能が働くことを確認してください。

入：
パレンタルロック機能を働かせたり、設定の内容を変えるときに選びます。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)〜3)を行ってください。

切：
パレンタルロック機能は働きません。
「決定」ボタンを押したあとで、以下の手順1)を行ってください。

1) **番号ボタンを押して4桁の暗証番号を入力し、「決定」ボタンを押す**

番号を入れまちがえたときは、「決定」ボタンを押す前に「クリア」ボタンを押して、入力し直します。

(つづく)

2) **方向ボタン(◀/▶)を押して、設定したい規制レベルの国を選ぶ**

USA：アメリカ合衆国

JAPAN：日本

3) **方向ボタン(▲/▼)で、設定したい規制レベルを選び、「決定」ボタンを押す**

選んだ規制レベルより上のレベルのディスクは、パレンタルロックを「切」にしないかぎり、再生できなくなります。たとえばレベル7を設定すると、レベル8以上はロックされ再生できなくなります。

「JAPAN」を選んだ場合のレベル設定は将来のために用意されたものです。適切な設定レベルは、実際にパレンタルロックに対応したDVDビデオディスクをお買い上げになられたときに、お客様ご自身で動作させてご確認ください。

「USA」を選んだときの規制レベルは、次のように対応しています。

レベル7：NC-17　レベル3：PG
レベル6：R　レベル1：G
レベル4：PG13

■ パレンタルロックの規制レベルを変えるには

手順1)〜3)を行う

■ 暗証番号を変えるには

1) **「入」「切」を選んだあとで、「停止」ボタンを4回押し、さらに「決定」ボタンを押す**

暗証番号が解除されます。

2) **番号ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力する**

3) **「決定」ボタンを押す**

DVDビデオタイトル停止

DVD-VIDEO

無：
１つのタイトルが終わってもそのまま次のタイトルが再生できます。

有：
１つのタイトルが終わったら、ディスクの作りに応じた動作をします。

PBC

VCD

切：
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使わず、普通の再生をするとき。

入：
ビデオCD(PBC付き)のメニュー画面を使って再生するとき。

映像・音声設定

TV画面形状

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO

接続してあるテレビの形状に合わせて、優先して再生したい画面形状を設定します。
設定の詳細は、準備編「テレビ画面形状の設定」(➡50ページ)をご覧ください。

静止画

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO

自動：
通常の設定です。動きのある画像でもぶれずに一時停止します。

フレーム：
動きのない画像を、特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。

映像調整選択

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD

画質の設定を4種類(標準／設定1／設定2／設定3)のうちから選びます。

映像調整

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD

調整した画質の設定を3種類まで記憶できます。

1) 方向ボタン(▲/▼)で、記憶する番号(1～3)を選び、「決定」ボタンを押す

2) 方向ボタン(▲/▼)で調整項目を選び、方向ボタン(◀/▶)で値を調整する

明るさ
(0)暗くなる ⇔ 明るくなる(14)

コントラスト
(−7)淡くなる ⇔ 濃くなる(7)

色の濃さ
(−7)薄くなる ⇔ 濃くなる(7)

色調
(−7)赤色が強くなる ⇔ 緑色が強くなる(7)

エッジ強調
(−7)輪郭をソフトに ⇔ 輪郭をシャープに(7)

3) 調整が終わったら、「決定」ボタンを押す

お知らせ
- D1映像出力端子およびコンポーネント映像出力端子(Y、CB、CR)では、「色調」の調整ができません。

音声出力設定

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

接続に合わせて選びます。

出力される音声の種類については➡59ページをご覧ください。

PCM：
2chデジタルステレオアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、MPEG1、MPEG2で記録されたディスクを再生すると、PCM(2ch)に音声を変換して出力します。

アナログ 2ch：
テレビやオーディオ機器を、アナログ端子で本機に接続しているとき。

ビットストリーム：
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2の各デコーダを内蔵したアンプを本機に接続しているとき。
ドルビーデジタル、DTS、MPEG1、MPEG2で記録されたディスクを再生すると、それぞれのビットストリーム音声を出力します。

(つづく)

3D(N-2-2)再生設定

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

2つのスピーカーだけでも奥行きや広がりのある音響効果で再生できます。

切：
3D効果は働きません。

入：
3D効果が働きます。

ヘッドホン：
テレビやAVアンプのヘッドホン端子にヘッドホンを接続して使用する場合に、3D効果が働きます。

お知らせ

- 3D再生すると音量が変わったように感じることがあります。
- 再生する音の音声方式や設定によっては、3Dが働かないか、または十分に効果が出ないことがあります。(59ページ)
- 3D再生中は、ドルビープロロジックサラウンドが働かないかまたは通常と違って聞こえることがあります。
- リニアPCMの音声を再生するときは、音質を向上させるため、「切」に設定してください。

画面表示設定

画面表示

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

切：
「▶」などの動作状態を画面に表示しません。

入：
「▶」などの動作状態を画面に表示します。

透過度

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

画面表示の濃さを変えて、下の画像が透けて見えない度合いを選びます。

100%：75%：50%

スタートアップ

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

切：
スタートアップ画面を表示しません。

入：動画：
電源を入れたときに、自動的にスタートアップ画面を表示します。

ブラウン管保護

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

テレビ画面の焼付き防止のために、再生画像の一時停止状態やGUI表示(「見るナビ」画面など)が無操作で約15分続くと、テレビ画面などに戻る機能です。
この機能を「入」にしておくと、本機がフリーズしても15分ほど放置しておくと復帰できる場合があります。

切：
ブラウン管保護機能は働きません。

入：
ブラウン管保護機能が働きます。

各種操作設定

バックカラー

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

放送のないチャンネルを選んだときなど、映像入力信号のないときの画面の色を選びます。

切：色を設定しません。

黒：黒の画面色が設定されます。

青：青の画面色が設定されます。

お願い

- 受信の状態などによってバックカラーが解除されることがあります。バックカラーの途切れが気になるときは、「切」にしてください。

ブザー設定

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

本機を操作したときのブザー音の有無を設定します。

切：
　ブザー音は鳴りません。

入：
　ブザー音が鳴ります。

お知らせ

- 本機は、ダビングやディスクのフォーマットなど時間を要する処理の終了時や、リモコンからの予約転送エラーの際などにもブザー音を鳴らします。これら完了通知や警告のためのブザー音は、この設定にかかわらず消せません。

リモコンモード

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

リモコンのモードを設定します。当社製の2台のHDD&DVDビデオレコーダーを使うときはそれぞれ異なったリモコンモードに設定すると、誤動作の防止に役立ちます。
設定の詳細は、準備編「2台のHDD&DVDビデオレコーダーを本機のリモコンで操作する」（⇨準備編54ページ）をご覧ください。

ワンタッチスキップ設定

HDD DVD-RAM

「ワンタッチスキップ」ボタンを押すごとにスキップする幅を選びます。

5秒：10秒：30秒：5分

ワンタッチリプレイ設定

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

「ワンタッチリプレイ」ボタンを押すごとに戻る幅を選びます。

5秒：10秒：30秒：5分

（つづく）

タイトルサムネイル設定

HDD DVD-RAM

録画したタイトルの最初からどのくらい経過した場面をタイトルのサムネイルにするかを選びます。

0秒：3秒：10秒：35秒：1分：5分

お知らせ

- サムネイルは他の場面にも変更できます。132ページをご覧ください。

HDD/RAMタイトル再生設定

HDD DVD-RAM

最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させるかどうかを選びます。

タイトル毎レジューム：
最後に再生した場所をタイトルごとに記憶させ、そこから再生をはじめられます。

タイトル連続再生：
内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクそれぞれの中にあるタイトル(オリジナル、プレイリスト)を通して再生できます。タイトルの壁がないので停止位置は最後の1ヵ所を記憶します。

スチル集再生速度

HDD DVD-RAM

静止画集を再生するときの、静止画1枚あたりの表示時間を設定します。表示の単位は秒です。

1秒：2秒：3秒：5秒：10秒：ディスク指定値

録画機能設定

録画・画質/音質設定

HDD DVD-RAM

録画するときの画質と音質を組み合わせて(5通りまで)、録画先ごとにあらかじめ決めておけます。
ここでの設定が、通常録画、および録画予約時の初期値として使われます。

例

画質・音質の組み合わせを作る

1) **方向ボタンで、項目(「モード」、「レート」、「音質」)を選ぶ**

2) **「値変更」ボタンを押して設定を変える**

画質・音質の組み合わせを使う

1) **方向ボタンで、録画先(「HDD」、「DVD」)を選ぶ**

2) **「値変更」ボタンを押して、設定を変える**
選んだ設定で録画できる時間の目安は、画面下部で確認できます。

3) **「決定」ボタンを押す**

お知らせ

- 組み合わせは「HDD」「DVD」それぞれ別個に設定されます。
- 組み合わせの変更は、停止中、「レート変換ダビング」(102ページ)設定中、または「ライブラリ」画面の「クイックメニュー」からの「DVD全ディスク残量」の選択でもできます。いずれからの変更も、本機の設定を更新します。
- 「SP」「LP」に設定すると「L-PCM」は選べません。
- 音質設定により、画質設定のレートの上限が異なります。
- 画質のマニュアルレートは、2.0から9.2の間で0.2刻みで設定できます。(1.4から2.0の間では設定できません。)

録画映像モード

HDD DVD-RAM

テレビ放送や外部入力の映像信号の明るさの不具合を調整します。
（ただし、本機の「映像・音声設定」の「映像調整」（➡146ページ）を行なっても調整しきれない場合に限り使用してください。）

お願い

この設定は録画される映像信号に影響し、録画後に設定を変更しても録画済みの映像は元に戻りませんのでご注意ください。
VHSテープからダビングする時など、事前に画像の記録状態が確認できる場合は、まずしばらく再生して明るさの全体的な傾向を確認し、その上で設定されることをお勧めします。

標準：
本機で受信した信号や外部入力からの信号の明るさを、自動的に調整して記録します。通常はこの設定でご使用ください。

モード1：
白とびなど画面が明るすぎた場合に暗くして記録します。

モード2、3、4：
数字が大きくなるにしたがって徐々に明るくなります。明るさの調整にご使用ください。

録音入力レベル

HDD DVD-RAM

録画時の音声入力レベルを設定します。
方向ボタン（▲/▼）で、設定する項目を選び、方向ボタン（◀/▶）で入力レベルを設定します。

VHF・UHF （L）：地上波の左チャンネル
（R）：地上波の右チャンネル
BS（A Mode）（L）：衛星放送Aモード音声左チャンネル
（R）：衛星放送Aモード音声右チャンネル
BS（B Mode）（L）：衛星放送Bモード音声左チャンネル
（R）：衛星放送Bモード音声右チャンネル
外部入力1～3（L）：外部入力端子の左チャンネル
（R）：外部入力端子の右チャンネル
BSデコーダの入力レベルは「外部入力1」で設定します。

DVD-R互換モード

HDD DVD-RAM

録画するときに、DVD-Rに記録できるような形（映像や音声などの情報）で録画をするかどうかを設定します。

切：
DVD-Rへの記録を前提としません。画質・音質の設定によってはDVD-Rに記録できない場合もあります。

入（主音声）：
DVD-Rに記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、元の主音声だけを強制的にステレオ音声として記録します。

入（副音声）：
DVD-Rに記録できる状態で録画し、音声多重放送の場合、元の副音声だけを強制的にステレオ音声として記録します。

お知らせ

- Gコード予約には、この設定にかかわらず「切」が設定されます。変更は「録るナビ」の「クイックメニュー」で行なってください。
- 画質のマニュアルレートが3.0から3.8のときは、「入」に設定すると、「切」の場合より画質が下がる場合があります。

録画DNR

HDD DVD-RAM

ノイズの多い映像からノイズを低減する3次元デジタルノイズリダクションのレベルを、映像に合わせて選びます。

切：3次元デジタルノイズリダクションは働きません。

弱：通常レベルの効果です。

強：効果が強まります。

お知らせ

- 「録画DNR」を「弱」または「強」、「3次元Y/C分離」を「入」に設定すると、入力によってどちらが優先されるかが異なります。S端子の入力のときは「録画DNR」が、内蔵チューナーやコンポジット入力のときは「3次元Y/C分離」が優先されます。
- D1端子に接続した機器からの入力には、働きません。
- 残像が気になる場合は「切」にしてください。

（つづく）

3次元Y／C分離

HDD DVD-RAM

録画時に働く3次元デジタルフィルターによるY/C(輝度／色)分離で、色にじみやクロスカラーを低減させます。

切：
　この機能は働きません。
　電波の受信状態が極端に悪い地域ではこちらに設定します。

入：
　この機能が働きます。
　通常はこの状態に設定してください。

お知らせ

• 「録画DNR」の「お知らせ」をご覧ください。

リレー録画

HDD DVD-RAM

DVD-RAMディスクの空き容量が10分以下のとき、またディスクが入っていないとき、自動的に内蔵HDDに録画するかどうかを選びます。画質が「ジャスト」モードのときは設定にかかわらず動作しません。

切：
　この機能は働きません。

入：
　この機能が働きます。

お知らせ

• レート変換ダビング、ラインUダビングではリレー録画は動作しません。
• AB面録画予約の場合、「リレー録画」が「切」でも内蔵HDDに録画します。
• 内蔵HDD再生中、「見るナビ」画面表示中にリレー録画を開始する場合、再生が停止します。
• リレー録画中はHDD別タイトル再生は動作しません。
• 内蔵HDDの残量が少ないときはリレー録画しません。

管理設定

ジャンル設定

HDD DVD-RAM

よく使うジャンル名をメニューに登録しておけます。ここで登録したジャンル名が、クイックメニューの「ジャンル変更」に表示されます。

1) 方向ボタン(▲/▼)で行を選び、「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示されます。

2) 方向ボタン(▲/▼)でジャンルグループを選び、「決定」ボタンを押す

サブメニューが表示されます。

3) 方向ボタン(▲/▼)でジャンル名を選び、「決定」ボタンを押す

選んだジャンルが選んだ行に設定されます。

4)1)～3)をくり返してジャンル名を登録する

5)登録が終わったら、「B」ボタンを押して「管理設定」のメニューに戻る

待機時省エネ設定

HDD DVD-RAM DVD-VIDEO VCD CD

電源が切れている間(待機状態)に本体表示部を消灯させるかどうかを選びます。

切：
　消灯しません。

セーブ：
　スタンバイ時に自動的に消灯します。

HDDパワーモード

HDD

標準：
省電力モードの設定をしません。

セーブ：
約5分間内蔵HDDに何もアクセスがないときに、内蔵HDDの回転を止めます。（省電力モード）

HDD全タイトル削除

HDD

内蔵HDD内のタイトルを全部一度に削除します。
録画内容だけが削除されますので、ライブラリ情報や予約履歴はそのまま残り、引き続き利用できます。

1）方向ボタン（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す

2）メッセージを確認し、方向ボタン（◀/▶）で「はい」を選び、「決定」ボタンを押す
削除が始まります。
削除しないときは、「いいえ」を選びます。

お知らせ

- 「HDD全タイトル削除」を定期的に行なうと、断片化（ディスクの複雑化）が抑制されるため、快適な操作性を維持することができます。

HDD初期化

HDD

内蔵HDDを初期化します。
内蔵ＨＤＤは通常初期化する必要はありませんが、HDD自身が何らかのトラブルで正常に使用できなくなった場合は、初期化を行なうことで元どおり使用可能になる場合があります。ただし、HDDの初期化を行なうと、中に録画してあるタイトルと、それまでのライブラリ情報がすべて消去されます。

例

1）方向ボタン（◀/▶）で「開始」を選び、「決定」ボタンを押す

2）メッセージを確認し、方向ボタン（◀/▶）で「開始」を選び、「決定」ボタンを押す
初期化が開始されます。
初期化しないときは、「中止」を選びます。

DVD-RAM物理フォーマット

DVD-RAM

⇨23ページをご覧ください。

録画画質設定と音声設定

	音質設定					
	DD D1		DD D2		L-PCM	
画質設定	DVD	HDD	DVD	HDD	DVD	HDD
SP	○	○	○	○	×	×
LP	○	○	○	○	×	×
マニュアル	○	○	○	○	○	○
ジャスト	○	○	○	○	○	○

その他

- 故障かな…？と思ったら
- 用語集
- 索引
- メッセージ画面と対処方法
- 録画可能時間一覧表
- 仕様

故障かな…？と思ったら

故障かな…？とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

電源

■ 電源が入らない

- 電源コードが抜けている。
  - → 電源コードをしっかり差し込む。

テレビの接続

■ テレビの映像が出ない

- 本機とテレビをつなぐ接続コードが抜けている、もしくは外れかけている。
  - → 本機とテレビとの接続コードをしっかり差し直す。
- テレビ側の入力切換が間違っている。
  - → 本機が接続している入力端子にテレビの入力切換を合わせる。

テレビの受信

■ テレビが映らない

- アンテナ線が外れている。
  - → アンテナ線を差し直す。

■ テレビがきれいに映らない

- チャンネルの設定またはチャンネルの微調整が不十分。
  - → チャンネル設定またはチャンネル微調整を再設定する。（準備編33ページ）
- アンテナ線が外れかけている。
  - → アンテナ線をしっかり差し込む。
- 電波が弱い。
  - → アンテナの設置方向を調整するか、別売りのアンテナブースターを使用する。

BS受信

■ 衛星放送が映らない

- BSアンテナ線が外れている。
  - → BSアンテナを差し直す。
- BSアンテナ電源が供給されていない。
  - → BSアンテナ電源を設定する。

■ 衛星放送がきれいに映らない

- BSアンテナ線が外れかけている。もしくはBSアンテナの方向がずれている。
  - → BSアンテナ線を差し直す。もしくはBSアンテナの設置方向を調整する。

■ WOWOW、CSデジタル／BSデジタル放送が映らない

- デコーダの接続方法が間違っている。
  - → 正しい入力端子に接続し直す。（準備編24、25、26ページ）
- 設定が正しくない。
  - → 「入力1設定」を「BSデコーダ」にする。（準備編45ページ）

再生

■ DVDやCDの再生ができない

- 記録されているフォーマットが未対応のフォーマットである。またはリージョン番号が2もしくはALL以外である。
  - → ディスクを確認する。
- ディスクに汚れまたは傷が付いている。
  - → ディスクを交換する。
- 内蔵HDDモードになっている。
  - → 「DVD」ボタンを押す。

■ 内蔵HDDが再生できない

- DVDモードになっている。
  - → 「HDD」ボタンを押す。

■ 再生中に、不自然なブロックノイズが見えるときがある

- 以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。
  - — 元の映像にブロックノイズがすでにある場合
  - — 天候などにより、受信状態が悪化した場合
  - — 画像レート設定が低い場合
  - — 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合
  - — 内蔵HDDやDVD-RAMのディスク上の物理エラーによる場合
    (なお、内蔵HDDの寿命により大量に発生する場合は内蔵HDDの交換が必要です。サービスにご相談ください。)

再生で内蔵HDDやDVD-RAMディスクからデータを読み出すときにエラーが発生すると、その部分でブロック状のノイズ(ブロックノイズ)が発生する場合があります。この現象は、エラーが発生した部分を何度も繰り返して読み出す(リトライ)と起こりにくくなりますが、そのかわりに再生が途中で遅くなったり止まったりする可能性が高くなるので、本機ではエラー発生時の読み直し回数を制限して、そのときの再生が遅れたり止まったりしないようになっています。

記録

■ DVD-RAMディスクに記録ができない

- ディスクに誤消去防止がされている。
  → ディスクのライトプロテクトタブを「PROTECT」の反対側にする。(7ページ)
- パソコンや他社機でディスクにプロテクトがかけられている。
  → 設定した機器でプロテクトを解除する。
- ディスクの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する(43ページ)、もしくは新たなディスクを準備する。
- 初期化されていない。
  → ディスクを初期化する。(22ページ)
- 欠陥が多く発生している。
  → ディスクを物理フォーマットする。(23ページ)
- 物理フォーマットがされていない。
  → ディスクを物理フォーマットする。(23ページ)

■ 内蔵HDDに記録ができない

- DVDモードになっている。
  → 「HDD」ボタンを押す。
- 内蔵HDDの空き容量が足りない。
  → 不要な部分を消去する(43ページ)、もしくはDVD-RAMディスクに移動する(98、102ページ)。

予約

■ 録画予約ができない

- 時計の時刻設定がされていない。
  → 時刻設定をする。(準備編31ページ)
- 予約内容がいっぱいになった。
  → 不要な予約を取り消す。(39ページ)

■ Gコード予約が正しく働かない

- 地域番号またはガイドチャンネルが正しく設定されていない。
  → 地域番号またはガイドチャンネルを正しく設定し直す。(準備編33、37ページ)

リモコン

■ リモコンがきかない

- リモコンの電池が消耗している。
  → 電池を交換する。(準備編14ページ)
- リモコンが受光部を向いていない。
  → リモコン送信部を本機受光部に向ける。
- リモコンと受光部が遠すぎる。
  → 約7m以内のところで操作する。
- リモコンと受光部の間に障害物がある。
  → 障害物を取り除く。
- リモコンモードがあっていない。
  → 本機とリモコンのリモコンモードを合わせる。(準備編54ページ)
- 本機がリモコンオフモードになっている。
  → リモコンオフモードを解除する。(準備編54ページ)

時計

■ 時計表示が「00:00」で点滅している

→ 当社サービスまでご連絡ください。

■ アフターサービスをご依頼になる前に

本機を修理に出す前には、内蔵HDDの内容とライブラリ情報をDVD-RAMディスクにダビングし、バックアップしてください。修理の際に内蔵HDDの記録内容が消える場合があります。内蔵HDDが異常になった場合でも、再生できるものはダビングしてください。修理の依頼をされるときは、付属の診断カルテへの記入をお願いします。

用語集

DVD-RAMディスク
片面1層4.7GB／両面1層9.4GBの容量を持つ、記録再生用のディスクです。種類としてビデオ録画用とパソコンのデータ用があります。録画用のディスクには、パッケージに「120分（120min）」などの録画時間の表示があります。パソコンのデータ用の場合は、一般の無料放送などの録画には使用できますが、有料放送などで一度きりの録画が可能な場合の録画はできません。また、パッケージが「録画用」となっていても、一度きりの録画が可能な映像の記録に対応している旨が明記されていない場合は、一度きりの録画が可能な場合の録画はできません。
本機はDVD-RAM物理規格Version2.0および2.1、ファイルシステム規格2.0のDVD-RAMディスクに対応しています。

DVDビデオディスク
市販されている映画や音楽などの再生専用ディスクでは、内蔵HDDへのダビングや、見るナビでの内容の表示はできません。

DVD-Rディスク
DVDビデオフォーマットで正しく録画されていると再生できますが、記録のしかたによっては再生できない場合があります。

CD-Rディスク／CD-RWディスク
CD-DA（音楽用CD）フォーマットだけで記録されていれば、再生できる場合があります。

トラック
音楽用CDの場合、1曲が1トラックになっています。

タイトル
DVDビデオディスクでは、「タイトル」が大きい単位で、ディスクの中にタイトルが複数あったり、１つのタイトルの中にチャプターがいくつかあったりと、ディスクによって異なります。DVD-RAMディスクや内蔵HDDでは、1つの録画が1タイトルになります。編集して作ったプレイリストも、1タイトルになります。見るナビ画面でタイトル一覧を表示したとき、表示されているサムネイル画面が１タイトルとなります。

チャプター
DVDビデオディスクでは、タイトルの中で場面ごとに区分けされた小さい区分がチャプターですが、ディスクによってはない場合もあります。DVD-RAMディスクや内蔵HDDでは、録画したままでは1タイトルの中には1チャプターしかありません。録画中の一時停止や編集でチャプター作成をすることで、チャプターの境界ができ、その前後が別のチャプターになります。見るナビ画面でチャプター一覧を表示させたときに表示されるサムネイルが1チャプターとなります。

オリジナルタイトル
内蔵HDDやDVD-RAMディスクに録画したものがオリジナルタイトルとなります。基本的に自由にダビングや編集ができます。

オリジナルチャプター
オリジナルタイトルの中のチャプターがオリジナルチャプターです。

プレイリスト(PL)
内蔵HDDなら内蔵HDD、DVD-RAMディスクならそのDVD-RAMディスクのように、同じディスクに録画されているオリジナルタイトルや、その中のオリジナルチャプターを選び、再生する順番を決めたものが、プレイリストです。編集ナビ画面の「プレイリスト編集」で作ることができます。作成後は１つのタイトル相当に扱われますが、再生する順番のみのデータなので、プレイリストを作っても、ディスクの容量はほとんど減りません。ただし、ダビングをした場合は、プレイリストに載っているオリジナルの部分がすべてダビングされ、ダビング先でこのプレイリストは、オリジナルタイトルとなります。

サムネイル
見るナビ画面で表示される、見出し用の小さい画面をサムネイル画面といいます。初期状態では、録画開始した付近の画面がサムネイルとして表示されます。クイックメニューのサムネイル設定を実行すれば、好きな場面をサムネイルにすることができます。

（つづく）

コピーガード／著作権保護
市販の映像ソフトや有料放送では、著作権保護のためコピーガード信号を入れて、録画を禁止しているものがあります。本機では、コピーガード信号を検出すると録画を一時停止させます。ビデオテープなどを外部入力で録画するときに、トラッキングずれが激しい場合やサーチの際のノイズを誤検出して、コピーガード信号と間違えて録画を一時停止させてしまう場合があるので、注意してください。

見るナビ
内蔵HDDまたはDVD-RAMディスクの中に録画されている内容をサムネイルで表示する機能です。タイトル一覧では録画されているオリジナルタイトルとプレイリストをすべて表示します。（1画面で6個ずつの表示なので、それ以降のタイトルは、次頁以降に表示されます。表示の順番は、本機に録画された日時の古い順に並びます。また、オリジナルとプレイリストではまずオリジナルタイトルが古い順に並び、一番新しいオリジナルタイトルの次にプレイリストが、作成された日時の古い順に並びます。選択(ハイライト表示)しているタイトルの中のチャプターを同様にサムネイルで内容表示させることもできます(チャプター一覧)。チャプターの表示は、再生する順番に表示されます。

録るナビ
録画予約をする画面です。リモコンのふたの中を使ってのGコード予約も、本体転送後この画面に表示されます。この画面からのクイックメニューで、予約した内容がディスクの空き容量に収まるかなどを確認することができます。また、前回内蔵HDDが初期化されたときから現在までに行なった録画予約の履歴も、一覧表示させることができます。

編集ナビ
チャプター作成、プレイリスト編集、DVD-R作成、一括高速ダビング、一括レート変換ダビング、オリジナルタイトル結合、一括削除を開始する画面です。

ライブラリ
本機で録画・登録したタイトルをすべて表示します。タイトルを選んで再生できます。

ダビング
本機では、内蔵HDDとDVD-RAMディスク、または同一ドライブ間の「移動」と「コピー」をまとめて「ダビング」と呼んでいます。

書き込み保護
録画したものを不意に削除したり、編集してしまわないように保護する機能です。ディスクの中の特定のタイトルだけの保護設定に加え、DVD-RAMディスクの場合はディスク全体を丸ごと保護することもできます。この場合はディスクのカートリッジ外側のライトプロテクトタブを使います。保護側にしておくと、たとえ空き容量があっても録画ができなくなります。

DDD1、DDD2
内蔵HDDやDVD-RAMディスクに録音する方式です。音声をそのまま録音するのではなく、デジタル信号に圧縮して録音し、再生時には元に戻します。1と2では規格上、使用されるデータの量が異なります。DDD1、DDD2は米国ドルビーラボラトリーの民生用デジタル録音方式を用いています。
設定1としてDDD1はDolby Digital 192kbps、設定2としてDDD2はDolby Digital 384kbpsとなっています。

リニアPCM
ドルビーデジタルと同様に音声の記録方式ですが、リニアPCMは圧縮せずに、アナログ信号をサンプリングしてデジタル信号に変換して録音します。したがって、使用されるデータ量はドルビーデジタルよりも多くなってしまいます。

BSデジタル
2000年から開始されたBSデジタル放送は、本機自体は対応しておりません。BSデジタルチューナーやBSデジタルテレビに、従来の映像方式に変換されたダウンコンバーター出力端子があれば、外部入力として録画することはできます。ただし、データ放送の部分は出力されないので、映像は主映像の部分、音声はステレオもしくは主副音声しか録画できません。

索引

（つづく）

索引(つづき)

メッセージ画面と対処方法

以下はおもな例です。これ以外のメッセージも状況に応じて表示されます。画面の操作ガイドにそって操作してください。

■ **正常に電源が切られませんでした。録画内容が失われた可能性があります。**

HDDとDVDそれぞれの場合があります。本機の動作中に停電等で電源が切れるなどした可能性があります。HDDの初期化が必要な場合もあります。

■ **ディスクが認識できません。何度か電源を入れなおしてみてください。(HDD)**

何らかの原因でHDDの異常を検出したので、「ON/STANDBY」ボタンで一度待機状態にしてから再度電源を入れ直してみてください。

■ **ディスクに問題があり、再生以外はできません。(HDD)**

何らかの原因でHDDが異常な状態になっています。HDD内のコピー禁止のタイトル以外はDVD-RAMディスクにコピーし、そのあとHDDを初期化してください。ただし、コピー禁止のタイトルはコピーも移動もできません。

■ **ディスクに問題があり、再生以外はできません。(DVD)**

DVD-RAMディスクの異常を検出したため、このディスクでは再生のみが可能で、録画や編集はできません。

■ **ディスクが認識できません。汚れを確認するか、クイックメニューからディスク初期化を実行して下さい。(DVD)**

トレイに挿入されたDVD-RAMディスクが正常に認識できなかったため、ディスク自体の記録面に汚れがないか確認するか、フォーマットが異なっている場合もあるので可能ならば初期化を行なってください。

■ **ディスクの認証に失敗しました。このディスクに書込みできません。**

トレイに挿入されたディスクが録画用として認識できなかった場合に表示されます。

■ **録画状態に問題があり、このディスクは録画も再生もできません。**

DVD-RAMディスクの内容が壊れていたり、本機以外の機器で本機が未対応のフォーマットで録画されている場合に表示されます。

■ **不正なディスク番号です。**

初期化の際に入力したディスク番号が間違っている場合に表示されます。

■ **＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊この操作はできません。**

メッセージの始めの＊＊～＊＊にはその時の動作状態が書かれます。その動作中に同時に実行できない操作をしようとした場合に表示されます。実行中の動作が完了してから次の操作をしてください。

■ **HDDに異常が発生しました。サービスセンターに連絡してください。**

HDDに重大な異常を検出した場合に表示されます。本機の使用を中止して、当社サービスセンターまでご連絡願います。

■ **予期せぬエラーが発生しました。**

想定外のエラーの発生を検出した場合に表示されます。

■ **予期せぬエラーが発生しました。サービスセンターに連絡して下さい。**

重大なエラーの発生を検出した場合に表示されます。本機の使用を中止して、当社サービスセンターまでご連絡願います。

■ **ディスクトレイまたは、扉の異常です。**

ディスクトレイや扉の状態に異常があった場合に表示されます。安全のため、この場合は本機は動作を停止します。

■ **取扱いできないデータが含まれています。読み取り専用として扱います。**

HDDとDVDの両方の場合があります。本機が取り扱えないデータが検出された場合に表示されます。

■ **再生できませんでした。**

追っかけ再生などで、一時停止や再生などを頻繁にくり返したときに表示されます。
これは、録画処理を優先するために起こる現象で、故障ではありません。

■ **DVDの状態が複雑になり過ぎました。これ以上の録画はできません。**

録画や編集を数多く繰り返すと、ディスク内部の情報が複雑になり、制御しきれなくなるため、それ以上の録画を禁止します。

(つづく)

メッセージ画面と対処方法(つづき)

■ **HDDの状態が複雑になり過ぎました。これ以上の録画はできません。**

録画や編集を数多く繰り返すと、ディスク内部の情報が複雑になり、制御しきれなくなるため、それ以上の録画を禁止します。必要なタイトルをDVD-RAMディスクにダビングして、HDDを初期化すれば録画可能になります。

■ **DVDの状態が複雑になりました。必要な内容をバックアップの上、初期化して下さい。**

録画や編集を数多く繰り返すことにより、ディスク内部の情報が複雑になり、制御が限界に近づいた時の表示ですこれ以上複雑になると再生することもできなくなるので、内容のバックアップと初期化をお勧めします。

■ **HDDの状態が複雑になりました。必要な内容をバックアップの上、HDDのタイトルを一旦削除してください。**

録画や編集を数多く繰り返すことにより、ディスク内部の情報が複雑になり、制御が限界に近づいた時の表示ですこれ以上複雑になると再生することもできなくなるので、内容のバックアップと初期化または全タイトル削除をお勧めします。

■ **コピープロテクション信号を検出しました。録画を一時停止します。**

録画中に録画禁止の信号を検出した場合に表示されます。録画禁止信号がなくなるまで、録画は一時停止状態になっています。

■ **録画を再開しました。**

録画禁止信号の検出による一時停止状態から、録画禁止信号がなくなったのを確認して録画状態に戻った時に表示します。

■ **ディスクまたはレンズが汚れているため、書込みできません。(DVD)**

DVDのディスクへの書き込みが正常にできなかった場合に表示されます。使用したディスクに汚れ等がないか確認するか、DVDのレンズクリーナーを使ってみるなどしてください。

■ **容量がいっぱいです。いらないタイトルを選択キャンセルしてください。**

一括ダビングで、ダビング先の空き容量以上にタイトルを選択した場合に表示されます。

■ **このタイトルはすでに削除パーツとして選択されています。**

一括削除でタイトルとその中のチャプターを同時に選択した場合に表示されます。

■ **コピー禁止のタイトルをDVD-RAMに移動すると、HDDには戻せなくなります。よろしいですか?**

コピー禁止のタイトルは著作権保護のため、HDDで録ったものをDVD-RAMディスクに一度移動すると、HDDに再び戻すことはできないのでこのメッセージが表示されます。

■ **ディスクの録画状態が複雑なため、移動できません。**

録画や編集で内容が複雑になりすぎた時に表示されます。

■ **ディスクの録画状態が複雑なため、削除できませんでした。**

録画や編集で内容が複雑になりすぎた時に表示されます。

■ **取扱いできないデータが含まれています。コピーを中止します。**

コピー中に本機が取り扱えないフォーマットを含んだデータを検出した場合に表示されます。

■ **保存せずに終了してもよろしいですか。**

文字入力画面を「B」ボタンで終了するときに、編集中の文字があった場合に表示されます。

■ **停電により保存できなかったタイトルを復元しています。**

録画実行中に停電が発生した時に録画中だったタイトルを可能な限り復元します。復元を保証するものではありません。

■ **記録可能なディスクを挿入してください。**

DVD-RAMディスクへの予約録画開始前に録画可能なディスクが入れられていない場合に表示されます。

■ **本機に対応したライブラリのバックアップが見つかりません。**

ライブラリの書き戻しを実行しようとして、DVD-RAMディスクにバックアップデータを見つけられなかった場合に表示されます。

■ ライブラリの上限を超えたため、登録できませんでした。

ライブラリ情報の上限数を超えている場合に表示されます。不要なライブラリ情報を削除すれば追加記録は可能になります。

■ データが壊れている可能性があります。ディスクは再利用できます。(問題タイトル：＊＊＊＊)

DVD-R作成時、書き込み処理前に選択されたパーツの異常を検出した場合に表示されます。

■ データが壊れている可能性があります。ディスクは再利用できません。(問題タイトル：＊＊＊＊)

DVD-R作成時、書き込み処理中に選択されたパーツの異常を検出した場合に表示されます。

■ DVD-R互換モード切で録画されたパーツのため、DVD-Rに記録できません。

「DVD-R互換モード」が「切」の状態で録画されたかまたは本機以外で録画されたタイトルはそのままではパーツとして使用できません。一度レート変換またはラインUのダビングで、「DVD-R互換モード」を「入」にして本機自体で録画してからDVD-Rのパーツにしてください。

■ 本機以外で録画されたパーツのため、DVD-Rに記録できません。

本機以外で録画されたタイトルはそのままではパーツとして使用できません。一度レート変換またはラインUのダビングで、「DVD-R互換モード」を「入」にして本機自体で録画してからDVD-Rのパーツにしてください。

■ 本機では変換できないデータです。ディスクは再利用できます。(問題タイトル：＊＊＊＊)

DVD-R作成時、書き込み処理前に本機で取り扱えないフォーマットのパーツを検出した場合に表示されます。

■ ワイドと通常サイズの映像が混在しているため、変換できません。ディスクは再利用できます。(問題タイトル：＊＊＊＊)

DVD-R作成時、書き込み処理前に本機で取り扱えない、かつ画面形状の異なる部分の混在を検出した場合に表示されます。

■ HDDの記録状態が複雑なため、中止します。ディスクは再利用できます。

DVD-R作成時、HDDの内部状態が複雑になりすぎて、DVD-R作成処理ができなくなった場合に表示されます。不要なタイトルをHDD内から移動するなどして空き容量を増やしてください。

■ 記録できないパーツが含まれているため、中止します。ディスクは再利用できます。

DVD-R作成時、書き込み処理前に記録できないパーツを検出した場合に表示されます。

■ 作成中にエラーが発生しました。ディスクは再利用できます。

DVD-R作成時、書き込み処理前に何らかのエラーが発生した場合に表示されます。

■ ディスクが読み取り出来ません。汚れを確認するか、新しいDVD-Rディスクを挿入してください。

DVD-R作成時、挿入されたDVD-Rディスクに問題があった場合に表示されます。

■ このパーツは短すぎる部分を含んでいるため、DVD-Rに記録できません。

編集等により極端に短くなったパーツを含むタイトルは、DVD-Rへの記録はできません。

(つづく)

メッセージ画面と対処方法(つづき)

本体表示窓のエラー表示

メッセージ画面表示と同時に本体表示窓にもエラーの表示が出ます。
「ERR－＊＊」で、＊＊の部分にエラーコードが表示されます。この表示を消すには、リモコンの「表示」ボタンを押してください。

エラー表示	エラーの内容
ERR－01	物理フォーマットのエラーを検出
ERR－10	DVD-R作成時書き込み処理前に容量オーバーを検出
ERR－11	DVD-R作成時書き込み処理前にタイトル数オーバーを検出
ERR－12	DVD-R作成時書き込み処理前にチャプター数オーバーを検出
ERR－13	DVD-R作成時書き込み処理前にコピー禁止情報を検出
ERR－14	DVD-R作成時書き込み処理前にDVD-Rディスクへのアクセスエラーを検出
ERR－15	DVD-R作成時書き込み処理前にその他のエラーを検出
ERR－16	DVD-R作成時書き込み処理前にHDDへのアクセスエラーを検出
ERR－17	DVD-R作成時書き込み処理前に1.4Mbpsで記録されたワイド映像を検出
ERR－18	DVD-R作成時書き込み処理前に同一パーツ内の異なるアスペクトを検出
ERR－19	DVD-R作成時書き込み処理前に同一パーツ内の異なる解像度を検出
ERR－1A	DVD-R作成時書き込み処理前に同一パーツ内の異なる音質モードを検出
ERR－1B	DVD-R作成時書き込み処理前に無効な管理情報を検出
ERR－1C	DVD-R作成時書き込み処理前に他社機で録画されたパーツを検出
ERR－1D	DVD-R作成時書き込み処理前に他モデルで作成されたパーツを検出
ERR－1E	DVD-R作成時書き込み処理前に無効なパーツを検出
ERR－1F	DVD-R作成時書き込み処理中に容量オーバーを検出
ERR－20	DVD-R作成時書き込み処理中にタイトル数オーバーを検出
ERR－21	DVD-R作成時書き込み処理中にチャプター数オーバーを検出
ERR－22	DVD-R作成時書き込み処理中にコピー禁止情報を検出
ERR－23	DVD-R作成時書き込み処理中にDVD-Rディスクへのアクセスエラーを検出
ERR－24	DVD-R作成時書き込み処理中にその他のエラーを検出
ERR－25	DVD-R作成時書き込み処理中にHDDへのアクセスエラーを検出
ERR－26	DVD-R作成時書き込み処理中に1.4Mbpsで記録されたワイド映像を検出
ERR－27	DVD-R作成時書き込み処理中に同一パーツ内の異なるアスペクトを検出
ERR－28	DVD-R作成時書き込み処理中に同一パーツ内の異なる解像度を検出
ERR－29	DVD-R作成時書き込み処理中に同一パーツ内の異なる音質モードを検出
ERR－2A	DVD-R作成時書き込み処理中に無効な管理情報を検出
ERR－2B	DVD-R作成時書き込み処理中に他社機で録画されたパーツを検出
ERR－2C	DVD-R作成時書き込み処理中に他モデルで作成されたパーツを検出
ERR－2D	DVD-R作成時書き込み処理中に無効なパーツを検出
ERR－2E	DVD-R作成時書き込み処理前にメニューのエンコードエラーを検出
ERR－2F	DVD-R作成時書き込み処理前にメニューのサイズオーバーフローを検出
ERR－30	DVD-R作成時書き込み処理前にメニュー数の上限オーバーを検出
ERR－31	DVD-R作成時書き込み処理中にDVD-Rディスク書き込みエラーの修復を検出

録画可能時間一覧表

音声レート	DD1(192kHz)				DD2(384kHz)				L-PCM				備考
	HDD		DVD-RAM		HDD		DVD-RAM		HDD		DVD-RAM		
画質レート	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	時間	分	
1.4	78	22	06	07	70	10	05	28	43	05	03	21	
2.0	56	08	04	22	51	48	04	02	35	22	02	44	DD2時のLPの画質レートです。
2.2	51	38	04	01	47	56	03	44	33	31	02	36	DD1時のLPの画質レートです。
2.4	47	47	03	43	44	36	03	28	31	52	02	28	
2.6	44	29	03	27	41	43	03	14	30	21	02	21	
2.8	41	36	03	14	39	10	03	02	28	59	02	14	
3.0	39	04	03	02	36	55	02	52	27	44	02	08	
3.2	36	50	02	51	34	55	02	42	26	35	02	03	
3.4	34	50	02	42	33	07	02	34	25	32	01	58	
3.6	33	02	02	33	31	29	02	26	24	33	01	53	
3.8	31	25	02	26	30	01	02	19	23	39	01	49	
4.0	29	57	02	19	28	40	02	13	22	48	01	45	
4.2	28	37	02	13	27	27	02	07	22	01	01	41	
4.4	27	24	02	07	26	19	02	02	21	17	01	38	DD2時のSPの画質レートです。
4.6	26	17	02	02	25	17	01	57	20	36	01	35	DD1時のSPの画質レートです。
4.8	25	15	01	57	24	20	01	52	19	58	01	32	
5.0	24	17	01	52	23	26	01	48	19	22	01	29	
5.2	23	24	01	48	22	37	01	44	18	48	01	26	
5.4	22	35	01	44	21	50	01	41	18	15	01	24	
5.6	21	49	01	40	21	07	01	37	17	45	01	21	
5.8	21	06	01	37	20	27	01	34	17	16	01	19	
6.0	20	25	01	34	19	49	01	31	16	49	01	17	
6.2	19	47	01	31	19	13	01	28	16	23	01	15	
6.4	19	12	01	28	18	40	01	26	15	59	01	13	
6.6	18	38	01	26	18	08	01	23	15	36	01	11	
6.8	18	07	01	23	17	38	01	21	15	13	01	09	
7.0	17	37	01	21	17	10	01	19	14	52	01	08	
7.2	17	09	01	18	16	43	01	16	14	32	01	06	
7.4	16	42	01	16	16	17	01	14	14	12	01	05	
7.6	16	16	01	14	15	53	01	13	13	54	01	03	
7.8	15	52	01	12	15	30	01	11	13	36	01	02	
8.0	15	29	01	11	15	08	01	09	13	19	01	00	L-PCM時のマニュアル最高設定です。
8.2	15	07	01	09	14	47	01	07					
8.4	14	46	01	07	14	27	01	06					
8.6	14	26	01	06	14	08	01	04					
8.8	14	07	01	04	13	50	01	03					
9.0	13	49	01	03	13	32	01	01					
9.2	13	31	01	01	13	15	01	00					マニュアルモードの上限値

- 本一覧表は録画時間を保証するものではありません。
- 内蔵HDDおよびDVD-RAMディスクが初期化状態での録画可能時間です。ディスクによって表示が若干ばらつくことがあります。
- 録画後の残量は、本一覧表に書かれた時間から録画時間を引いた時間にはなりません。
- 録画された映像や音声の状態によって、使用される容量は異なります。
- 録画後の内蔵HDDおよびDVD-RAMディスクの残量は、本機の残量表示機能で確認できます。

DD1、DD2は米国ドルビーラボラトリーズの民生用デジタル録音方式を用いています。設定1としてDD1はDolby Digital 192Kbps、設定2としてDD2はDolby Digital 384Kbpsとなっています。

言語コード表

記号	言語名
―――	言語なし
CHI (ZH)	中国語
DUT (NL)	オランダ語
ENG (EN)	英語
FRE (FR)	フランス語
GER (DE)	ドイツ語
ITA (IT)	イタリア語
JPN (JA)	日本語
KOR (KO)	韓国語
MAY (MS)	マレー語
SPA (ES)	スペイン語
AA	アファル語
AB	アブバジア語
AF	アフリカーンス語
AM	アムハラ語
AR	アラビア語
AS	アッサム語
AY	アイマラ語
AZ	アゼルバイジャン語
BA	バシキール語
BE	ベラルーシ語
BG	ブルガリア語
BH	ビハーリー語
BI	ビスラマ語
BN	ベンガル語、バングラ語
BO	チベット語
BR	ブルトン語
CA	カタロニア語
CO	コルシカ語
CS	チェコ語
CY	ウェールズ語
DA	デンマーク語
DZ	ブータン語
EL	ギリシャ語
EO	エスペラント語

記号	言語名
ET	エストニア語
EU	バスク語
FA	ペルシャ語
FI	フィンランド語
FJ	フィジー語
FO	フェロー語
FY	フリジア語
GA	アイルランド語
GD	スコットランドゲール語
GL	ガルシア語
GN	グアラニ語
GU	グジャラート語
HA	ハウサ語
HI	ヒンディー語
HR	クロアチア語
HU	ハンガリー語
HY	アルメニア語
IA	国際語
IE	国際語
IK	エスキモー語
IN	インドネシア語
IS	アイスランド語
IW	ヘブライ語
JI	イディッシュ語
JW	ジャワ語
KA	グルジア語
KK	カザフ語
KL	グリーンランド語
KM	カンボジア語
KN	カンナダ語
KS	カシミール語
KU	クルド語
KY	キルギス語
LA	ラテン語
LN	リンガラ語

記号	言語名
LO	ラオス語
LT	リトアニア語
LV	ラトビア語、レット語
MG	マダガスカル語
MI	マオリ語
MK	マケドニア語
ML	マラヤーラム語
MN	モンゴル語
MO	モルダビア語
MR	マラータ語
MT	マルタ語
MY	ミャンマー語
NA	ナウル語
NE	ネパール語
NO	ノルウェー語
OC	プロバンス語
OM	(アファン)オロモ語
OR	オリヤー語
PA	パンジャブ語
PL	ポーランド語
PS	パシュトー語
PT	ポルトガル語
QU	ケチュア語
RM	ラエティ=ロマン語
RN	キルンディ語
RO	ルーマニア語
RU	ロシア語
RW	キニヤルワンダ語
SA	サンスクリット語
SD	シンド語
SG	サンゴ語
SH	セルビアクロアチア語
SI	シンハラ語
SK	スロバキア語
SL	スロベニア語

記号	言語名
SM	サモア語
SN	ショナ語
SO	ソマリ語
SQ	アルバニア語
SR	セルビア語
SS	シスワティ語
ST	セストゥ語
SU	スンダ語
SV	スウェーデン語
SW	スワヒリ語
TA	タミール語
TE	テルグ語
TG	タジク語
TH	タイ語
TI	ティグリニャ語
TK	トゥルクメン語
TL	タガログ語
TN	セツワナ語
TO	トンガ語
TR	トルコ語
TS	ツォンガ語
TT	タタール語
TW	トウィ語
UK	ウクライナ語
UR	ウルドゥー語
UZ	ウズベク語
VI	ベトナム語
VO	ボラピュク語
WO	ウォロフ語
XH	コーサ語
YO	ヨルバ語
ZU	ズール語

仕様

■ **動作時消費電力**
40W(BSアンテナ供給時45W)

■ **待機時消費電力**
2.7W以下(待機時省エネ設定：切)
0.9W以下(待機時省エネ設定：セーブ)

■ **電源**
AC100V　50/60Hz

■ **質量**
5.4kg

■ **外形寸法**
幅430×高さ78×奥行350mm

■ **受信チャンネル**
VHF：1～12CH、UHF：13～62CH、
CATV：C13～C63CH

■ **アンテナ入出力端子**
VHF/UHF：75Ω　F型コネクター

■ **BS受信チャンネル**
SHF(BS)：1、3、5、7、9、11、13、
15CH

■ **BSアンテナ入出力端子**
75Ω　F型コネクター、
入力端子(最大DC15V、4W)

■ **検波入出力端子**
0.67Vp−p (75Ω) 不平衡、ピンジャック

■ **ビットストリーム入出力端子**
0.5Vp−p (75Ω) 不平衡、ピンジャック

■ **信号方式**
日米標準NTSCカラーテレビジョン方式

■ **使用レーザー**
半導体レーザー　波長650nm/780nm

■ **フォーマット**
DVDビデオレコーディングフォーマット/
DVDビデオフォーマット

■ **録画方式**
MPEG2

■ **録音方式**
ドルビーデジタル、リニアPCM

■ **録画使用ディスク**
DVD-RAMディスク
(片面：4.7GB／両面：9.4GB)
DVD-Rディスク
(片面：4.7GB)

■ **内蔵HDD容量**
60GB

■ **映像入力**
1.0Vp−p (75Ω)、同期負、ピンジャック
×2系統、背面2、前面1

■ **映像出力**
1.0Vp−p (75Ω)、同期負、ピンジャック
×2系統、背面2

■ **S映像入力(入力3のみ S1/S対応)**
(Y)1.0Vp−p (75Ω)、同期負、ミニDIN4
ピン×3系統、
(C)0.286Vp−p (75Ω)、背面2、前面1

■ **S1／S映像出力**
(Y)1.0Vp−p (75Ω)、同期負、ミニDIN4
ピン×2系統
(C)0.286Vp−p (75Ω)、背面2、

■ **コンポーネント映像出力(Y、C_B、C_R)**
Y出力(緑)　1.0Vp−p (75Ω)、同期負、
ピンジャック×1系統
C_B、C_R出力(青、赤)　0.7Vp−p (75Ω)、
ピンジャック×各1系統

■ **D1端子出力**
14ピン、2列、1.27mmピッチ　出力信号D1
Y出力 1.0Vp−p (75Ω)
C_B出力 0.7Vp−p (75Ω)
C_R出力 0.7Vp−p (75Ω)

■ 音声入力

2.0V(rms)、50kΩ以下、ピンジャック
(L、R)×3系統
背面2、前面1

■ 音声出力

2.0V(rms)、200Ω以上、ピンジャック
(L、R)×2系統
背面2

■ 音声出力(ビットストリーム／PCM光端子)

光コネクター×1系統

■ デコーダ入力

映像：1.0Vp−p、音声：2.0V(rms)
2系統
BSデコーダは入力1端子兼用
CSチューナー、BSデジタルチューナーは
入力3端子兼用

■ リモコン

ワイヤレスリモコン(SE-R0083)

■ 使用条件

温度：5°C〜35°C、動作姿勢：水平

■ 時計表示

24時間デジタル表示

■ 時間精度

クォーツ方式(月差約±30秒程度)

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- 本取扱説明書に描かれているイラスト、画面表示などは見やすくするために誇張、省略があり実際とは異なる場合があります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証書(別添)

- 保証書は、必ず「お買い上げ日 ・ 販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、たいせつに保管してください。

保証期間
お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品について

- 当社は、HDD&DVDビデオレコーダーの補修用性能部品を製造打ち切り後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

異常のあるときは、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容		
品　　名	HDD&DVDビデオレコーダー	
形　　名	RD-XS30	
お買い上げ日	年　月　日	
故障の状況	できるだけ具体的に	
ご　住　所	付近の目印なども合わせてお知らせください	
お　名　前		
電話番号		
便利メモ	お買い上げ店名	☎(　　)　　―

お客様へ･･･おぼえのため、お買い上げ店名を記入すると便利です。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
＋	
部品代	修理に使用した部品代金です。
＋	
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

商品の修理サービスはお買い上げの販売店がいたします。

■ **修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-41** (トーシバ　ヨイ)

新製品などの商品選び、お取扱い、お手入れ方法などのご相談

『東芝家電ご相談センター』

フリーダイヤル **0120-1048-86** (トーシバ　ハロー)

携帯電話、PHSからのご利用は (03)3426-1048
FAX (03)3425-2101(365日・8：00～20：00受付)

※電話受付：365日・24時間受付
※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105－8001　東京都港区芝浦1丁目1番1号
＊所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

79100019
Ⓢ PM0008058010